

平成 13 年 1 月 - 平成 14 年 3 月 研究業績目録

(前段：和文業績)
(後段：欧文業績)

院 長 Director General

抄録のある学会報告

土井徹, 林謙治, 小林秀資. 県別に見た少年犯罪の発生.
第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 10 ; 610

学術報告書等

小林秀資, 丹後俊郎, 林謙治, 平野かよ子, 田中哲郎,
三砂ちづる, 福島富士子. 妊娠, 出産状況がADHDの発生
に及ぼす影響—バースコホート研究デザイン— (主任研究
者: 小林秀資), 厚生科学研究費補助金子ども家庭総合研究
事業平成13年度報告書, 2002 ; 9-91, 110-142

小林秀資, 福島富士子. 文献研究 乳幼児のアタッチメ

ントと思春期の行為障害による問題: 反映する相関的要素
の役割. (主任研究者: 小林秀資) 平成12年度厚生科学研究
子ども家庭総合研究事業. 思春期の暴力行為の原因究明
と対策に関する研究分担研究報告書, 2001 ; 219-229

小林秀資, 福島富士子. フィンランド訪問報告—より家
庭的な出産を学ぶために—フィンランドにおける助産婦と助
産婦教育. (主任研究者: 小林秀資) 平成13年度厚生科学
研究費補助金子ども家庭総合研究事業. 妊娠, 出産状況が
ADHDの発症に及ぼす影響—バースコホート研究デザイン
—平成13年度報告書, 2002 ; 70-110

次 長 Deputy Director-General

原 著

坂村修, 上畑鉄之丞. くも膜下出血をきたした船員につ
いての業務関連性の考察. 社会医学研究. 2001 ; No. 19 ;
33-43

総 説

上畑鉄之丞. 過労, ストレスと循環器疾患の関連に関す
る研究. 日本循環器予防学誌. 2001 ; 36(1) : 36-41

上畑鉄之丞. 過労死と日本の労働文化. 教育と医学.
2001 ; 49(8) : 65-73

上畑鉄之丞. よりよい交代制勤務を探る. 看護. 2001 ;
53(12) : 51-53

上畑鉄之丞. 国立公衆衛生院の新しい研修計画. 公衆衛
生. 2002 ; 49(8) : 74-78

著 書

上畑鉄之丞. ストレスと休養, 「健康日本21」を指標と
した健康調査と保健支援活動 (小西正光他編), ライフサ
イエンスセンター, 横浜. 2001 ; 69-76

抄録のある学会報告

上畑鉄之丞. インターネットと公衆衛生 (特別講演),

第12回公衆衛生情報研究協議会, 大津. 2001. 2

上畑鉄之丞. 近年の過労死認定状況に関する考察. 第74
回日本産業衛生学会, 高知. 2001. 4

上畑鉄之丞, 齊藤良夫, 酒井一博, 前原直樹, 山崎慶子,
宮腰由紀子. 看護婦の交代勤務改善に関する研究—二交代
制を中心に—. 第42回日本社会医学学会, 福岡. 2001. 8

上畑鉄之丞, 山本博子. 新聞報道からみた過労死・過労
自殺の最近の動向. 第9回日本産業ストレス学会, 東京.
2001. 12

上畑鉄之丞. 過労死研究からみた職業ストレス・生活習
慣・疾病 (会長講演). 第12回日本疫学会, 東京. 2002. 1

学術報告書等

丹後俊郎, 藤田利治, 箕輪眞澄, 国包章一, 内山巖雄,
土井由利子, 加藤則子. ごみ焼却施設周辺におけるダイオ
キシン汚染に起因する周産期の健康影響に関する疫学研
究. (主任研究者: 上畑鉄之丞) 平成12年度厚生科学研究
費生活安全研究事業報告書, 2001. 3

上畑鉄之丞, 他. 看護婦の交代勤務制の改善に関する研
究. (主任研究者: 上畑鉄之丞) 平成10-12年度厚生科学研
究費補助金政策科学推進研究事業総括報告書, 2001. 3

上畑鉄之丞, 兵井伸行, 曾根智史, 綿引信義, 他. 開発

途上国のPHCにおける地域看護の強化と人材開発のあり方に関する研究。(主任研究者:上畑鉄之丞)平成10-12年

度国際協力研究委託費総括報告報告書, 2001. 3

Proceedings with abstracts

Uehata, T. Work compensation of Karoshi in Japan.

16th World Congress of Psychosomatic Medicine. Goteburg, Sweden, Aug. 2001

保健統計人口学部

Department of Demography and Health Statistics

原 著

若松弘之, 土井徹, 林謙治. 精度指標からみた東京都における乳がん検診の評価. 厚生学の指標. 2001 ; 48(1) : 19-25

石井敏弘, 大井田隆, 藤崎清道, 武村真治, 曾根智史, 林謙治. 救急車利用の地域格差に関する研究—特に軽症利用者に焦点を当てて—. 日本公衛誌. 2001 ; 48(2) : 109-120

兵井伸行. 国際研修. 公衆衛生. 2001 ; 65(11) : 835-837

岡田加奈子, 川田智恵子, 中村正和, 畑栄一, 大島明. 看護学生の実施した「禁煙の呼びかけ」に対する評価. 日本健康教育学会誌. 2001 ; 9(1・2) : 27-36

岡田加奈子, 川田智恵子, 畑栄一, 中村正和. 受講した看護学生の「喫煙に関する授業」への受けとめ. 日本看護研究学会雑誌. 2001 ; 25(1) : 57-68

土井徹. 県別にみた少年犯罪(14-19歳)検挙人員の対人口割合. 思春期学. 2001 ; 19(3) : 248-259

総 説

林謙治. 根拠に基づく公衆衛生の意義と方向性に関する論点. 公衆衛生. 2001 ; 65(1) : 14-19

林謙治. 保健医療プロジェクトの評価. *Quality Nursing* 2001 ; 7(1) : 90-94

林謙治. 人口問題と環境の接点へのアプローチ. 保健婦雑誌. 2001 ; 57(2) : 126-130

林謙治. 我が国における高齢婦人の人口動態とその変遷と意義. 産婦人科の世界. 2001 ; 53(12) : 3-11

林謙治. EBMは公衆衛生にとってかわるか. 民族衛生. 2001 ; 67(3) : 103-104

林謙治. 新公衆衛生院の機構・組織. 公衆衛生 2002 ; 66(3) : 154-156

林謙治. わが国の人口動態と自然流産. 産婦人科治療. 2001 ; 82(5) : 573-576

林謙治. 中国HIVの現状と課題. 性と健康. 2001 ; 1 : 30-35

林謙治. 10代の妊娠および人工妊娠中絶. 周産期医学. 2002 ; 32(4) : 475-478

畑栄一. 合同臨地訓練1988—2001. 公衆衛生研究. 2002 ; 51 : 27-30

畑栄一, 武村真治. 合同臨地訓練の歴史と展望. 公衆衛生研究. 2002 ; 51(1) : 2-7

岡本悦司. 国保レセプトの活用法. 公衆衛生情報. 2002

; 3 : 24-26

岡本悦司. レセプト審査点検のためのEBM入門(7)-C型肝炎とリスク調整. 国民健康保険. 2001 ; 52(10) : 36-41

岡本悦司. レセプト審査点検のためのEBM入門(8)-有効性, 安全性そして経済性. 国民健康保険. 2001 ; 52(11) : 18-21

岡本悦司. レセプト審査点検のためのEBM入門(9)-骨太ガイドラインの作り方. 国民健康保険. 2001 ; 52(12) : 36-41

岡本悦司. レセプト審査点検のためのEBM入門(10)-板前と外科医ははやればはやるほど美味(上手)い. 国民健康保険. 2002 ; 53(1) : 38-42

岡本悦司. レセプト審査点検のためのEBM入門(11)-統計でウソをつく法. 国民健康保険. 2002 ; 53(2) : 39-45

岡本悦司. レセプト審査点検のためのEBM入門(12)-205円ルールと薬剤一部負担. 国民健康保険. 2002 ; 53(3) : 40-45

大坪浩一. 地域医療計画の研究の推移. 日本地理学会. 2001 ; 60 : 68

著 書

兵井伸行. 人口問題. 国際保健医療学. 日本国際保健医療学編. 杏林書院, 2001 ; 193-196

林謙治. 思春期における支援対策. 総合思春期学. 清水凡生編. 診断と治療社, 東京. 2001

林謙治. 国際機関の人口援助活動. 人口大事典. 日本人口学会編. 培風館, 東京. 2002 ; 869-874

林謙治. 家族計画以外の人口抑制政策. 人口大事典. 日本人口学会編. 培風館, 東京. 2002 ; 866-869

林謙治. 人口・資源・環境モデル. 人口大事典. 日本人口学会編. 培風館, 東京. 2002 ; 470-474

林謙治. ジェンダー問題としての出生性比—アジア諸国からの考察—. ジェンダーと人口問題. 阿藤誠, 早瀬保子編. 大明堂, 2002

抄録のある学会報告

松浦仁美, 大岡洋子, 岡田克俊, 小西正光, 土井徹. 小児生活習慣病予防への介入活動の評価. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 10 : 600

土井徹, 林謙治, 小林秀資. 県別に見た少年犯罪の発生. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 10 : 610

山下十喜, 西田茂樹. 結核患者接触者に対する健康教育

のあり方と評価. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 11

平和美, 飯田恭子, 西田茂樹. 介護老人保健施設職員の結核に関する意識調査. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 11

兵井伸行, 土井徹. 厚生統計に関する遠隔教育の試み. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 10; 82

水越昭博, 長谷川勢子, 菅井敬巳, 鍋谷美紀, 梅野裕子, 荒木美津子, 倉金暁子, 沼沢広子, 松浦仁美, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 島田美喜. 保健所における新しい試みの導入と職員の意識変化—地域づくり型保健活動の準備期を通して—(第1報) = 自記式質問紙による検討 =. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 11

菅井敬巳, 長谷川勢子, 水越昭博, 鍋谷美紀, 梅野裕子, 荒木美津子, 倉金暁子, 沼沢広子, 松浦仁美, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 島田美喜. 保健所における新しい試みの導入と職員の意識変化—地域づくり型保健活動の準備期を通して—(第2報) = グループの話し合いの観察, 面接聞き取り調査および発言の収集調査による検討 =. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 11

長谷川勢子, 水越昭博, 菅井敬巳, 鍋谷美紀, 梅野裕子, 荒木美津子, 倉金暁子, 沼沢広子, 松浦仁美, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 島田美喜. 保健所における新しい試みの導入と職員の意識変化—地域づくり型保健活動の一準備期を通して—(第3報) = 統合的検討 =. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 11

綿引信義, Wamalwa R. Wangila, 西田茂樹. ケニア国COAST州における最近10年間の出生力の動向. 第16回日本国際保健医療学会, 東京. 2001. 10

綿引信義, 西田茂樹. 最近の平均寿命の男女差について. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 10

岡本悦司. インフルエンザ流行の死亡率への影響と潜在喪失人年. 第60回日本公衆衛生学会. 高松. 2001. 10

猪狩和之, 大坪浩一. 産業保健を包含した地域医療計画策定のための最適圏域の設定に関する研究. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001; 384

猪狩和之, 大坪浩一. 厚生労働省の発足を基点とした労働基準監督署と保健所の圏域統合化の試案. 産業衛生学雑誌. 2002; 44: 653

大坪浩一. 中心地理論の利用による人口動態統計(ベイズ推定値)の算出の試み. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 48(10): 219

大坪浩一. 新病床区分における医療資源再配分のための医療圏に関する分析. 病院管理. 2001; 38: 195

学術報告書等

西田茂樹. 分担研究報告書(資料集)食中毒様症状の疫学研究文献集. (主任研究者: 玉木武)平成12年度厚生省生活安全総合研究事業, 食中毒予防対策のあり方に関する研究, 2001

西田茂樹. 米国の公衆衛生学校のMaster of Public

Healthプログラムの概要について. (主任研究者: 柳澤健一郎)平成12年度厚生省地域保健総合推進事業 総合的地域保健検討事業, 公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究2000年度報告書(第3分冊), 2001

兵井伸行. プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)の特徴づけに関する総括的考察. (研究代表者: 岩永俊博)平成12年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業「地域保健活動の類型化と展開方法の適用に関する研究」報告書, 2001; 23-26

兵井伸行. 情報システム. 第7章 健康への影響 7.6 情報システム「地球温暖化の日本への影響2001」. 環境省地球温暖化問題検討委員会温暖化影響評価ワーキンググループ, 2001; 361-362

兵井伸行. 迅速評価法や参加型評価法の適用に関する研究. (研究代表者: 三好知明)平成12年度厚生科学研究費補助金社会保障国際協力推進研究事業「保健医療プロジェクトの事前・中間評価に関する研究」報告書, 2001; 20-22

兵井伸行. 保健医療プロジェクト評価における迅速・参加型評価法の適用. (研究代表者: 三好知明)平成12年度厚生科学研究費補助金社会保障国際協力推進研究事業「保健医療プロジェクトの事前・中間評価に関する研究」報告書, 2001; 23-28

兵井伸行. 国際機関や先進国が担う国際協力研修プログラムのあり方に関する研究. (研究代表者: 上畑鉄之丞)平成10-12年度厚生省国際医療協力研究委託事業「開発途上国のPHCにおける地域看護の強化と人材開発のあり方に関する研究」報告書, 2001; 73-78

兵井伸行. 迅速・参加型手法の適用に関する研究. (研究者代表: 小島光洋)平成13年度健康・体力財団「健康づくりにおける参加型働きかけ研究」報告書, 2002. 3; 13-15

岡本悦司. 個人情報保護法下のレセプト情報利活用のあり方. (主任研究者: 小林廉毅)厚生科学研究費政策科学推進研究事業「レセプト情報の利活用と個人情報保護のあり方に関する研究」, 2002. 3; 47-58

土井徹. 少年犯罪の統計的観察(平成7年—11年, 県別)—統計資料の作成—. (主任研究者: 小林秀資)平成12年度厚生科学特別研究事業「思春期の暴力行為の原因究明と対策に関する研究」研究報告書, 2001; 55-170

土井徹. ニュー・サウス・ウェールズ大学の遠隔教育の概要. (主任研究者: 柳澤健一郎)平成12年度厚生省地域保健総合推進事業(総合的地域保健検討事業)研究「公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究—ニュー・サウス・ウェールズ大学の遠隔教育の概要について」研究報告書, 2001; 1-4

土井徹. 公衆衛生のための統計学. (主任研究者: 柳澤健一郎)平成12年度厚生省地域保健総合推進事業(総合的地域保健検討事業)研究「公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究—ニュー・サウス・ウェールズ大学の遠隔教育の概要について」研究報告書, 2001; 13-24

視聴覚資料

媒体種類：インターネット上で提供される疫学教材
[Epidemiology Supercourse]
著作者名：岡本悦司
タイトル：The Long Term Care Insurance (Kaigo

Hoken) and its Impact on Society and Health
Care System in Japan

<http://www.pitt.edu/~super1/lecture/lec4841/index.htm>
制作年2001年。

Originals

Hayashi K. **Medical Issues Caused by Development of Transportation.** *JMAJ.* 2001 ; 44(8) : 375-380

Books

Tatara K ed, Okamoto A. **Public Health of Japan 2001** : in "Japan Public Health Association". Tokyo, 2001 ; 1-30

Proceedings with abstracts

Funabashi A, Hyoui N. **The factors influencing gender difference in vaccination in Citwan, Nepal.** Journal of the Japan Association of International Health, Nagasaki. 15 (Supplement). August 2000 ; 153

Funabashi A, Hyoui N. **The gender difference in vaccination in Citwan, Nepal.** 9th International Congress of World Federation of Public Health Associations, Beijing, China. September 2000 ; 248

Hyoui N, Doi T. **A trial of distance education in health statistics at National Institute of Public Health, Tokyo.** The 33 nd APAPCH Conference on Information technology and Flexible Learning in Public Health, Seoul. April 2001

Sato S, Fujiki A, Hyoui N, Giango C, Endo S. **Factors affecting the quality of sputum smear microscopy for National Tuberculosis Control Program in Cebu, the Phillipines.** Journal of Japan Association for

International Health. Nagasaki. 16 (Supplement), October 2001 ; 151

Hyoui N. **Situation analysis of Kazakhstan School of Public Health.** Journal of Japan Association for International Health. Nagasaki. 16 (Supplement), October 2001 ; 155

Okamoto A, **Creativity under Uniformity.** Long-term care in Metropolitan Tokyo, International Longevity Center-World Cities Project, London. November 2001 ; 5

Otsubo K. **Time Analysis of Doctor's Medical Examination in Occupational Health Screening.** Aaia Pacific Academic Consortium for Public Health. Korea. 2001 ; 60

Reports

Hyoui N. **Situation Analysis of Kazakhstan School of Public Health.** (研究代表者：上畑鉄之丞) 平成10-12年度厚生省国際医療協力研究委託事業「開発途上国のPHCにおける地域看護の強化と人材開発のあり方に関する研究」報告書. 2001 ; 141-160

Okamoto A. **Computerization of health insurance claims in Japan: Recent development and future prospects.** International Symposium: Information Technology in the Medical Field sponsored by Institute of Health Economics & Policy, Tokyo, Japan. March 2002 ; 5-10.

疫学部

Department of Epidemiology

原著

鈴木健二, 箕輪眞澄, 尾崎米厚, 和田清. **中学生・高校生における問題飲酒群の飲酒行動；1966年全国調査結果から日本アルコール.** 薬物医学会. 2001 ; 36(1) : 39-52

大井田隆, 尾崎米厚, 丸山美知子, 武村真治, 城戸尚治, 箕輪眞澄. **中等学校の保健体育教師における喫煙率と喫煙防止教育.** 厚生指標. 2001 ; 48(5) : 14-18

藤田利治. **死因別乳児死亡率の出生体重による違い.** 厚生指標. 2001 ; 48(2) : 29-36

藤田利治. **1990年代におけるわが国の単産での出生体重別乳児死亡率の改善.** 日本公衆衛生雑誌. 2001 ; 48 : 289-297

藤田利治. **乳児期の死亡と出生時要因との関連：1995年から1998年までの人口動態を用いた検討.** 日本公衆衛

生雑誌. 2001 ; 48 : 449-459

藤田利治. **死因別の乳児死亡率と出生時要因との関連：1995年から1998年.** 厚生指標. 2001 ; 48(8) : 28-38

藤田利治. **人口動態統計からみたSIDSの現状.** 日本SIDS学会雑誌. 2002 ; 2(1) : 55-61

中井義勝, 藤田利治, 久保木富房, 野添新一, 久保千春, 吉政康直, 稲葉裕, 末松弘之, 中尾一和. **摂食障害の臨床像についての全国調査.** 精神医学. 2001 ; 43(12) : 1373-1378

沼田久美子, 藤田利治. **新宿区の結核患者における治療中断の関連要因とDirectly Observed Therapyの意義.** 日本公衆衛生雑誌. 2001 ; 49 : 58-63

高橋美保子, 丹後俊郎. **インフルエンザによる超過死亡の新しい定義とその推定方法の提案.** 日本公衛誌. 2001;

48 : 402-408

高橋美保子, 丹後俊郎. 過去23年間の死亡統計を用いたインフルエンザによる超過死亡の新しい推定法と従来の方法との比較研究. 日本公衛誌. 2001 ; 48 : 816-826

青山旬, 宮武光吉. 21世紀の歯科保健医療制度—平成11年歯科疾患実態調査報告から—. 日本歯科医学会雑誌. 2002 ; 21 : 29-38

関根道和, 山上孝司, 川南勝彦, 他. 3歳時の生活習慣と小学4年時の肥満に関する6年間の追跡研究—富山出生コホート研究の結果より—. 厚生指標. 2001 ; 48(8) : 14-21

川南勝彦, 箕輪眞澄, 新城正紀, 坂田清美, 永井正規. 難病患者の地域ベース・コホート研究—ベースライン調査結果 (QOLと保健福祉サービス)—. 厚生指標. 2001 ; 48(7) : 1-8

谷畑健生, 尾崎米厚, 青山旬, 川南勝彦, 黒沢洋一, 箕輪眞澄. 全国保健所におけるたばこ対策実施状況調査の結果と分析:平成4-9年(第2報)—保健所内での分煙・禁煙状況, たばこ対策担当者の研修状況, 保健所事業計画および日常業務とたばこ対策. 厚生指標. 2001 ; 48(3) : 23-28

大井田隆, 武村真治, 野崎直彦, 河原和夫, 箕輪眞澄, 望月友美子. 郵送法による全国医師喫煙調査における再調査の有効性. 日本公衆衛生雑誌. 2001 ; 48 : 573-583

大井田隆, 尾崎米厚, 丸山美知子, 石井敏弘, 曾根智史, 城戸尚治, 箕輪眞澄. 中高等学校の保健体育教師における喫煙率と喫煙防止教育. 厚生指標. 2001 ; 48(5) : 14-18

総説

箕輪眞澄. 第13回国際AIDS会議での話題. 保健婦雑誌. 2001 ; 1 : 68-71

箕輪眞澄. 受動喫煙. 日医雑誌. 2001 ; 127 : 1050

箕輪眞澄. 疫学部1988-2001. 公衆衛生研究. 2002 ; 51(特別企画号) : 49-58

丹後俊郎. 統計手法の知識. EBMジャーナル. 2001 ; 2 : 462-466

丹後俊郎. 統計学の基礎. EBMジャーナル. 2002 ; 3 : 208-213

藤田利治. 薬剤疫学概論. 大阪医薬品協会会報. 2001 ; 626 : 6-25

藤田利治. 公衆衛生従事者による有意義な疫学調査の実施. 保健婦雑誌. 2002 ; 58(5) : 368-374

青山旬. 公衆衛生院からの発信, 特定研修歯科衛生士研修. 公衆衛生誌. 2001 ; 65(10) : 762-763

土井由利子. 専門医から一般医へのメッセージ—公衆衛生学—ビブリオ・バルニフィカスについて—. 月刊地域医学. 2001 ; 15 : 136-139

川南勝彦. 健康日本21における情報収集・モニタリング体制の方法と課題. 公衆衛生研究. 2001 ; 50(4) : 241-246

三砂ちづる. フィンランドの出産事情. 助産婦雑誌.

2002 ; 56(2) : 155-163

三砂ちづる. EBMと出産のヒューマニゼーション—より女性の力を高めるケアを目指して—. 出産のヒューマニゼーション研究会. 2001

三砂ちづる. アメリカにおける青少年暴力に関する1999年Surgeon General (公衆衛生長官)の報告書から. 公衆衛生アプローチの重要性. 公衆衛生. 2001 ; 65(12) : 878-883

木戸脩, 平林史子, 三砂ちづる, 光石忠敬, 津谷喜一郎. 途上国における医薬品へのアクセス—南アフリカ薬事法をめぐる裁判—. 臨床評価. 2001 ; 28(3) : 479-495

三砂ちづる. EBMふたたび「助産婦のための疫学入門15」. 助産婦雑誌. 2002 ; 55(5) : 76-79

三砂ちづる. 出産のヒューマニゼーション—Projeto Luz (光のプロジェクト)の軌跡と学び—. 助産婦雑誌. 2001 ; 55(4) : 289-297

三砂ちづる. 質問票を作る「助産婦のための疫学入門14」. 助産婦雑誌. 2001 ; 55(4) : 73-77

三砂ちづる. “あなたの真実”を科学する—リサーチ・クエストと研究計画書—「助産婦のための疫学入門13」. 助産婦雑誌. 2001 ; 55(2) : 68-72

三砂ちづる. 疫学のためのコンピュータープログラムEpiInfo (エピインフォ)「助産婦のための疫学入門12」. 助産婦雑誌. 2001 ; 55(1) : 71-76

三砂ちづる. 出産の分野のEBM. 性と健康を考える女性専門家の会ニュースレター. 2001 ; 15 : 2-4

著書

箕輪眞澄, 川南勝彦. たばこ. 多田羅浩三編. 厚生科学特別研究事業:健康日本21推方策に関する研究:健康日本21推進ガイドライン, ぎょうせい, 東京. 2001 ; 204-223

箕輪眞澄, 谷畑健生. 疲労の実態調査と予防策. 井上正康・倉恒弘彦・渡辺恭良編. 疲労の科学;眠らない現代社会への警鐘. 講談社サイエンティフィック, 東京. 2001 ; 222-228

箕輪眞澄. 日本における現在の喫煙状況. 島尾忠男監修. Smoking Control ; その現状と今後の目標. 株式会社トーレラザール マッキャン ヘルスケア ワールドワイド, 東京. 2001 ; 4-12

箕輪眞澄, 土井由利子. 日本人の睡眠問題とその調整法. 早石修監修, 井上昌二郎編著. 快眠の科学. 朝倉書店, 東京. 2001 ; 2-10

柳川 洋, 柴田茂男, 箕輪眞澄. 公衆衛生学. 重松逸造編. 医歯薬出版, 東京, 第2版. 2001.

藤田利治. 薬剤疫学への第一歩. 藤田利治, 楠正 監修. エルゼビア・サイエンス ミクス, 東京. 2001.

青山旬 (分担執筆). 第4編医療. 瀬上清貴, 橋本修二ほか編. 図説国民衛生の動向2001. 厚生統計協会, 東京. 2001 ; 79-85

青山旬 (分担執筆). 第2章たばこの健康影響と依存性

の証拠 第5項その他の疾患5. 歯科疾患. 喫煙と健康問題に関する検討会編. 新版喫煙と健康「喫煙と健康問題に関する検討会」報告書, 保健同人社, 東京. 2002; 154

土井由利子. 母子保健の現状と動向. 鈴木庄介, 久道茂編. シンプル衛生公衆衛生学改訂第8版. 南江堂, 東京. 2002; 186-191

土井由利子, 後藤敦. 食中毒散発例の疫学調査マニュアル. 食品衛生研究会監修. 中央法規, 東京. 2001; 33-66

三砂ちづる. RAP(Rapid Anthropological Assessment Procedure) の解説と適応. 平野かよ子, 尾崎米厚編. 事例から学ぶ保健活動の評価. 医学書院, 東京. 2001; 138-141

津谷喜一郎, 三砂ちづる. 医療技術評価と技術移転. 眞野喜洋編. スタンダード公衆衛生学. 文光堂, 東京. 2002; 19-521

抄録のある学会報告

箕輪眞澄, 谷畑健生, 松本美富士, 倉恒弘彦. 医療機関外来受診者の疲労についての研究. 第12回日本疫学会学術総会, 東京. 2002; 183

箕輪眞澄. 地域保健の推進と疫学研究: 疫学をどう学ぶか, 疫学セミナー: 地域の健康問題と疫学 2000. 第12回日本疫学会学術総会. 2002; 100-101

箕輪眞澄. 喫煙対策への取り組みを振り返って. 第11回日本禁煙推進医師歯科医師連盟総会, 東京. 2002; 17

箕輪眞澄, 川南勝彦, 新城正紀, 他. 1年後の追跡状況の総括—難病患者の地域ベース・コホート研究. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10

窪山泉, 箕輪眞澄. 東京都の出生と死産の男女比. 第11回日本疫学会学術総会, つくば. 2001; 109

大井田隆, 箕輪眞澄. 医師の喫煙行動と喫煙に対する態度に関する全国調査—日本医師会員に対する郵送法調査. 第11回日本疫学会学術総会, つくば. 2001; 153

大井田隆, 箕輪眞澄. 看護婦の喫煙行動に関するコホート研究. 第71回日本衛生学会総会, 津. 2001; 159

関根道和, 山上孝司, 齋藤友博, 南里清一郎, 川南勝彦, 箕輪眞澄, 徳井教孝, 吉村健清, 杉森裕樹, 吉田勝美, 鏡森定信. 小学4年時の生活習慣と小児肥満—富山出生コホート研究の結果より. 日本衛生学会, 2001; 445

尾崎米厚, 谷畑健生, 箕輪眞澄, 曾根智史, 嘉悦明彦, 岡本幹三, 岸本拓治. 酒広告の実態に関する研究. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001; 297

飯塚俊子, 大村紘一, 箕輪眞澄, 川南勝彦. 神経難病患者の1年後の主観的QOL—難病患者の地域ベースコホート研究. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001; 472

花輪治子, 中野弘一, 筒井未春, 箕輪眞澄, 土井由利子. チャルダ—疲労質問票日本語の作成について. 第7回慢性疲労症候群(CFS)研究会, 大阪. 2000; 38

窪山泉, 井出多述子, 丸山浩一, 早藤知恵子, 藤谷知子, 市川久次, 山田澄夫, 佐藤恭信, 箕輪眞澄. 受動喫煙—曝露と健康知識—. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松.

2001; 868

丹後俊郎, 藤田利治, 谷畑健生, 箕輪眞澄, 土井由利子, 内山巖雄, 田中勝, 国包章一, 加藤則子, 池口孝, 上畑鉄之丞. ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響—研究デザイン. 第11回日本疫学会学術総会, つくば. 2001; 52

丹後俊郎. Meta-analysis. シンポジウム, 東京. 2001

丹後俊郎. 欠損値, 観測時点のずれなどを含む自然な反応プロファイルに基づく介入効果の評価について. 応用統計学会・日本計量生物学会合同年次大会, 東京. 2001.

丹後俊郎, 藤田利治, 谷畑健生, 箕輪眞澄, 土井由利子, 内山巖雄, 田中勝, 国包章一, 加藤則子, 池口孝, 上畑鉄之丞. ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響. 第12回日本疫学会学術総会, 東京. 2002; 50

丹後俊郎. ベイズ統計学の基礎と応用事例. 統計情報高度利用総合研究, 講演会「21世紀の保健統計」, 東京. 2002; 20-28

丹後俊郎. 医学研究における統計学. 第10回日本総合診療医学会, 教育研究講演, 高松. 2002; 31-32

藤田利治. 日本の1990年代の乳児死亡率改善に対する各出生体重グループの寄与. 第11回日本疫学会学術総会, つくば. 2001; 3

藤田利治. 臨床評価の方法. 和漢医薬学会. 2001; 15

藤田利治. 薬剤疫学の現状. 日本病院薬剤師会関東ブロック. 第31回学術大会. 2001; 48

藤田利治. 複産での病死による乳児死亡率の1990年代における改善. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001; 214

藤田利治. わが国の乳幼児突然死症候群: 1995~1998年. 第12回日本疫学会学術総会, 東京. 2002; 201

眞崎直子, 藤田利治. アルコール・薬物依存症の受療状況とその関連要因. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001; 734

土井由利子, 箕輪眞澄. 首都圏職域集団における睡眠負債と日中眠気に関する研究. 第11回日本疫学会学術総会, つくば. 2001

土井由利子. シンポジウムⅡ「24時間社会の睡眠障害」: 現代社会の睡眠障害. 第26回日本睡眠学会, 東京. 2001; 6

土井由利子. シンポジウム「睡眠の評価」: ピッツバーグ睡眠質問票の信頼性・妥当性その活用について. 第16回不眠研究会. 2001

土井由利子. 公衆衛生分野における行動科学教育についての日米比較研究. 第8回ヘルスリサーチフォーラム, 東京. 2001

土井由利子, 箕輪眞澄. 睡眠障害の再現性に関する疫学研究—首都圏職域集団における睡眠と健康調査より—. 第12回日本疫学会学術総会, 東京. 2002

土井由利子. ヘルスプロモーションと心理社会的要因について. 第72回日本衛生学会ワークショップ, 津. 2002

青山旬, 福田雅臣, 高久悟, 尾崎哲則, 長田齊, 岡田真人, 安井利一, 宮武光吉. 市町村における成人・老人歯科保健事業実施に決算・衛生費・人口の与える影響. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10

青山旬. 都道府県3歳児う蝕状況に与える出生順位の影響について. 第12回日本疫学会学術総会, 東京. 2002. 1

阿部眞弓, 永井厚志, 尾崎哲則, 青山旬. インターネット時代の最新式禁煙医療の特徴と効果 ネット対応携帯電話の禁煙プログラム「卒煙ネット」. 第99回日本内科学会総会, 名古屋. 2002. 3

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. 生活習慣と小児肥満—富山出生コホートの6年間追跡による縦断的評価. 第11回日本疫学会学術総会, つくば. 2001; 58

川南勝彦, 箕輪眞澄, 上島弘嗣. 喫煙のがん, 肺がん死亡への影響に関する研究: NIPPON DATA80. 第11回日本疫学会学術総会, つくば. 2001. 1

川南勝彦, 谷畑健生, 箕輪眞澄. 国立公衆衛生院特定研修「感染症集団発生対策研修概要」. 第15回公衆衛生情報研究協議会研究会, 金沢. 2002; 34-35

川南勝彦, 箕輪眞澄, 関根道和, 他. 3歳児から小学1年生のライフスタイルの変化と児童心理との関連性—富山出生コホート研究—. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001

尾形由起子, 川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. 主観的QOLにおける関連要因—難病患者の地域ベース・コホート研究. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001

嶋村清志, 川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. パーキンソン病患者のQOLについて—難病患者の地域ベース・コホート研究. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001

谷畑健生, 箕輪眞澄, 他. 日本における性感染症 (STD) 流行の実態. 第11回日本疫学会学術総会, つくば. 2001; 128

谷畑健生, 箕輪眞澄, 松本美富士, 倉恒弘彦, 木谷照夫. 慢性疲労は鬱状態および睡眠障害と関連があるか. 第6回慢性疲労研究会, 大阪. 2001; 29

箕輪眞澄, 谷畑健生. 日本における疲労の実態. 第11回日本疫学会学術総会, つくば. 2001; 160

箕輪眞澄, 谷畑健生, 松本美富士, 倉恒弘彦, 木谷照夫. 日本における疲労の実態とリスクファクター. 第6回慢性疲労症候群 (CFS) 研究会, 大阪. 2001; 17

尾崎米厚, 谷畑健生, 曾根智史, 箕輪眞澄, 岡本幹三, 岸本拓治. たばこ広告と青少年の喫煙行動との関連. 第11回日本疫学会学術総会, つくば. 2001; 154

三砂ちづる. 妊娠中絶後一年までの随伴症状 (Morbidity pattern) について—東北ブラジルにおける調査から—. 第42回日本母性衛生学会総会, 大阪. 2001; 222

三砂ちづる, 羽根田潔, 小貫大輔, 毛利多恵子, 定森徹, Paulo Freitas, Carl Kendall, Dirlene Mafaldas, 梅内拓生. ブラジル北東部セアラ州五市における妊産婦死亡の推移とVerbal Autopsyを用いた検討. 第16回日本国際保健

医療学会総会, 東京. 2001; 74

羽根田潔, 小貫大輔, 毛利多恵子, 三砂ちづる, 藤原美幸, 梅内拓生. Humanized Maternity Care—ブラジルでの母子保健活動の経験—. 第16回日本国際保健医療学会総会, 東京. 2001; 73

岡田麻衣, 三砂ちづる, 正木朋也, 濱田彰, 三浦弘子, 梅内拓生. 滞日ブラジル人労働者の受領行動に関する要因. 第16回日本国際保健医療学会総会, 東京. 2001; 83

三砂ちづる. RAP (Rapid Anthropological Assessment Procedure) は地域保健プロジェクト及びサービス評価の方法として有用か?—ブラジルにおける母性保健評価の例から—. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001; 907

三砂ちづる. 妊娠中絶後6週間の避妊の決定因子について—東北ブラジルの調査から—. 第66回日本民族衛生学会総会, 沖縄. 2001; 152

三砂ちづる, Fonseca W, Campbell O. “シングルショットカウンセリング”は何を変えるのか?—妊娠中絶に関するRCTの結果より—. 第12回日本疫学会学術総会, 東京. 2002; 85

三砂ちづる. 助産婦と国際支援 (ワークショップ). 第16回日本助産学会学術集会, 東京. 2002; 76-77

三砂ちづる. 紀南地区生活者基点の健康実態調査: 出産に関する調査結果報告書 (主任研究者: 山下成人) 2002

三砂ちづる. ブラジル母子保健プロジェクトから見たもの—助産モデルをコアにした女性の健康モデルを目指して—. 第27回全国助産師教育協議会研修会, 大阪. 2002; 10-14

三砂ちづる. EBMと出産のヒューマニゼーション: より女性の力を高めるケアを目指して. 第2回出産のヒューマニゼーション研究会, 東京. 2001; 6-11

渡辺満利子, 横塚昌子, 山岡和枝, 丹後俊郎, 他. 糖尿病予防のための栄養教育評価の介入研究. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10

西川正子, 丹後俊郎. On counter-intuitive properties of the Kaplan-Meier estimator. 第69回日本統計学会, 福岡. 2001. 9

丹後俊郎. チュートリアルセミナー講師: ロジスティック回帰分析の理論と応用, 日本行動計量学会第29回大会, 宝塚. 2001. 9

学術報告書等

箕輪眞澄, 谷畑健生, 他. 地域住民および医療機関外来受診者における疲労の実態. (主任研究者: 木谷照夫). 厚生省特別研究事業「疲労の実態調査と健康づくりのための疲労回復手法に関する研究. 平成12年度研究業績報告書, 2001; 13-28

箕輪眞澄, 谷畑健生, 他. 原因不明慢性疲労罹患率の国際比較. (主任研究者: 木谷照夫). 厚生省特別研究事業「疲労の実態調査と健康づくりのための疲労回復手法に関する研究. 平成12年度研究業績報告書, 2001; 29-35

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. **喫煙習慣のがんおよび循環器疾患死亡への影響に関する研究**. (主任研究官: 上島弘嗣). 厚生科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「国民の代表集団による高齢者のADL, 生活の質低下の予防に関するコホート研究NIPPON DATA」総括研究報告書, 2002; 8-32

箕輪眞澄. **難病患者の地域ベース・追跡(コホート)研究**. (主任研究者: 稲葉裕). 厚生科学研究特定疾患対策研究事業「特定疾患の疫学に関する研究班」平成13年度研究業績集, 2002; 25-37

箕輪眞澄. **行政資料による難病の頻度調査**. (主任研究者: 稲葉裕). 厚生科学研究特定疾患対策研究事業「特定疾患の疫学に関する研究班」平成13年度研究業績集, 2002; 40-45

箕輪眞澄. **カドミウム環境負荷量に関する研究; 廃棄物からのカドミウムによる環境負荷**. (主任研究官: 箕輪眞澄). 環境保健レポート, 2002; (68): 194-201

箕輪眞澄. **平成13年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業による小中学校における喫煙防止教育の標準化とその評価研究報告書**. (主任研究者: 箕輪眞澄).

丹後俊郎. **ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響に関する疫学研究** (主任研究者: 上畑鉄之丞). 平成12年度厚生科学研究費補助金生活安全総合研究事業報告書, 2001

丹後俊郎. **人口動態統計指標のベイズ推定と地域集積性の評価に関する研究**. (主任研究者: 丹後俊郎). 平成12年度厚生科学研究費補助金統計情報高度利用総合研究事業報告書, 2001

丹後俊郎. **日本におけるEBMのためのデータベース構築および提供利用に関する調査研究**. (主任研究者: 丹後俊郎). 平成12年度厚生科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業報告書, 2001

藤田利治. **乳児期の病死と出生時要因との関連: 1995年から1998年までの人口動態統計を用いた検討**. (主任研究者: 澤口彰子). 平成12年度厚生科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書, 乳幼児死亡率改善の為の研究, 2001; 520-532

藤田利治. **1990年代におけるわが国の単産での出生時特別乳児死亡率の改善**. (主任研究者: 澤口彰子). 平成12年度厚生科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書, 乳幼児死亡率改善の為の研究, 2001; 533-544

藤田利治. **死因別の乳児死亡率と出生時要因との関連: 1995年~1998年**. (主任研究者: 澤口彰子). 平成12年度厚生科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書, 乳幼児死亡率改善の為の研究, 2001; 545-558

藤田利治. **死因別乳児死亡率の出生体重による違い: 1995年~1998年の人口動態調査データを用いて**. (主任研究者: 澤口彰子). 平成12年度厚生科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書, 乳幼児死亡率改善の為の研究, 2001; 559-568

藤田利治, 他. **インフルエンザ脳炎・脳症の臨床経過と**

解熱剤投与の関係に関する研究. (主任研究者: 佐藤俊哉). 厚生科学研究特別研究事業, 平成12年度総括報告書, 2001

藤田利治, 他. **摂食障害の疫学・臨床像についての全国調査(中間報告)**. (主任研究者: 稲葉裕). 厚生科学研究特定疾患対策研究事業 特定疾患の疫学に関する研究班. 平成12年度研究業績集, 2001; 91-96

藤田利治, 他. **摂食障害の疫学・臨床像についての全国調査**. (主任研究者: 中尾一和) 厚生労働省特定疾患対策研究事業 中枢性摂食異常症に関する調査研究 平成12年度研究報告書, 2001; 67-76

青山旬. **健康日本21地方計画のたばこ対策に関する研究, 都道府県, 市町村の健康日本21地方計画及び保健所におけるたばこ対策実施状況とその評価** (研究代表者: 谷畑健生). 平成13年度厚生科学研究補助金健康科学総合研究事業研究報告, 2002; 67-72

青山旬. **2010年における全国成人男女別喫煙率推計, 市町村の健康日本21地方計画及び保健所におけるたばこ対策実施状況とその評価** (研究代表者: 谷畑健生). 平成13年度厚生科学研究補助金健康科学総合研究事業研究報告, 2002; 73-76

青山旬. **地域歯科保健計画の収集及び項目・内容の分析, 健康日本21・歯の健康における健康指標の開発とその評価に関する研究** (研究代表者: 宮武光吉). 平成13年度厚生科学研究補助金健康科学総合研究事業研究報告, 2002; 36-45

土井由利子. **平成13年度厚生省精神神経疾患研究委託費「睡眠傷害の診断・治療ガイドライン研究」** (主任研究者: 内山真). 2002

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. **難病患者に共通の主観的QOL尺度とShort Form 36 Health Surveyを用いたQOL得点の難病疾患別比較および国民標準値との比較—難病患者の地域ベース・追跡(コホート)研究—**. (主任研究者: 稲葉裕). 厚生科学研究特定疾患対策研究事業 特定疾患の疫学に関する研究班, 平成12年度研究業績集, 2001; 153-157

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. **特定疾患調査研究事業対象疾患名とICD10基本分類コードの対応—行政資料による難病の頻度調査—**. (主任研究者: 稲葉裕). 厚生科学研究特定疾患対策研究事業 特定疾患の疫学に関する研究班 平成12年度研究業績集, 2001; 207-209

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. **難病患者の地域ベース・追跡(コホート)研究に関する追跡結果**. (主任研究者: 稲葉裕). 厚生科学研究特定疾患対策研究事業「特定疾患の疫学に関する研究班」. 平成13年度研究業績集, 2002; 177-184

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. **臨床調査個人票を用い解析例: パーキンソン病—難病患者の地域ベース・追跡(コホート)研究**. (主任研究者: 稲葉裕). 厚生科学研究特定疾患対策研究事業「特定疾患の疫学に関する研究班」平成13年度研究業績集, 2002; 185-190

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. 難病患者のQOLに関するコホート研究—難病患者の地域ベース・追跡(コホート)研究. (主任研究者: 稲葉裕). 厚生科学研究特定疾患対策研究事業「特定疾患の疫学に関する研究班」平成13年度研究業績集, 2002; 191-195

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. パーキンソン病患者のQOLについて—難病患者の地域ベース・追跡(コホート)研究. (主任研究者: 稲葉裕). 厚生科学研究特定疾患対策研究事業「特定疾患の疫学に関する研究班」. 平成13年度研究業績集, 2002; 196-199

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. 神経系難病患者のQOL, 保健福祉サービス・ニーズ調査を実施して—難病患者の地域ベース・追跡(コホート)研究. (主任研究者: 稲葉裕). 厚生科学研究特定疾患対策研究事業「特定疾患の疫学に関する研究班」. 平成13年度研究業績集, 2002; 200-203

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. 脊髄小脳変性症の主観的QOLについて—難病患者の地域ベース・追跡(コホート)研究. (主任研究者: 稲葉裕). 厚生科学研究特定疾患対策研究事業「特定疾患の疫学に関する研究班」. 平成13年度研究業績集, 2002; 204-207

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. 筋萎縮側索硬化症の主観的QOLについて—難病患者の地域ベース・追跡(コホート)

研究. (主任研究者: 稲葉裕). 厚生科学研究特定疾患対策研究事業「特定疾患の疫学に関する研究班」. 平成13年度研究業績集, 2002; 208-211

川南勝彦, 箕輪眞澄, 他. 行政資料による難病の頻度調査. (主任研究者: 稲葉裕) 厚生科学研究特定疾患対策研究事業「特定疾患の疫学に関する研究班」. 平成13年度研究業績集, 2002; 237-298

小林秀資, 丹後俊郎, 林謙二, 平野かよ子, 田中哲郎, 三砂ちづる, 福島富士子. 妊娠, 出産状況がADHDの発生に及ぼす影響—バースコホート研究デザイン— (主任研究者: 小林秀資). 厚生科学研究費補助金, 子ども家庭総合研究事業. 平成13年度報告書, 2002; 9-91, 110-142

三砂ちづる. 分担研究タイトル: 途上国での効率的HIV/AIDSケアを可能とする地域保健活動. 開発途上国における抗HIV多剤併用療法の導入等の医療サービス提供に関する医療経済学的研究. 平成13年度報告書, 2002

三砂ちづる. ブラジル国別援助研究会報告書. 国際協力事業団, 国際協力総合研修所, 2002; 149-158

視聴覚資料やデジタル媒体などによる研究成果

青山旬 (分担執筆). 図説国民衛生の動向2001 CD-ROM班. 厚生統計協会, 東京.

Originals

Ohida T, Sakurai H, Mochizuki Y, Kamal AM, Takemura S, Minowa M, Kawahara K. **Smoking prevalence and attitudes toward smoking among Japanese physicians.** *JAMA*. 2001; **285** : 2643-2648

Ohida T, Kamal AM, Takemura S, Sone T, Minowa M, Nozaki S. **Smoking behavior and related factors among Japanese nursing students : A cohort study.** *Preventive Medicine*. 2001; **32** : 341-347

Ohida T, Kamal AA, Sone T, Ishii T, Uchiyama M, Minowa M, Ozaki S. **Night-shift work related problems in young female nurses in Japan.** *J Occup Health*. 2001; **43** : 150-156

Iino S, Tango T, Matsushima T, Toda G, Miyake K, Hino K, Kumada H, Yasuda K, Kuroki T, Hirayama C, Suzuki, H. **Therapeutic effects of stronger neominophagen C at different doses on chronic hepatitis and liver cirrhosis.** *Hepatology Research*. 2001; **19** : 31-40

Mitani S, Kamata H, Fujiwara M, Aoki N, Tango T, Fukuchi K, Oka T. **Analysis of c-myc DNA amplification in non-small cell lung carcinoma in comparison with small cell lung carcinoma using polymerase chain reaction.** *Clin Exp Med*. 2001; **2** : 105-111

Doi Y, Roberts RE, Takeuchi K, Suzuki S. **Multicultural comparison of adolescent major depression based on the DSM-IV criteria in a US-Japan study.** *Journal of the American Academy of Child & Adolescent Psychiatry*. 2001 ;

40 : 1308-1315

Doi Y, Minowa M, Uchiyama M, Okawa M. **Subjective sleep quality and sleep problems in the Japanese adult population.** *Psychiatry and Clinical Neurosciences*. 2001 ; **55** : 213-215

Misago C, Kendall C, Freitas P, Haneda H, Silveira D, Onuki D, Mori T, Sadamori T, Umenai T. **From 'culture of dehumanization of childbirth' to 'childbirth as a transformative experience' : Changes in five municipalities in north-east Brazil.** *International Journal of Gynecology & Obstetrics* 2001. 2001 ; 75(1) : S67-72

Ohida T, Kamal AM, Takemura S, Sone T, Mochizuki Y, Kawaminami K. **Relation between smoking prevalence and various social factors in Japan.** *Keio J Med* 2001; **50**(4) : 263-68

Proceedings with abstracts

Tango T. **Spatio-temporal model for excess environmental risks around putative sources based on small area data with many zero counts.** The Royal Statistical Society Theme Conference, Glasgow, UK. 2001

Nishikawa M, Tango T. **Counter-intuitive behaviour of the Kaplan-Meier estimator : A new theorem and examples.** The Joint Statistical Meeting, Atlanta, GA, USA. Aug. 2001 ; 147

Tango, T. **A simple spatio-temporal model for excess environmental risks around putative sources based on small area data with many zero counts** (Invited paper).

International Conference on Statistical Challenges in Environmental Health Problems, Fukuoka, Japan. Sep. 2001 ; 162

Watanabe M, Yamaoka K, Tango T, Yokotsuka M. et al. **Study for the evaluation of nutrition education for the diabetes mellitus prevention.** International Congress of Nutrition, Vienna, Australia. Aug. 2001 ; 604

Tango, T. **Clinical trials in Japan : Oriental mystery?** (Invited paper). Der 46 Jahrestagung der GMDS, Köln, Germany. 2001 ; 315

Doi Y, Roberts ER, Takeuchi K, Suzuki S. **The structure of Depression among American and Japanese adolescents.** 48th American Academy of Child

& Adolescent Psychiatry Annual Meeting, Honolulu. Oct. 2001

Doi Y, Minowa M, Uchiyama M, Okawa M. **Psychiatric morbidity and utility of medical consultations in the Japanese adult population.** 3rd Asian-Pacific Congress of Epidemiology, Kitakyushu. Sep. 2001

Misago C. **Humanization of Childbirth — A new Safe Motherhood strategy?**— International Symposium on Maternal and Child Health. Safe Motherhood — Our pregnancy, health examination and Delivery. Faculty of Human Sciences, Osaka University and JICA. June 2001

公衆衛生行政学部 Department of Public Health Administration

原 著

大井田隆, 武村真治, 野崎直彦, 河原和夫, 箕輪眞澄, 望月友美子. **郵送法による全国医師喫煙調査における再調査の有効性.** 日本公衆衛生雑誌 2001 ; 48 : 573-583.

大井田隆, 武村真治, 野崎直彦, 河原和夫, 杉江拓也, 上畑鉄之丞. **病院看護婦の睡眠問題と夜勤およびライフスタイルとの関連性.** 日本公衆衛生雑誌. 2001 ; 48 : 595-605

大井田隆, 尾崎米厚, 丸山美知子, 石井敏弘, 曾根智史, 城戸尚治, 箕輪眞澄. **中等高等学校の保健体育教師における喫煙率と喫煙防止教育.** 厚生指標 2001 ; 48(5) : 14-18.

長谷川さかえ, 長谷川まゆみ, 佐竹直子, 大井田隆. **福井県のA中学校生徒会が実施した喫煙状況調査について.** 厚生指標. 2001 ; 48 : 29-33

小林冬子, 大井田隆. **東京都の離島における中高生の飲酒行動に関する調査.** 厚生指標. 2001 ; 48(15) : 18-26

石井敏弘, 大井田隆, 藤崎清道, 武村真治, 曾根智史, 林謙治. **救急車利用に影響を与える諸要因について—特に軽症者の利用に焦点を当てて.** 日本公衆衛生雑誌. 2001 ; 48(2) : 109-120

筒井孝子. **要介護認定理論を利用したケアプラン作成方法とその考え方.** コミュニティケア. 2001 ; 3(1) : 65-69

筒井孝子. **急性期病棟における「臨床的看護必要度」に関する研究—「手間がかかる患者」を判断する基準とは—.** 看護管理. 2002 ; 12(1) : 40-46

筒井孝子. **急性期病棟の看護業務実態と患者の病態との関係 (第2報)—高齢患者の特徴と臨床的看護必要度—.** 病院管理. 2002 ; 39(2) : 13-23

筒井孝子. **介護支援専門員による居宅サービス計画の「適切さ」の評価に関する主観的評価.** 日本の地域福祉 2002 ; 15 : 28-38, 114, 123-124

岡田節子, 筒井孝子, 中嶋和夫. **育児ストレス・コーピング尺度の因子不変性.** 静岡県立大学短期大学部研究紀要 2002 ; 15 : 171-178

間三千夫, 筒井孝子, 中嶋和夫. **母親の育児ストレス・コーピングと精神的健康の関係.** 信愛女子大学研究紀要

2002 ; 42 : 54-58

武村真治, 大井田隆, 曾根智史, 石井敏弘, 福田敬, 中原俊隆, 近藤健文. **市町村における地域保健サービスの費用関数と効率性の推定.** 厚生指標. 2001 ; 48(3) : 9-13

武村真治, 福田敬, 中原俊隆, 曾根智史, 大井田隆, 石井敏弘. **がん検診の需要の価格弾力性の推定—仮想評価法による自己負担料の支払い意志額 (Willingness To Pay) を用いて—.** 病院管理. 2001 ; 38(2) : 119-128

武村真治, 大井田隆, 曾根智史, 石井敏弘, 藤崎清道. **全国都道府県保健所における地域保健法施行後の保健所機能強化の実態—情報機能, 調査研究機能を中心に—.** 厚生指標. 2001 ; 48(6) : 20-25

府川哲夫, 武村真治. **Healthに関する国際比較—プライマリ・ケアを中心に—.** 厚生指標. 2001 ; 48(2) : 3-11

竹内祐子, 高橋みね, 河西あかね, 中島弘美, 加藤和美, 吉實みちる, 宇津木恵, 曾根智史, 守田孝恵, 武村真治. **地域保健事業における広報媒体の活用の実践と評価.** 日本公衆衛生雑誌. 2001 ; 48(9) : 764-772

武村真治, 曾根智史, 大井田隆, 福田敬, 石井敏弘. **わが国の地域保健サービスに対する支払意思額 (Willingness To Pay) の測定 —ペプシノゲン法による胃がん検診への仮想市場法の適用—.** 病院管理. 2002 ; 39(1) : 13-21

樋田美智子, 武村真治. **機能訓練教室の費用便益分析—仮想評価法によって測定された支払意思額を用いて—.** 日本公衆衛生雑誌. 2002 ; 49(1) : 29-40

総 説

野村隆司, 大井田隆. **我が国における結核の現状と課題.** 日本耳鼻科学会専門医通信 2001 ; 66 : 18-28

野崎貞彦, 大井田隆. **医師に必要な法規.** 内科総合誌. 2001 ; 18 : 188-192

岩永俊博, 鳩野洋子, カマル・AM・モスタファ, 石井敏弘. **ヘルスプロモーションの進め方 都会と農村での違い.** 公衆衛生. 2001 ; 65(5) : 324-331

曾根智史. 健康づくりの実践モデル プリシード・プロシードモデル (PRECEDE-PROCEED Model) について. 健康づくり. 2002; 287: 2-7

曾根智史. 基礎医学の現状とこれから 公衆衛生学. 看護. 2002; 54(3): 57-59

筒井孝子. 公衆衛生院からの発信・14 一介護サービスマネジメント研修. 公衆衛生. 2001; 65(3): 218-219

望月友美子. たばこ依存社会からの脱却. バイオクリニカ. 2002

坪井正博, 望月友美子, 大平達夫, 加藤治文, 平野隆, 大森一光, 川村雅文. 肺癌専門医と喫煙対策 禁煙宣言後の肺癌学会の取り組みについて. 肺癌. 2001; 41(5): 407

著書

大井田隆. 地域保健活動, 衛生行政, 社会保障・社会福祉. 白谷三郎, 西山敬太郎, 菅原和夫編. 最新公衆衛生 (第3版). 講談社, 東京. 2001; 186-213

大井田隆. 保健の動向と対策. 新版・社会福祉学習双書編集委員会編 医学一般. 全国社会福祉協議会, 東京. 2001; 190-223

大井田隆. 地域保健. 稲葉裕, 野崎貞彦編. 新解明衛生公衆衛生. 南山堂, 東京. 2001; 145-150

石井敏弘. ヘルスプロモーションの実践的理解と健康づくり政策・施策の転換. 石井敏弘, 櫃本真幸編. ケースメソッドで学ぶヘルスプロモーションの政策開発/政策化・施策化のセンスと技術. ライフ・サイエンス・センター, 横浜. 2001; 3-19

石井敏弘. ケースメソッドのすすめ. 石井敏弘, 櫃本真幸編. ケースメソッドで学ぶヘルスプロモーションの政策開発/政策化・施策化のセンスと技術. ライフ・サイエンス・センター, 横浜. 2001; 31-34

石井敏弘. ケースメソッドによる授業の進め方. 石井敏弘, 櫃本真幸編. ケースメソッドで学ぶヘルスプロモーションの政策開発/政策化・施策化のセンスと技術. ライフ・サイエンス・センター, 横浜. 2001; 35-39

石井敏弘, 大井田隆, 武村真治. 地方分権時代の自治体行政. 石井敏弘編. 地方分権時代の健康政策実践書/みんなで楽しくできるヘルスプロモーション. ライフ・サイエンス・センター, 横浜. 2001; 3-11

石井敏弘. プリシード-プロシード・モデル. 石井敏弘編. 地方分権時代の健康政策実践書/みんなで楽しくできるヘルスプロモーション. ライフ・サイエンス・センター, 横浜. 2001; 146-149

石井敏弘. 健康教育領域におけるQOLの現状と展望. 萬代隆監修. QOL評価法マニュアル/評価の現状と展望. インターメディカ, 東京. 2001; 85-97

筒井孝子. 介護サービス論—介護サービス市場創設と公 (Public) の役割. 有斐閣, 東京. 2001

筒井孝子. 要介護認定はより正確になるか—要介護認定の正確さとは. 京極高宣, 小室豊允監修. 福祉の論点. 中央法規, 東京. 2001; 98-99

武村真治. 保健活動の経済的評価. 平野かよ子, 尾崎米厚編. 事例から学ぶ保健活動の評価. 医学書院, 東京. 2001; 166-171

抄録のある学会報告

大井田隆, 武村真治, 曾根智史, 箕輪眞澄, 河原和夫, 櫻井秀也. 医師の喫煙行動と喫煙に対する態度に関する全国調査. 第11回日本疫学会, つくば, 2001. 1

大井田隆, 箕輪眞澄, 河原和夫. 医師喫煙調査における回収率と喫煙率. 第10回日本禁煙推進医師歯科医師連盟総会, 神戸. 2001. 2

大井田隆, 曾根智史, 石井敏弘. 病院女性職員の夜間勤務, 睡眠問題及びライフスタイルに関する研究. 第74回日本産業衛生学会, 高知. 2001. 4

大井田隆, 箕輪眞澄. 看護婦の喫煙行動に関するコホート研究. 第71回日本衛生学会, 福島. 2001. 4

大井田隆, 内山真, 金圭子. わが国の一般住民における睡眠問題とライフスタイルとの関連性. 第23回日本睡眠学会, 東京. 2001. 6

大井田隆. 公衆衛生行政と大学の専門性 (シンポジウム: 地域保健活動における大学の役割). 第7回日本衛生学会, 福島. 2001. 4

大井田隆, 武村真治, 丸山美知子. 郵送法社会調査における再調査の有効性. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10; 208

カマル A.M. モスタファ, 岩永俊博, 大井田隆, 鳩野洋子, 渡辺志保, 林従子, 飯塚俊子. SOJO model (地域づくり型保健活動) の特徴. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10; 325

岩永俊博, カマル A.M. モスタファ, 大井田隆, 鳩野洋子, 渡辺志保, 林従子, 飯塚俊子. 参加型目的描写法参加者の態度変化. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10; 325

水越昭博, 長谷川勢子, 菅井敬巳, 鍋谷美紀, 梅野裕子, 荒木美津子, 倉金暁子, 沼澤広子, 松浦仁美, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 島田美喜. 保健所における新しい試みの導入と職員の意識変化—地域づくり型保健活動の準備期を通して— 1 = 自記式質問紙調査による検討 =. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10; 433

菅井敬巳, 長谷川勢子, 水越昭博, 鍋谷美紀, 梅野裕子, 荒木美津子, 倉金暁子, 沼澤広子, 松浦仁美, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 島田美喜. 保健所における新しい試みの導入と職員の意識変化—地域づくり型保健活動の準備期を通して— 2 = グループの話し合いの観察, 面接聞き取り調査および発言の収集調査による検討 =. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10; 433

長谷川勢子, 水越昭博, 菅井敬巳, 鍋谷美紀, 梅野裕子, 荒木美津子, 倉金暁子, 沼澤広子, 松浦仁美, 岩永俊博, 畑栄一, 福島富士子, 島田美喜. 保健所における新しい試みの導入と職員の意識変化—地域づくり型保健活動の準備期を通して— 3 = 総合的検討 =. 第60回日本公衆衛生学

会総会, 高松. 2001. 10 ; 434

宮川清誘, 岩永俊博, 砂山圭子, 前田円. 障害児を持つ親の会の発展過程における支援技術の要因分析. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10 ; 440

曾根智史, 大井田隆, 劔陽子. 妊産婦の飲酒状況に関する研究 (プレテスト結果, 2000年度). 第12回日本疫学会学術総会, 東京. 2002. 1

曾根智史, 田口眞, 中野修治, 堀江正知, 広部一彦. 事業場における在職者の性別死亡率と性・年齢階級別死因 (サンユー会学術QQプロジェクト, 1999年). 第74回日本産業衛生学会, 高知. 2001. 4

中野修治, 田口眞, 曾根智史, 堀江正知, 広部一彦. 事業場における在職者の死因と健康診断結果との関連 (サンユー会学術QQプロジェクト, 1999年). 第74回日本産業衛生学会, 高知. 2001. 4

曾根智史, 大井田隆, 武村真治, 劔陽子. 妊産婦の喫煙状況に関する研究 (プレテスト結果, 2000年度). 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10

森下かおり, 杉井和美, 池田凡美, 岩崎祐子, 曾根智史. 静岡県における大勢の人が集まる場所の分煙対策実施状況について. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10

尾崎米厚, 谷畑健生, 箕輪眞澄, 曾根智史, 嘉悦明彦, 岡本幹三, 岸本拓治. 酒広告の実態に関する研究. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10

石井敏弘, 山中朋子, 柴田ミチ, 千葉綾子, 中村育子, 熊谷崇子, 武村真治, 曾根智史, 大井田隆. 地方自治体の健康政策づくりにおけるグループ・インタビュー活用の試み. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10 ; 439

東野定律, 筒井孝子. 在宅要介護高齢者の権利擁護に関する研究 (1) —加害者, 被害者のインタビュー調査結果から—. 日本地域福祉学会第15回大会, 宮崎. 2001. 6 ; 124-125

筒井孝子, 東野定律. 在宅要介護高齢者の権利擁護に関する研究 (2) —「虐待」を認識するプロセス—. 日本地域福祉学会第15回大会, 宮崎. 2001. 6 ; 126-127

筒井孝子, 東野定律. 一般急性期病棟への「看護必要度」導入に関する研究. 第39回日本病院管理学術総会, 東京. 2001. 10 ; 79

児玉三千恵, 筒井孝子, 東野定律. 介護保険制度実施前後の要介護度の変動とその要因に関する継続的研究. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 11 ; 690

齋藤麻利, 武村真治. 若年男性就労者における予防的保健行動と店舗・施設の利用状況との関連. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10 ; 335

武村真治, 樋田美智子, 藤永健太郎. Willingness To Payを用いた地域保健サービスの経済的評価 (1) —その理論と実践—. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10 ; 425

樋田美智子, 武村真治. Willingness To Payを用いた地域保健サービスの経済的評価 (2) —機能訓練教室への応用—. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10 ; 425

藤永健太郎, 武村真治. Willingness To Payを用いた

地域保健サービスの経済的評価 (3) —ペプシノゲン法による胃がん検診への応用—. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10 ; 426

学術報告書等

大井田隆, 曾根智史, 武村真治. わが国における妊産婦の喫煙・飲酒の実態と母子への健康影響に関する疫学的研究. (主任研究者: 大井田隆). 平成12年度厚生科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業, 平成12年度総括研究報告書, 2001

大井田隆, 筒井孝子. 介護サービスにおける権利擁護の行政的評価に関する研究. (主任研究者: 大井田隆). 平成12年度厚生科学研究費補助金長寿科学総合研究事業. 平成12年度総括研究報告書, 2001

大井田隆, 曾根智史, 武村真治. わが国における妊産婦の喫煙・飲酒の実態と母子への健康影響に関する疫学的研究. (主任研究者: 大井田隆). 平成13年度厚生科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業, 平成13年度総括研究報告書, 2002

大井田隆, 筒井孝子. 介護サービスにおける権利擁護の行政的評価に関する研究. (主任研究者: 大井田隆). 平成13年度厚生科学研究費補助金長寿科学総合研究事業. 平成13年度総括研究報告書, 2002

大井田隆, 武村真治, 曾根智史, 他. 構造・過程・結果のアプローチからの保健所機能の総合評価に関する研究. (主任研究者: 大井田隆). 平成13年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業, 平成13年度総括研究報告書, 2002.

曾根智史. 都道府県レベルで活用できる効果的な研修技法の開発に関する研究. (主任研究者: 曾根智史). 平成12年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業. 平成12年度総括研究報告書, 2001 ; 1-45

曾根智史, 大井田隆, 岩永俊博, 武村真治. 都道府県レベルで活用できる効果的な研修技法の開発に関する研究. (主任研究者: 曾根智史). 平成12年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業, 平成11~12年度総合研究報告書, 2001.

曾根智史. EBMを指向した「情報科学センター」機能の設置効果に関する調査研究. (主任研究者: 丹後俊郎). 平成12年度厚生科学研究費補助金厚生科学特別研究事業. 平成12年度総括・分担研究報告書, 2001 ; 27-30

曾根智史. ニューサウス・ウェールズ大学の遠隔教育の概要について. 公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究. (主任研究者: 柳澤健一郎). 平成12年度地域保健総合推進事業. 平成12年度報告書, 2001

曾根智史, 武村真治. ソーシャルマーケティング理論を応用した, 生活者・消費者主体の地域保健事業のあり方に関する研究. (主任研究者: 中原俊隆). 平成12年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業, 平成12年度総括研究報告書, 2001

曾根智史, 武村真治. ソーシャルマーケティング理論を

応用した、生活者・消費者主体の地域保健事業のあり方に関する研究。(主任研究者：中原俊隆)。平成12年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業、平成10～12年度総合研究報告書、2001

石井敏弘。疾病予防／健康増進施策に係る国際比較と国際協力に関する研究。(主任研究者：川口雄次)。包括的社会保障制度に係る国際比較と国際協力戦略に関する研究平成13年度総括・分担研究報告書、2002；26-47

筒井孝子。介護保険制度下における介護サービスの質の評価に関する研究。平成12年度厚生科学長寿科学総合研究報告書、2001

筒井孝子、高嶋妙子、上泉和子、石井和人、金井バック雅子、佐藤紀子、須古博信、田中彰子、田中由紀子、大伍マサヨ、鶴田恵子、南信明、山口悦子、関庸一、谷口仁志、宮野尚哉、山内豊明。看護必要度に関する基礎調査研究報告書。2001

筒井孝子。介護保険制度下における介護サービスの質の評価に関する研究。平成13年度厚生科学長寿科学総合研究報告書、2002

筒井孝子、高嶋妙子、上泉和子、石井和人、金井バック雅子、佐藤紀子、須古博信、田中彰子、田中由紀子、大伍マサヨ、鶴田恵子、南信明、山口悦子、関庸一、谷口仁志、宮野尚哉、山内豊明。看護必要度に関する基礎調査研究報告書。2002

武村真治、大井田隆、曾根智史。地域保健サービスの生産関数・費用関数の推定とサービス供給の効率性に関する研究。(主任研究者：武村真治)。平成12年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業、平成12年度総括研究報告書、2001。

武村真治、他。介護保険導入による市区町村の保健福祉サービスの変容に関する研究。(主任研究者：近藤健文)。平成12年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業、平成12年度総括研究報告書、2001

武村真治、他。高齢期等居住移動者の保健等ニーズと地域保健医療福祉の供給に関する研究。(主任研究者：豊川裕之)。平成12年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研

究事業、平成12年度総括研究報告書、2001

武村真治、他。自治体における高齢者等の健康づくり政策に関する実態調査報告書(主任研究者：財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構)。平成12年度老人保健健康増進等事業、2001

武村真治、他。東京都医療機能等実態調査報告書。東京都衛生局、2001

武村真治、大井田隆、曾根智史。地域保健サービスの生産関数・費用関数の推定とサービス供給の効率性に関する研究。(主任研究者：武村真治)。平成13年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業、平成13年度総括研究報告書、2002

武村真治、大井田隆、曾根智史。地域保健サービスの生産関数・費用関数の推定とサービス供給の効率性に関する研究。(主任研究者：武村真治)。平成13年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業、平成11～13年度総合研究報告書、2002

武村真治、他。介護保険導入による市区町村の保健福祉サービスの変容に関する研究。(主任研究者：近藤健文)。平成13年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業、平成13年度総括研究報告書、2002

武村真治、他。介護保険導入による市区町村の保健福祉サービスの変容に関する研究。(主任研究者：近藤健文)。平成13年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業、平成11～13年度総合研究報告書、2002

望月友美子(分担研究者)。たばこ税増税の効果・影響等に関する調査研究。平成13年度厚生科学研究補助事業による研究報告書、2002

望月友美子(主任研究者)、加藤則子、大井田隆、林謙治、曾根智史。思春期の保健対策の強化と健康教育の推進に関する研究。平成13年度厚生科学研究補助事業による研究報告書、2002

望月友美子(研究協力者)。総合的たばこ対策の推進に関する研究—たばこ対策への健康投資とポリシーミックスの評価に関する研究。平成11年度厚生科学研究補助事業による研究報告書、2000

Originals

Ohida T, Sone T, Ishii T, Uchiyama M, Minowa M, Nozaki S. **Sleep Problems among Young Female Nurses in Japan.** *Journal of Occupational Health* 2001 ; **43** : 150-156

Ohida T, Kamal AM, Takemura S, Sone T, Minowa M, Nozaki S. **Smoking behavior and related factors among Japanese nursing students.** *Preventive Medicine* 2001 ; **32** : 341-347

Ohida T, Kamal AM, Uchiyama M, Kim K, Takemura S, Sone T, Ishii T. **The influence of lifestyle and health status factors on sleep loss among Japanese general population.** *Sleep* 2001 ; **24** : 333-338

Ohida T, Sakurai H, Mochizuki Y, Kamal AM,

Takemura S, Minowa M, Kawahara K. **Smoking prevalence and attitudes towards smoking among Japanese physicians.** *JAMA* 2001 ; **285** : 2643-2648

Ohida T, Kamal AM, Takemura S, Sakurai H. **Smoking among Japanese physicians.** *JAMA* 2001 ; **286** : 917

Ohida T, Kamal AM, Takemura S, Mochizuki Y, Kawaminami K. **Relation between smoking prevalence and various social factors in Japan.** *The Keio Journal of Medicine* 2001 ; **50** : 263-268

Ohida T, Sakurai A, Kamal AM, Sone T, Takemura S, Fukushima F. **Smoking behaviors among the Japanese nursing students : A national survey.** *Tobacco Control* 2001 ; **10** : 397

Okada M, Hashimoto H, Ohida T. **Domain analysis**

and modeling to improve comparability of health statistics. *Medinfo* 2001 ; **10** : 1372-1378

Kim K, Uchiyama M, Liu X, Shibui K, Ohida T, Ogihara R, Okawa M. **Somatic and psychological complains and their correlates with insomnia in the Japanese general population.** *Psychosomatic Medicine* 2001 ; **63** : 441-446

Yamaguchi N, Mochizuki-Kobayashi Y, Utsunomiya O. **Quantitative relationship between cumulative cigarette consumption and lung cancer mortality in Japan.** *Int J Epidemiol. Dec.* 2000 ; **29**(6) : 963-8

Proceedings with abstracts

Ohida T, Kamal AM, Sone T, Iwanaga T. **Smoking prevalence and attitudes towards smoking among Japanese medical doctors.** 33rd Asia Pacific Academic Consortium for Public Health, Seoul. Apr. 2001

Ohida T, Sone T. **Smoking prevalence and attitudes towards smoking among Japanese medical doctors.** 129th American Public Health Association Annual Meeting and Exposition, Atlanta. Oct. 2001

Kamal AM, Iwanaga T, Ohida T. **SOJO model for healthy aging, part1 : concepts and procedures.** 17th World Congress of the International Association of Gerontology. 2001

Kamal AM, Iwanaga T, Ohida T, Hatono Y, Watanabe S. **SOJO Model ; A process model for community based health promotion (part-I).** 33rd Asia Pacific Academic Consortium for Public Health, Seoul. Apr. 2001

Iwanaga T, Kamal AM, Ohida T, Hatono Y, Watanabe S, Hayashi Y, Iizuka T. **SOJO Model ; Responses of the work-shop participants (part-II).** 33rd Asia Pacific Academic Consortium for Public Health, Seoul. Apr. 2001

Sone T, Ohida T. **Smoking behavior and exposure to environmental tobacco smoke among pregnant women in Japan.** 129th American Public Health Association Annual Meeting and Exposition. Atlanta. Oct. 2001

Sone T, Iwanaga T, Hatono Y, Yamada K. **Needs for**

training method development in local public health education in Japan. 2001 APACPH Meeting, Seoul. Apr. 2001

Ishii T, Ohida T, Fujisaki K, Takemura S, Sone T, Hayashi K. **Study of factors that influence the use of ambulances in Japanese prefectures.** 33rd Asia Pacific Academic Consortium for Public Health, Seoul. Apr. 2001

Miyano T, Tsutsui T, Seki Y, Taniguchi H. **Classification and prediction of medical data by adaptive nonlinear local approximation technique.** 5th International Conference on Engineering Design and Automation. 2001

Miyano T, Tsutsui T, Seki Y, Taniguchi H. **Classification and prediction of medical data by adaptive nonlinear local approximation technique.** Proceedings of the Second International ICSC Symposium on Advances in Intelligent Data Analysis. No. 1721-054. 2001

Tsutsui T. **Continuous variations in nursing care needs levels for elderly, and predictions of these variations, in the context of the New Public Long-Term Care Insurance System in Japan.** 54rd Annual Scientific Meeting of The Gerontological Society of America. 2001

Koyama H, Tsutsui T, Higashino S, Tataru T. **The New Public Long-Term Care Insurance System in Japan An analysis of policy-related issues one year after implementation.** 54rd Annual Scientific Meeting of The Gerontological Society of America. 2001

Tsutsui T. **Background and methodology in the development of care needs certification system for the New Public Long-term Care Insurance System in Japan.** National Conference and Trade Exhibition. 2001

Takemura S, Fukuda T, Ohida T, Sone T, Ishii T. **Economies of scale in cancer screening programs of Japan.** 17th Annual Meeting of the International Society of Technology Assessment in Health Care, Philadelphia. June 2001 ; 66

公衆衛生看護学部

Department of Public Health Nursing

原著

上野昌江, 山田和子. **子どもの虐待防止における保健婦の援助実態に関する研究—家庭訪問活動の分析.** 児童虐待の援助における保健婦の役割に関する基礎的研究. 大阪府立看護大学紀要. 2001 ; **7**(1) : 9-17

岡本玲子, 鳩野洋子, 島田美喜ほか. **保健婦・士が関わるニーズとケアマネジメント過程の特徴.** 地域看護学会誌. 2002 ; **14**(1)

吉實みちる, 守田孝恵. **肺結核患者の服薬指導に関する検討.** 保健婦の結核展望. 2001 ; **76** : 76-80

守田孝恵, 山崎秀夫. **地域の精神保健福祉活動の構造化に関する研究-全国の保健所と市町村の活動を中心に—.** 日本病院・地域精神医学. 2001 ; **144**(2) : 237-243

竹内祐子, 高橋みね, 河西あかね, 中島弘美, 加藤和美, 吉實みちる, 宇津木恵, 曾根智史, 守田孝恵, 武村真治. **地域保健事業における広報媒体の活用の実践と評価.** 日本

公衆衛生雑誌. 2001 ; 48(9) : 764-772

田中和美, 河西あかね, 高橋みね, 中島弘美, 吉實みちる, 宇津木恵, 竹内祐子, 守田孝恵, 曾根智史, 武村真治. **地域保健事業の広報活動における効果的なチラシに関する研究**. 保健婦雑誌. 2001 ; 58(6) : 500-505

鳩野洋子, 田中久恵, 古川馨子, 増田勝恵. **地域高齢者の閉じこもりの状況とその背景要因の分析**, 地域看護学会誌. 2001 ; 3(1) : 26-31

岡本玲子, 中山貴美子, 長畑多代, 鳩野洋子, 佐藤由美, 田口敦子, 岩本早織, 塩見美抄, 沖田裕子, 島田美喜, 岡部明子, 飯吉令枝, 長岡理恵, 小林亜由美, 齊藤智子. **保健師が関わるニーズとケアマネジメント過程の特徴—難病事例の場合—**. 日本地域看護学会誌. 2002 ; 4(1) : 18-25

総説

平野かよ子. **公衆衛生看護か地域看護か**. 公衆衛生. 2001 ; 65(5) : 382-383

平野かよ子. **公衆衛生従事者に求められる資質**. 医事新報. 2001 ; 56

平野かよ子. **公衆衛生看護の活動方法論 (その1)**. 公衆衛生. 2002 ; 66(1) : 54-55

山田和子. **児童虐待の現状と地域保健からのアプローチ**. やまなし小児保健. 2001 ; 18 : 9-13

山田和子. **乳幼児虐待 (虐待と支援の実態)**. 第16回東京母性衛生学会学術セミナー抄録集. 東京母性衛生学会. 2001 ; 16 : 31-36

山田和子. **国際比較にみる性的虐待と思春期**. 第20回日本思春期学会総会学術集会. 2001 ; 8 : 46

鈴木晃, 池田理佳, 岩谷昌子, 神田秀幸, 児玉三千恵, 小林冬子, 佐藤絹代, 杉浦裕子, 高橋千晶, 浪越淳, 山崎健一, 山田和子, 秋葉道宏. **介護保険制度下の住宅改修の現状と課題**. 住宅会議. 2001 ; 51 : 26-29

山田和子. **保健活動と絵本**. 絵本と出会う. (社)全国保健センター連合会. 2002 ; 12-13

守田孝恵. **地域精神保健福祉活動の「転換期」をどう乗り越えるのか**. 季刊地域精神保健福祉情報 REVIEW. 2001 ; 36 : 10-13

岩永俊博, 鳩野洋子, カマルAMモスタファ, 石井敏弘. **ヘルスプロモーションの進め方—都会と農村での違い**. 公衆衛生. 2001 ; 65(5):324-331

鳩野洋子, 坪川トモ子. **NPO活動の客観的評価をどう行うか—アセスメント指標の提案—**. 生活教育. 2001 ; 8 : 12-18

鳩野洋子, 山田和子. **保健婦のための参加型研修の試み**. 公衆衛生. 2001 ; 65(10) : 769-771

岡本玲子, 鳩野洋子, 中山貴美子. **EBNを取り入れた保健婦・士活動を考える**. 保健婦雑誌. 2002 ; 58(1) : 48-57

福島富士子. **思春期の性的虐待**. 日本思春期学会20周年記念誌. 2001 ; 別冊 : 124-129

加藤則子, 福島富士子. **女性支援なくして育児支援はあ**

り得ない. 保健婦雑誌. 2001 ; 57(2) : 92-96

福島富士子. **家族看護とジェンダーロール**. 家族看護研究. 2001 ; 6(2) : 141

著書

島田美喜, 守田孝恵, 鳩野洋子. **事例から学ぶ保健活動の評価**. 平野かよ子, 尾崎米厚編. 医学書院, 2001

山田和子. **看護学総論**. 養護教諭のための看護学. 藤井寿美子, 山口昭子, 佐藤紀久栄編. 大修館書店, 東京. 2001 ; 10-12

山田和子. **地域看護**. 養護教諭のための看護学. 藤井寿美子, 山口昭子, 佐藤紀久栄編. 大修館書店, 東京. 2001 ; 130-134

抄録のある学会報告

山田和子, 平野かよ子, 守田孝恵, 島田美喜, 植田悠紀子. **保健婦の地域活動の展開方法と展開に用いたスキル—活動事例の分析より—**. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 10

坪川トモ子, 歌川孝子, 樋口広美, 高橋裕子, 白川紀子, 山田和子. **子ども虐待予防のための保健所の役割を考える (第1報)—母親の虐待行為に関する実態調査から—**. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 10

樋口広美, 歌川孝子, 高橋裕子, 白川紀子, 坪川トモ子, 山田和子. **子ども虐待予防のための保健所の役割を考える (第2報)—市町村乳幼児健康診査の見直しから—**. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 10

神田秀幸, 池田理佳, 浪越淳, 山崎健一, 児玉三千恵, 小林冬子, 佐藤絹代, 杉浦裕子, 高橋千晶, 山田和子, 秋葉道宏, 鈴木晃. **介護保険制度における住宅改修の現状と課題 (その1)—東京都中野区におけるケアマネジャーの関わり—**. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 10

杉浦裕子, 池田理佳, 浪越淳, 山崎健一, 児玉三千恵, 小林冬子, 佐藤絹代, 高橋千晶, 神田秀幸, 山田和子, 秋葉道宏, 鈴木晃. **介護保険制度における住宅改修の現状と課題 (その2)—東京都中野区における住宅改修の実態**. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001. 10

坪川トモ子, 歌川孝子, 樋口広美, 高橋裕子, 白川紀子, 山田和子. **子ども虐待を早期発見・予防するための保健婦の役割 (第1報)—母親の虐待行為・育児不安に関する実態調査から—**. 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001. 11

歌川孝子, 樋口広美, 高橋裕子, 白川紀子, 坪川トモ子, 山田和子. **子ども虐待を早期発見・予防するための保健婦の役割 (第2報)—実態調査を踏まえた市町村への取り組みから—**. 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001. 11

高橋裕子, 歌川孝子, 樋口広美, 白川紀子, 坪川トモ子, 山田和子. **子ども虐待を早期発見・予防するために—被虐待歴を持つと思われる母親の実態と今後の課題**. 第28回新潟母性衛生学会, 新潟. 2001. 11

樋口広美, 高橋裕子, 歌川孝子, 白川紀子, 坪川トモ子, 山田和子. **子ども虐待を早期発見・予防するための看護職**

の役割—母親の虐待行為・育児不安に関する調査から—。平成13年度看護研究学会，新潟。2001.11

高橋裕子，樋口広美，歌川孝子，白川紀子，坪川トモ子，山田和子。子ども虐待を早期発見・予防するための看護職の役割—実態調査を踏まえた取り組みから—。平成13年度看護研究学会，新潟。2001.1

坪川トモ子，歌川孝子，樋口広美，高橋裕子，白川紀子，山田和子。子ども虐待を早期発見・予防するための保健婦の役割（第1報）—母親の虐待行為に関する実態調査から—。第40回新潟県小児保健研究会，新潟。2001.9

樋口広美，歌川孝子，高橋裕子，白川紀子，坪川トモ子，山田和子。子ども虐待を早期発見・予防するための保健婦の役割（第2報）—母親の虐待行為に関する実態調査から—。第40回新潟県小児保健研究会，新潟。2001.9

水越昭博，長谷川勢子，島田美喜ほか。保健所における新しい試みの導入と職員の意識変化（第1報）。第60回日本公衆衛生学会，高松。2001.10

菅井敬巳，長谷川勢子，島田美喜ほか。保健所における新しい試みの導入と職員の意識変化（第2報）。第60回日本公衆衛生学会，高松。2001.10

長谷川勢子，水越昭博，島田美喜ほか。保健所における新しい試みの導入と職員の意識変化（第3報）。第60回日本公衆衛生学会，高松。2001.10

福島富士子，守田孝恵，尾崎米厚，藤内修二，柴田真理子，宮里和子。市町村母子保健活動から見た都道府県型保健所の市町村支援の実態と関連要因。第60回日本公衆衛生学会，高松。2001.10

守田孝恵，山崎秀夫，山村礎，松本弘子。地域で生活する精神障害者を対象とした保健婦の地域支援に関する検討。第60回日本公衆衛生学会，高松。2001.10

古川馨子，増田勝恵，鳩野洋子，田中久恵。高齢者閉じこもり等の実態調査の結果とその応用。第37回静岡県公衆衛生研究会，静岡。2001.1

カマル A. M. モスタファ，岩永俊博，鳩野洋子他。SOJOモデル（地域づくり型保健活動）の特徴。第60回日本公衆衛生学会，高松。2001.10

カマル A. M. モスタファ，岩永俊博，鳩野洋子他。参加型目的描写法参加者の態度変化。第60回日本公衆衛生学会，高松。2001.10

長谷部史乃，田中久恵，鳩野洋子他。保健婦が関わる寝たきり閉じこもり予防活動事例の内容分析。第60回日本公衆衛生学会，高松。2001.10

鳩野洋子，島田美喜，平野かよ子。公衆衛生看護管理者の能力評価Ⅰ短期コースの評価。第60回日本公衆衛生学会，高松。2001.10

島田美喜，鳩野洋子，平野かよ子。公衆衛生看護管理者の能力評価Ⅱ公衆衛生看護管理者自己評価票の開発。第60回日本公衆衛生学会，高松。2001.10

岡本玲子，中山貴美子，田口敦子，鳩野洋子，佐藤由美，長畑多代。行政保健・看護におけるケアマネジメント技法・保健技法の体系化にむけた基礎研究—難病事例の場合

一。第4回日本地域看護学会学術集会，広島。2001

岡本玲子，中山貴美子，鳩野洋子，長畑多代。行政保健・看護におけるケアマネジメント技法の体系化に関する研究—難病事例への展開に焦点をあてて—。第21回日本看護科学学会学術集会，神戸。2001

福島富士子。妊娠・出産・人権をめぐる。日本先天異常学会主催。横浜市民公開講座。2001.7（シンポジウム）

藤内修二，岩室信也，福島富士子。地域における「すこやか21」の推進（第1報）—市町村母子保健計画の見直し—。第60回日本公衆衛生学会，高松。2001.10

学術報告書等

平野かよ子，曾根智史，鳩野洋子，島田美喜，三砂ちづる。21世紀に活躍する公衆衛生従事者の資質の向上方策に関する国際比較研究。（研究代表者：平野かよ子）財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団報告書，2001；12

平野かよ子，守田孝恵，鳩野洋子。これからの地域保健福祉対策に従事する保健婦のあり方に関する研究。（主任研究者：北川定謙）平成13年度厚生科学研究費補助金（健康科学総合）研究事業。2002.3

平野かよ子，曾根智史，鳩野洋子，島田美喜。海外の女性の健康政策等の実態に関する調査研究。（主任研究者：麻生武）平成13年度厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合）研究事業：女性の生涯を通じた健康啓発・支援システムづくりに関する研究。2002.3

平野かよ子，山田和子，石井享子，島田美喜，鳩野洋子。中高年の自殺予防対策に関する調査報告。2002；3

山田和子，平野かよ子，守田孝恵，島田美喜，他。地域保健分野における保健婦の新たな活動方法に関する研究。（主任研究者：山田和子）平成12年度厚生科学研究補助金健康科学総合研究事業報告書，2001；1-50

山田和子他。子ども虐待を早期発見・予防するための体制整備—母親への育児実態調査を踏まえた保健所取り組みから—。（主任研究者：歌川孝子）第20医学研究学術賞・第24回医学研究助成医学報告集。財団法人大同生命事業団。2001

山田和子，平野かよ子，守田孝恵，島田美喜，他。地域保健分野における保健婦の新たな活動方法に関する研究。（主任研究者：山田和子）11，12年度厚生科学研究補助金健康科学総合研究事業総合研究報告書，2001；1-108

山田和子他。子ども虐待を早期発見・予防するための支援体制整備—母親の実態調査を踏まえた保健所の取り組みから—。報告書（新潟県新津保健所）

平野かよ子，島田美喜，鳩野洋子ほか。市町村等における健康づくり事業の評価指標の開発と住民参加型の評価体制のあり方に関する研究。平成12年度健康づくり委託等事業。健康・体力づくり事業財団。

鳩野洋子他。訪問看護ステーションにおける現任研修のあり方に関する研究。平成11年度木村看護教育振興財団看護研究集録8。2001；29-39

鳩野洋子他. 居宅サービス計画における訪問看護サービスの活用に関する研究. 平成12年度フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団研究助成・事業助成報告書第11回. 2001; 221-246

鳩野洋子. ヘルスプロモーション. (研究代表者: 上畑鉄之丞) 平成12年度厚生省地域保健総合推進事業「公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究報告書」第1分冊. 2001; 127-153

福島富士子, 守田孝恵他. 保健所における母子保健活動のあり方に関する研究. (主任研究者: 宮里和子) 平成12年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業報告書, 2001

平野かよ子, 鳩野洋子, 島田美喜, 石井享子, 山田和子, 守田孝恵, 福島富士子. 市町村等における健康づくり事業評価指標の開発と住民参加型の評価体制のあり方に関する研究. (主任研究者: 平野かよ子) 平成12年度健康づくり委託事業報告書, 2001

平野かよ子, 守田孝恵他. これからの地域保健福祉対策に従事する保健婦の活動のあり方に関する研究一. (主任研究者: 北川定謙) 平成12年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業報告書, 2001.

福島富士子他. 妊娠出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援の指標 平成13年度厚生科学研究費子ども家庭総合研究事業研究. (主任研究者: 藤内修二) 地域における『健やか親子21』の推進に関する研究報告書, 2001; 11-15

福島富士子, 守田孝恵他. 保健所における母子保健活動のあり方に関する研究. (主任研究者: 宮里和子) 平成12

年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業総括研究報告書, 2001

小林秀資, 福島富士子. 文献研究 乳幼児のアタッチメントと思春期の行為障害による問題: 反映する相関的要素の役割. (主任研究者: 小林秀資) 平成12年度厚生科学研究子ども家庭総合研究事業. 思春期の暴力行為の原因究明と対策に関する研究分担研究報告書, 2001; 219-229

小林秀資, 福島富士子. フィンランド訪問報告—より家庭的な出産を学ぶために—フィンランドにおける助産婦と助産婦教育. (主任研究者: 小林秀資) 平成13年度厚生科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業. 妊娠, 出産状況がADHDの発症に及ぼす影響—バースコホート研究デザイン—. 平成13年度報告書, 2002; 70-110

望月友子, 福島富士子, 林謙治. グループインタビューによる思春期対策における問題発見・問題解決の試み—プレ思春期の子どもの飲酒, 喫煙に対する意識調査. (代表者: 望月友子) 平成13年度厚生科学研究子ども家庭総合研究事業. 思春期の保健対策の強化及び健康教育の推進に関する研究, 2002; 66-79

視聴覚資料やデジタル媒体などによる研究成果 「ビデオ教材」

平野かよ子監修. 保健婦・士のためのビデオシリーズ②—ネットワークづくりとパートナーシップのために—. 選択エージェンシー: 2001. 3

平野かよ子監修. 保健婦・士のためのビデオシリーズ③—地域におけるコミュニケーションと仲間づくり—. 選択エージェンシー: 2002. 3

Originals

Ohida T, Sakurai A, Sone T, Takemiya S, Fukushima F. **Smoking fukushima Smoking among Japanese nursing students: a nationwide survey.** *Tob Control.* 2001; 10(4): 397

Proceedings with abstracts

Hirano K, Yamada K, Morita T. **Process and skills of Public Health Nursing.** Asia Pacific Academic Consortium for Public Health. Seoul. 2001; 56

Hatono Y, Shimada M, Hirano K. **Ability of Public Health Nurse Manager I Evaluation of a short course for Public Health Managers using a short self-check list.** Asia Pacific Academic Consortium for Public Health, Seoul. Apr. 2001

Shimada M, Hatono Y, Hirano K. **Ability of Public**

Health Nurse Manager II Development of Self Check List for Public Health Nurse Managers. Asia Pacific Academic Consortium for Public Health. Seoul. Apr. 2001

Sone T, Iwanaga T, Hatono Y, Yamada K. **Needs for the training method development in local health education in Japan.** Asia Pacific Academic Consortium for Public Health. Seoul. Apr. 2001

Kamal M, Iwanaga T, Ohida T, Hatono Y, Watanabe S: **Sojo Model: A process-model for community based health promotion.** Asia Pacific Academic Consortium for Public Health. Seoul. Apr. 2001

Iwanaga T, Kamal M, Ohida T, Hatono Y, Watanabe S, Hayashi Y, Izuka T: **Sojo Model: Responses of the Work-shop participants (Part-II).** Asia Pacific Academic Consortium for Public Health. Seoul. Apr. 2001

生理衛生学部

Department of Physiological Hygiene

総説

大久保千代次. 微小循環と高血圧症. ハートナーシング.

2001; 14(3): 81-89

抄録のある学会報告

樋口恵, 浅野牧茂, 大久保千代次. ウサギのシガレット主流煙吸入時における皮膚微小循環系血管内白血球挙動及び末梢循環血白血球粘着能の変化に対するビタミンCの影響について. 第24回日本バイオレオロジー学会, 東京. 2001. 6; 75

樋口恵, 浅野牧茂, 大久保千代次. ウサギのシガレット主流煙吸入時による皮膚微小循環系血管内白血球挙動変化に対するビタミンCおよびEの影響について. 第27回日本微小循環学会総会, 東京. 2002. 2; 35

牛山明, 増田宏, 大久保千代次. マウス背側皮膚透明窓内微小血管の白血球・内皮相互作用における超低周波電磁界亜慢性曝露の影響. 第27回日本微小循環学会総会, 東京. 2002. 2; 63

池田理佳, 大久保千代次. 低タールシガレットの喫煙様式に関する研究. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松, 2001. 10; 286

学術報告書等

大久保千代次, 牛山明, 増田宏. 生体内脳微小循環動態観察システムを用いた商用周波帯電磁界の全身暴露影響評価に関する研究 (主任研究者: 大久保千代次). 平成12年度環境保全研究成果集, 2001; 16-1-16-15

大久保千代次, 牛山明, 増田宏. 電磁界の白血球及び免疫系機能に及ぼす影響に関する研究 (主任研究者: 大久保千代次). 平成12年度厚生科学研究費補助金研究報告書 (生活安全総合研究事業), 2001; 1-42

Originals

Okano H, Ohkubo C. **Modulatory effects of static magnetic fields on blood pressure in rabbits.** *Bioelectromagnetics* 2001; **22**: 408-418

Books

Tsuchiya M, Asano M, Kajiya F. **Microcirculation annual 2001, Vol. 17. Japanese Society For Microcirculation.** Nihon-Igakukan, Tokyo. 2001

Okano H, Ohkubo C. **Modulating effects of static magnetic fields on blood pressure in conscious rabbits.** in "7th World Congress for Microcirculation Submitted Papers" Monduzzi Editore, Bologna. 2001; 159-163

Okano H, Ohkubo C. **Anti-pressor effects of whole-body exposure to static magnetic fields with threshold intensities on pharmacologically hypertensive rabbits.** in "Microcirculation annual 2001, Vol.17" (Tsuchiya M, Asano M, Kajiya F.) Nihon-Igakukan, Tokyo. 2001; 103-104

Proceedings with abstracts

Okano H, Ohkubo C. **Anti-pressor effects of whole-body exposure to static magnetic fields on hemodynamics in rabbits.** Proceedings of the 4th Meeting of Symposium on New Magneto-Science 2000, Japan Science and Technology Corp, Omiya. 2001; 228-237

Ushiyama A, Ohkubo C. **Effects of whole body exposure to 50 Hz electromagnetic fields on the**

microcirculatory system and the proliferative process of mammary tumor cells in mice. EBEA 2001 (5th International Congress of the European Bio Electromagnetics Association) Helsinki. Sept. 2001; 46-48

Ushiyama A, Ohkubo C. **Effects of whole body exposure to 50Hz electromagnetic fields on the leukocyte adhesion in mice.** WHO Meeting on EMF Biological Effects and Standards Harmonization in Asia and Oceania. Seoul. Oct. 2001; 87 (Invited Paper)

Ushiyama A, Ohkubo C. **Effects of whole body exposure to 50Hz electromagnetic fields on the leukocyte adhesion in mice.** 2001 Asia-Pacific Radio Science Conference (AP-RASC '01), Tokyo. Aug. 2001; 261

Okano H, Ohkubo C. **Anti-pressor effects of whole-body exposure to a threshold level of static magnetic fields on pharmacologically induced hypertension in rabbits.** 2001 Asia-Pacific Radio Science Conference (AP-RASC '01), Tokyo. Aug. 2001; 407

Masuda H, Ushiyama A, Wake K, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C. **Chronic effects of local exposure to radiofrequency electromagnetic fields on the cerebral Microcirculation in rats.** 2001 Asia-Pacific Radio Science Conference (AP-RASC'01), Tokyo, Aug. 2001; 410

Ohkubo C, Okano H. **Modulatory effects of static magnetic fields(SMF) on microcirculation in rabbits.** 2001 International Symposium on Electromagnetics in Biology and Medicine. Tokyo, Apr. 2001; 86-87 (Invited Paper)

栄養生化学部

Department of Nutrition and Biochemistry

原 著

影山恭史, 市川桂二, 近藤雅雄. 急性ポルフィリン症に対する二重膜濾過法による血漿交換療法の試み. *ポルフィ*

リン. 2001; **10**(3,4): 79-82

近藤雅雄, 千葉百子. ポルフィリン測定に及ぼす銅の影響. *Biomedical Research on Trace Elements.* 2001;

12(4) : 381-382

近藤雅雄, 千葉百子, 宮本廣, 謝亜雄, 篠原厚子, 大道正義, 稲葉裕. 屋内での石炭燃焼によるヒ素中毒患者の尿中微量元素排泄. *Biomedical Research on Trace Elements*. 2001 ; 12(4) : 241-242

総説

近藤雅雄, 矢野雄三, 白鷹増雄, 柘植光代, 浦田郡平. ポルフィリン症. IV. 内分泌, 栄養, 代謝疾患. 日本臨床増刊, 改定, 本邦臨床統計集(2). 2001 ; 59(8) : 349-364

劉雲宝, 千葉百子, 稲葉裕, 近藤雅雄. 克山病 *Keshan Disease*—歴史的, 病因論的考察. 日本衛生学雑誌. 2002 ; 56 : 641-648

著書

近藤雅雄, 矢野雄三. ポルフィリン体とその前駆物質. 臨床検査ガイド2001~2002. *Clinical Management of Laboratory Data in Medical Practice* 編集委員会編, 文光堂, 2001 ; 1015-1019

抄録のある学会報告

近藤雅雄, 市川勇, 網中雅仁, 田中利明, 中村磐男, 工藤吉郎. 希土類元素による赤血球細胞内酵素障害. 第74回日本産業衛生学会, 高知. 2001. 4 ; 43 : 673

近藤雅雄, 市川勇, 千葉百子. 砒素化合物連続経口投与マウスのポルフィリン代謝変動について. 第71回日本衛生学会総会, 福島. 2001. 4 ; 56(1) : 279

千葉百子, 近藤雅雄, 謝亜雄, 篠原敦子, 稲葉裕. 尿中ポルフィリン排泄から見た中国の家屋内石炭燃焼によるヒ素中毒. 第71回日本衛生学会総会, 福島. 2001. 4 ; 56(1) : 278

近藤雅雄, 千葉百子. ポルフィリン測定に及ぼす銅の影響. 第12回日本微量元素学会総会, 東京. 2001. 7 ; 229

千葉百子, 宮本廣, 謝亜雄, 近藤雅雄, 篠原敦子, 大道正義, 稲葉裕. 屋内での石炭燃焼によるヒ素中毒患者の尿中元素排泄. 第12回日本微量元素学会総会, 東京. 2001. 7 ; 137

前田直人, 堀江裕, 佐々木祐一郎, 川崎寛中, 近藤雅雄, 工藤吉郎. 日本人におけるポルフィリン症の遺伝子解析および家系内保因者のスクリーニング. 第37回日本肝臓学会学総会, 横浜. 2001. 5 ; 42(Suppl 1) : A82

近藤雅雄, 謝亜雄, 宮本廣, 大道正義, 千葉百子. ヒ素中毒とポルフィリン代謝—亜急性ヒ素中毒マウスの尿中ポルフィリンの変動について. 第29回ポルフィリン研究会, 東京. 2001. 5 ; 10 : 40-41

近藤雅雄, 浦田郡平, 柘植光代, 中山 健, 白鷹増男, 矢野雄三. 先天性ポルフィリン症の分析 (1920-2000). 第29回ポルフィリン研究会, 東京. 2001. 5 ; 10 : 90

影山恭史, 市川桂二, 近藤雅雄. 急性ポルフィリン症に対する二重膜濾過法による血漿交換療法の試み. 第30回ポルフィリン研究会, 東京. 2001. 5 ; 10 : 92

篠原厚子, 千葉百子, 近藤雅雄, Fadi R. Abou-Ahakka, Heather Birtwistle, 小林恭子, 稲葉裕. HPLC/ICP-MSによるヒ素化合物のスペシエーションとヒト尿への応用. 日本分析化学会第50年会, 熊本. 2001. 11 ; 23-25

池田謙三, 堀上健幸, 近藤雅雄. 血液透析例に発症した肝性ポルフィリンの1例. 日本腎臓学会誌, 2001 ; 43(6) : 462

近藤雅雄. ガンサー病の衛生学. 第72回日本衛生学会総会, 津. 2002. 3, 日衛誌57(1) : 234

近藤雅雄, 栗原典子, 太田麗, 伊藤美枝, 宮本廣, 大道正義, 千葉百子. Se欠乏マウスのポルフィリン代謝と微量金属について. 第72回日本衛生学会総会, 津. 2002. 3, 日衛誌57(1) : 425

篠原厚子, 千葉百子, 宮本廣, 謝亜雄, 近藤雅雄, 大道正義, 稲葉裕. 石炭燃焼によるヒ素中毒患者の糞および尿中ヒ素濃度と微量元素排泄. 第72回日本衛生学会総会, 津. 2002. 3 ; 日衛誌57(1) : 121

饗場直美, 景山茂樹, Tsomides Theodore J, Papayannopoulos Ioannis A, Eisen Herman N, Sykulev Yuri. 同一蛋白に由来する複数アロ抗原ペプチドを認識する細胞傷害性T細胞 (CTL) クローンの強い細胞傷害活性. 第31回日本免疫学会総会, 大阪. 2001.

加藤未歩, 山崎聖美. マクロファージ系培養細胞における内分泌攪乱化学物質の影響. 第4回日本内分泌攪乱化学物質学会, つくば. 2001 ; 326

川口研, 山崎聖美, 中澤裕之. アジピン酸ジエチルヘキシル (DEHA) の生体影響. 第4回日本内分泌攪乱化学物質学会, つくば. 2001 ; 355

佐藤加代子, 須藤紀子, 家永紀子, 中田恵津子, 篠田道代. 母親の養育環境と食事・食卓づくり及び子どもの食事行動との関連. 第48回日本栄養改善学会学術総会, 大阪. 2001 ; 161

佐藤加代子, 岩谷晶子, 須藤紀子. 母親の育児環境と食事・食卓づくりとの関連 (第1報). 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001 ; 458-459

岩谷晶子, 佐藤加代子, 須藤紀子. 母親の育児環境と食事・食卓づくりとの関連 (第2報). 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001 ; 460-461

学術報告書等

近藤雅雄. 貴州省におけるヒ素中毒発生機序解明と健康リスク評価およびその手法の開発などに関する日中共同研究. 日中医学 2001 ; 16(4) : 34

近藤雅雄. 先天性ポルフィリン症の現状と課題. ポルフィリン 2001 ; 10(3,4) : 83-85

近藤雅雄. 生命色素 ポルフィリンに魅せられて. 日本長生医学会雑誌. 2001 ; 3-8

饗場直美, 山本茂貴. X線照射によるリンパ球の細胞傷害における細胞内プロテアーゼの役割. 平成11年度国立原子力試験研究成果報告書第40集, 2001 ; 100-1-4.

Originals

Xie Y, Kondo M, Koga H, Miyamoto H, Chiba M, **Urinary porphyrins in patients with endemic arsenic poisoning caused by burning coal in China.** *Environ Health Preventive Med.* 2001 ; **5**(4) : 180-185

Xie Y, Miyamoto H, Kondo M, Koga H, Zhang A, Ohmichi M, Inaba Y, Chiba M, **Element concentrations in urine of patients suffering from chronic arsenic poisoning.** *Tohoku J Exp. Med.* 2001 ; **193** : 229-235

Kurihara K, Takamura N, Imaizumi S, Harada T, Udo K, Yamashita S, Kondo M. **Porphyrins in teardrop and ocular involvement.** *Br. J. Ophthalmol.*, 2001 ; **85**(10) : 1265-1266

Li C, Wang M, Kondo M, Kajiwara M. **Assay of human erythrocyte uroporphyrinogen decarboxylase activity by reversed-phase high performance liquid chromatography.** *Porphyrins.* 2001 ; **10**(1) : 1-6

Kaido M, Fukuda K, Moriya M, Abe K, Sakoda S, Kondo M, Yanagihara T. : **Porphyria with double errors in the heme biosynthetic pathway.** *Journal of Neurology.* 2001 ; **248** : 328-329

Takeuchi H, kondo M, Daimon M, Susa S, Ueoka K, Uemura O, Togai H. **Neonatal onset hereditary coproporphyria with male pseudohermaphroditism.** *Blood.* 2001 ; **98** : 3871-3873

Xie Y, Kondo M, Chiba M, Shinohara A, Koga H, Zhang A, Inaba Y. **Fecal porphyrins in patients with endemic chronic arsenic poisoning caused by burning coal in China.** *Environmental Sciences.* 2001 ; **8**(6) : 561-570

Kageyama S, Tsomides T J, Fukusen N,

Papayannopoulos I A, Eisen H N, Sykulev Y. **Potent cytolytic response by a CD8⁺CTL clone to multiple peptides from the same protein in association with an allogeneic class I MHC molecule.** *J Immunol.* 2001 ; **166** : 3028-3034

Sudo N, Ohtsuka R. **Nutrient intake among female shift workers in a computer factory in Japan.** *Int J Food Sci Nutr.* 2001 ; **52** : 367-378.

Proceedings with abstracts

Kondo M, Chiba M, Miyamoto H, Xie Y, Shinohara A, Omichi M, Inaba Y **Changes in porphyrin metabolism and trace elements in patients with chronic arsenic poisoning caused by burning coal China.** 10th International Symposium on Natural and Industrial Arsenic Japan, Tokyo. Nov. 2001 ; 49-50

Kondo M, Ito M, Kurihara N, Ohta U, Ichikawa I, Miyamoto H, Chiba M. **Changes in porphyrin metabolism and trace elements in arsenic poisoning mice.** 10th International Symposium on Natural and Industrial Arsenic Japan, Tokyo. Nov. 2001 ; 51-52

Shinohara A, Chiba M, Kondo M, Xie Y, Abou-Ahaka FR, Birtwistle H, Kobayashi K, Inaba Y. **Concentration and speciation of arsenic compounds in human urine.** 10th International Symposium on Natural and Industrial Arsenic Japan, Tokyo. Nov. 2001 ; 69-70

Sudo N, Sekiyama M, Watanabe C, Inaoka T, Ohtsuka R. **Assessment of nutrient intake in arsenic polluted areas in rural Bangladesh.** 17th International Congress of Nutrition, Vienna, Aug. 2001 ; **45** (Suppl 1) : 552

衛生微生物学部

Department of Microbiology

原著

藤本嗣人, 近平雅嗣, 増田邦義, 吉田茂, 箆ひとみ, 今井恵介, 三舛信一郎, 長谷川斐子, 西尾治. **エンテロウイルス71型による脳炎死亡例を含む手足口病の流行—兵庫県.** 病原微生物検出情報. 2001 ; **22** : 144-145

新川奈緒美, 上野伸宏, 本田俊郎, 吉国謙一郎, 有馬忠行, 湯又義勝, 伊東祐治, 増満弘史, 田中義文, 中野秀人, 馬場俊行, 中俣和幸, 西尾治. **ウチムラサキ貝が原因で夏季に発生したノーウオーク様ウイルスによる食中毒事例—鹿児島県—.** 病原微生物検出情報. 2001 ; **22** : 222-223

佐原啓二, 杉枝正明, 長岡宏美, 秋山真人, 上野山裕巳, 中島節子. **静岡県におけるアマンタジン耐性A型インフルエンザウイルスの検出状況.** 感染症学雑誌. 2001 ; **75** : 576-577

総説

伊藤健一郎. **病原性大腸菌.** 食品衛生学雑誌. 2001 ; **42** : J-343

伊藤健一郎, 松崎充宏. **腸管出血性大腸菌O157の迅速検査法とその成績の取り扱い.** 日本臨床. 2002 ; **60** : 1114-1120

抄録のある学会報告

伊藤健一郎, 他. **腸チフス・パラチフスのスクリーニングと鑑別用PCRの開発について.** 第74回日本細菌学会総会, 岡山. 2001. 4

森田朋子, 伊藤健一郎, 他. **大腸菌粘膜に生息する大腸菌の付着因子の検索.** 第74回日本細菌学会総会, 岡山. 2001. 4

勢戸和子, 伊藤健一郎, 他. **下痢病原性大腸菌の付着性因子保有状況.** 第75回日本感染症学会総会, 奈良. 2001. 3

新川奈緒美, 永田浩治, 松野重夫, 西尾治. 鹿児島県における胃腸炎集団発生事例および自生力カキから検出された *Norwalk virus* の疫学的検討. 第42回日本臨床ウイルス学会, 名古屋. 2001. 6

李 蕾, 清水英明, 周玉梅, 西尾治, 杉田久美子, 上田勇一, 西村修一, 金保珠, 西村忠史, 黒岩利正, 中谷茂和, 牛島廣治. 分子疫学的方法による小児下痢症アデノウイルスの検討. 第42回日本臨床ウイルス学会, 名古屋. 2001. 6

川本歩, 加藤由美子, 西尾治. ヒトと環境水およびカキから検出した *Norwalk virus* の遺伝子解析. 第49回日本ウイルス学会総会, 大阪. 2001. 11

西尾治, 加藤由美子, 秋山美穂, 辰巳正純, 本間真二郎, 中田修二, 磯村思无. パキスタンの乳幼児からの NV および SV 検出状況. 第49回日本ウイルス学会総会, 大阪. 2001. 11

李蕾, 清水英明, 西尾治, 沖津祥子, 牛島廣治. 1999年—2000年日本での小児下痢症におけるアデノウイルスの検討. 第49回日本ウイルス学会総会, 大阪. 2001. 11

藤本嗣人, 近平雅嗣, 吉田茂, 長谷川斐子, 近藤香邦子, 西尾治. エンテロウイルス71型による脳炎死亡例を含む手足口病の流行. 第49回日本ウイルス学会総会, 大阪. 2001. 11

佐原啓二, 杉枝正明, 長岡宏美, 秋山真人, 中島節子. 静岡県におけるアマンタジン耐性A型インフルエンザウイルスの検出状況. 第42回日本臨床ウイルス学会, 名古屋. 2001. 6

佐原啓二, 杉枝正明, 稲吉恵, 秋山真人, 中島節子, 国立感染研呼吸器ウイルス室. 静岡県で2000年非流行期と次期流行期に分離されたB型インフルエンザウイルスの疫学的解析. 第50回日本感染症学会東日本地方会総会, 東京. 2001. 11

杉枝正明, 中島節子. ブタから検出した *Norwalk-like viruses* 遺伝子の ORF1 3'末端及び ORF2 の塩基配列の解析. 第49回日本ウイルス学会, 大阪. 2001. 11

鈴木映子, 中島節子, 野口章, 牛島廣治. HVJ の蛋白質を認識するモノクローナル抗体の同定と機能解析への応用. 第49回日本ウイルス学会, 大阪. 2001. 11

Grant H, Doan L, Okitsu S, Nishio O, Kato Y, Ushijima H. **Sporadic cases of Norwalk-like virus infection in Vietnam reveal two distinct cluster in Genogroup.** 第49回日本ウイルス学会総会, 大阪. 2001. 11

Originals

Wang Q-H, Kakizawa J, Wen L-Y, Shimizu M, Nishio O, Fang Z-Y, Ushijima H. **Genetic Analysis of the Capsid Region of Astroviruses.** *J Med Virol.* 2001 ; **64** : 245-255

Nishio O, Matsui K, Goh K-T, Matsunaga Y, Inouye S. **Prevalence of Adenovirus Type 3 and 7 Antibodies in Singapore.** *Jpn. J. Infect. Dis.* 2001 ; **54** : 128-129

Kadoi K, Suzuki H, Nishio O. **Isolation of**

Doan T. P, Okitsu S, Nishio O, Ushijima H. **Distribution of rotavirus G serotype among hospitalized children of Ho Chinh city, Vietnam.** 第49回日本ウイルス学会総会, 大阪. 2001. 11

学術報告書等

西尾治. 海水の濃縮法に関する研究. (主任研究者: 西尾治) 平成12年度厚生科学研究費補助金生活安全総合研究「食品中の微生物汚染状況の把握と安全性の評価に関する研究」, 2001 ; 25-28

伊藤健一郎他. 食品中の大腸菌汚染状況の把握と安全性の評価に関する研究. (主任研究者: 西尾治) 平成13年度厚生科学研究費生活安全総合研究事業「食品中の微生物汚染状況の把握と安全性の評価に関する研究」, 2002 ; 99-122

西尾治. リアルタイムPCR法によるA型肝炎ウイルス検出法の開発. (主任研究者: 西尾治). 平成13年度厚生科学研究費補助金生活安全総合研究「食品中の微生物汚染状況の把握と安全性の評価に関する研究」, 2002 ; 15-19

西尾治. リアルタイムPCR法によるサッポロウイルス検出法の開発. (主任研究者: 西尾治). 平成13年度厚生科学研究費補助金生活安全総合研究「食品中の微生物汚染状況の把握と安全性の評価に関する研究」, 2002 ; 20-24

西尾治他. 輸入食品のウイルス汚染状況に関する研究. (主任研究者: 西尾治). 平成13年度厚生科学研究費補助金生活安全総合研究「食品中の微生物汚染状況の把握と安全性の評価に関する研究」, 2002 ; 29-33

西尾治他. 食品を介した食中毒様集団発生および食品のウイルス汚染状況に関する研究. (主任研究者: 西尾治). 平成13年度厚生科学研究費補助金生活安全総合研究「食品中の微生物汚染状況の把握と安全性の評価に関する研究」, 2002 ; 34-43

西尾治. 乳幼児下痢症の原因ウイルス検出法に関する研究. (主任研究者: 西尾治). 平成13年度厚生科学研究費ヒューマンサイエンス研究事業「乳幼児下痢症の原因ウイルス検出法に関する研究」, 2002 ; 8-11

西尾治. 日本の各地から検出されたノーウオークウイルスの遺伝子配列について. (主任研究者: 武田直和). 平成13年度厚生科学研究費補助金新興再興感染症研究事業「食品由来のウイルス性感染症の検出・予防に関する研究」, 2002 ; 49-54

Coxsackievirus B5 from Pigs. *Microbiologica.* 2001 ; **24** : 217-222

Hirose K, Ito K, et al. **Selective amplification of *tyv(rfbE)*, *prt(rfbS)*, *viaB* and *fliC* genes by multiplex PCR for identification of *Salmonella enterica* serovar Typhi, and Paratyphi A.** *J. Clin. Microbiol.* 2002 ; **40** : 633-636.

Ogata K, Kato R, Ito K, Yamada S. **Prevalence of**

Escherichia coli possessing the eaeA gene of enteropathogenic E. coli (EPEC) or the aggR gene of enteroaggregative E. coli (EAaggEC) in traveler's

diarrhea diagnosed in those returning to Tama, Tokyo from other Asian countries. *Jpn. J. Infect. Dis.* 2002 ; **55** : 14-18

母子保健学部

Department of Maternal and Child Health

原著

田中哲郎, 石井博子, 加藤隆司. 健診の機会を利用した事故防止指導—新しい方式の考案とその評価—. 小児科臨床. 2001 ; **54**(8) : 1639-1645

石井博子, 田中哲郎. 保育園を情報発信基地とする事故防止プログラム. チャイルドヘルス. 2001 ; **4**(8) : 8-12

田中哲郎, 石井博子. 最近の保護者の保育に関する考え方. 保育と保健. 2001 ; **7**(2) : 41-48

田中哲郎, 石井博子. 保育士のけがや病気に対する対応について. 保育と保健. 2001 ; **7**(2) : 49-53

田中哲郎. 乳幼児突然死症候群の疫学. 保健の科学. 2001 ; **43**(4) : 278-285

田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康. 小児救急における小児科医不足—医学部学生の小児科に対する考え方—. 日本医事新報. 2001 ; No. 4017 : 37-43

田中哲郎, 石井博子, 加藤隆司. 健診の機会を利用した事故防止指導—新しい方式の開発とその評価—. 厚生科学研究「小児の事故とその防止に関する研究」平成12年度研究報告書. 2001 ; 363-367

石井博子, 田中哲郎. 子どもの事故防止プログラムの開発. 厚生指針. 2001 ; **48**(1) : 11-18

石井博子, 田中哲郎. わが国における事故防止対策の現状. 小児科診療. 2001 ; **64**(2) : 243-248

田中哲郎, 石井博子, 向井田紀子, 小林正子. 子どもの疾病に関する保護者の理解度. 小児科臨床. 2001 ; **54** : 96-102

加藤則子, 福田良子, 石川房子, 成清マサキ, 伊藤憲美, 吉橋和子, 西谷徳美, 伊藤順子. 厚生省発育基準と比較した母乳栄養児の乳児期の発育曲線. 小児保健研究. 2001 ; **60**(5) : 680-689

加藤則子, 高野陽, 加藤忠明, 奈良平典子. 保育所入所児に関する発育・発達の縦断的研究—乳幼児保健のあり方—. 発育・発達の縦断的研究 (主任研究者: 加藤忠明), 平成12年度日本子ども家庭総合研究所紀要第37集, 2001 ; 117-122

加藤則子, 犬飼和久, 柴田隆. 極低出生体重児における身体発育の15歳に至る追跡. 日本新生児学会雑誌. 2001 ; **37**(4) : 628-634

総説

田中哲郎. 小児の事故. 小児保健研究. 2002 ; **61**(2) : 179-186

田中哲郎. 政策医療としての小児救急医療. 雑誌: 医療. 2002 ; **56**(1) : 5-8

市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎. わが国の小児救急医

療の現状と問題点. 小児保健. 2001 ; **60**(5) : 611-619

田中哲郎. 小児救急医療における理想像. 小児科診療. 2001 ; **64**(11) : 1652-1657

市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎. 小児救急医療体制はいかにあるべきか. 小児科. 2001 ; **42**(8) : 1308-1316

田中哲郎. 事故防止対策—概説—. 小児科診療. 2001 ; **64**(2) : 228-232

田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康. 小児救急医療をめぐる最近の動き. 小児科臨床. 2001 ; **54**(2) : 265-271

加藤則子. 育児をポジティブに考える知恵. チャイルドヘルス, 2001 ; **4**(1) : 8-9

加藤則子, 福島富士子. 女性支援なくして育児支援はあり得ない. 保健婦雑誌. 2001 ; **57**(2) : 92-96

加藤則子. 海外の子どもたちの健康診断. 学校保健フォーラム. 2001 ; **15** (38) : 24-26

加藤則子. 合計特殊出生率の算出対象年齢. 日本医事新報. 2001 ; No4031 : 141-142

加藤則子. 乳がん早期発見のためのヘルスプロモーション. 海外情報ニュース. 2001 ; No41 : 2-3

加藤則子. 環境インパクト評価の中の対人インパクト評価の推進—カナダの経験—. 海外情報ニュース. 2001 ; No42 : 3

加藤則子. 第10回国際双生児学会に出席して. 海外情報ニュース. 2001 ; No42 : 4

加藤則子. 母子保健からみた少年犯罪. 思春期学. 2001 ; **19**(3) : 273-277

加藤則子. 乳幼児期における発育基準の意義. *AUXOLOGY*. 2001 ; **8** : 20-23

加藤則子. 母子保健統計. 周産期医学. 2001 ; 31増刊号 : 808-834

加藤則子. 平成12年乳幼児身体発育調査結果について. 小児科臨床. 2001 ; **54**(12) : 2437-2446

加藤則子, 奥野晃正, 高石昌弘. 平成12年乳幼児身体発育調査結果について. 小児保健研究. 2001 ; **60**(6) : 707-720

小林正子. 事例にみる青少年暴力. 公衆衛生. 2001 ; **65**(11) : 797-800

著書

田中哲郎. 小児の心肺蘇生マニュアル 改訂版. 日本小児医事出版社, 2001

田中哲郎. 新子どもの事故防止マニュアル 改訂版. 診断と治療社, 2001

田中哲郎. 学校保健の動向 (平成13年度版) 心肺蘇生

の新しい基準. 日本学校保健会, 2001

加藤則子. 育児とリプロダクティブヘルス 育児支援. 新女性医学体系11 リプロダクティブヘルス. 中山書店, 2001: 306-313

加藤則子. からだの発育. 日本子ども家庭総合研究所編: パパ・ママのための育児Q & A. 保健同人社, 東京. 2001: 215-261

小林正子. 母子保健. 上延富久治編著. 公衆衛生要論. 建帛社, 2001: 157-180

小林正子. 学校保健. 高野陽, 柳川洋編. 母子保健マニュアル第4版. 南山堂, 2002: 75-82

小林正子. 思春期保健. 高野陽, 柳川洋編. 母子保健マニュアル第4版. 南山堂, 2000: 83-88

佐藤加代子. 各国の食生活指針とその背景. 大津一義, 柳田美子, 山口蒼生子, 梶原苗美, 中谷弥栄子編. 変わりゆく食環境と食の安全性. ぎょうせい. 東京. 2001: 20-23

佐藤加代子. 栄養教育にかかわるわが国の動向: 栄養政策. 大津一義, 柳田美子, 佐藤加代子, 笠原賀子編. 効果的な栄養教育・栄養指導の進め方. ぎょうせい. 東京. 2001: 7-11

佐藤加代子. ニーズ・実態把握: 栄養調査. 大津一義, 柳田美子, 佐藤加代子, 笠原賀子編. 効果的な栄養教育・栄養指導の進め方. ぎょうせい. 東京. 2001: 70-80

佐藤加代子. 学童期・思春期の栄養と食生活. 高野陽, 高橋種昭, 大江秀夫, 染谷理絵, 水野清子, 原田節子, 佐藤加代子編. 小児栄養: 子どもの栄養と食生活 (第2版). 医歯薬出版 (株), 東京. 2000: 139-160

佐藤加代子. 障害をもつ小児の食事と食生活. 高野陽, 高橋種昭, 大江秀夫, 染谷理絵, 水野清子, 原田節子, 佐藤加代子編. 小児栄養: 子どもの栄養と食生活 (第2版). 医歯薬出版 (株), 東京. 2000: 177-196

抄録のある学会報告

市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎. 小児救急医療における遠隔医療システムの実態—双方向かつリアルタイムの動画像・音声伝送システムの応用—. 第15回日本小児救急医学会, 千葉. 2001

内山有子, 田中哲郎, 石井博子, 市川光太郎, 山田至康. 医学部学生の小児科に対する考え方. 第15回日本小児救急医学会, 千葉. 2001

石井博子, 田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康. 母親の疾病の理解度および看護録. 第15回日本小児救急医学会, 千葉. 2001

石井博子, 田中哲郎. 保育士の病気や事故対応能力についての検討. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001

田中哲郎, 石井博子. 健診の機会を利用した事故防止指導—新しい方式の考案とその評価—. 第60回日本公衆衛生学会, 高松. 2001

加藤則子, 小林正子, 田中哲郎, 高石昌弘, 高野陽, 衛藤隆. 市町村の乳幼児健診で行われている身体計測に関する

調査結果. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10: 584

佐藤加代子, 須藤紀子, 家永紀子, 中田恵津子, 篠田道代. 母親の養育環境と食事・食卓づくり及び子どもの食行動との関連. 第48回日本栄養改善学会, 大阪. 2001. 10: 161

佐藤加代子, 岩谷晶子, 須藤紀子. 母親の育児環境と食事・食卓づくりとの関連 (第1報). 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001. 11: 458-459

岩谷晶子, 佐藤加代子, 須藤紀子. 母親の育児環境と食事・食卓づくりとの関連 (第2報). 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001. 11: 460-461

石井博子, 田中哲郎, 加藤隆司. 新しい方式による健診の機会を利用した事故防止指導. 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001

石井博子, 田中哲郎, 小林臻. パンフレットによる応急手当法の普及啓発効果. 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001

石井博子, 田中哲郎. 保育士のけがや病気に対する対応について. 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001

内山有子, 石井博子, 田中哲郎. 保育園児を持つ保護者の保育時間に関する考え方. 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001

内山有子, 石井博子, 田中哲郎. 保育園児を持つ保護者の保育に関する精神的不安について. 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001

広瀬菜々子, 田中哲郎, 星埜京子, 西川路紀子. 高等学校における健康に関する知識の理解度について. 第48回日本学校保健学会, 宇都宮. 2001

西川路紀子, 田中哲郎, 星埜京子, 広瀬菜々子. 中学校における健康に関する知識の理解度について. 第48回日本学校保健学会, 宇都宮. 2001

星埜京子, 田中哲郎, 西川路紀子, 広瀬菜々子. 小学校における健康に関する知識の理解度についての研究. 第48回日本学校保健学会, 宇都宮. 2001

田中哲郎. 教育講演・小児の事故. 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001

田中哲郎. 特別講演・小児救急の現状と問題点. 日本小児科学会京都地方会, 京都. 2001

丹後俊郎, 藤田利治, 谷畑健生, 箕輪真澄, 土井由利子, 内山巖雄, 田中勝, 国包章一, 加藤則子, 池口孝, 上畑鉄之丞. ごみ消却施設におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響—研究デザイン—. 第11回日本疫学会学術総会, つくば. 2001. 1: 52

加藤則子. 双胎生産—死産ペアにおける早期新生児死亡, 出生体重等に関する研究. 日本双生児研究学会第15回学術講演会, 東京. 2001. 1: 6

加藤則子, 田中哲郎, 高石昌弘, 高野陽, 衛藤隆. 市町村の乳幼児健診で行われている身体計測に関する調査結果. 第104回日本小児科学会, 仙台. 2001. 5: 105(3): 402

加藤則子, 衛藤隆. 沖縄県八重山地区の乳幼児の身体発

育に関する検討. 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001. 11 ; 260-261

加藤則子. 2000年の乳幼児身体発育と健康度調査. 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001, 11 ; 96

小林正子, 東郷正美. 身体発育値を健康情報として活用するための測定間隔の検討. 第10回日本健康教育学会, 神戸. 2001. 9 ; 80-81

東郷正美, 岡島佳樹, 小林正子. ホールボディカウンターの計数値による発育の推定. 第10回日本健康教育学会, 神戸. 2001. 9 ; 78-79

小林正子, 遠藤幸子, 高野陽. 保育所児童の月次身体計測値から得られる健康情報—札幌から沖縄まで5地域を対象に一—. 第48回日本小児保健学会, 東京. 2001. 11 ; 262-263

小林正子, 加藤則子, 東郷正美. 双生児の思春期発育の時系列解析. 第12回AUXOLOGY研究会, 東京. 2001. 11 ; 24

小林正子. 縦断データによる発育と睡眠時間の関連性の検討. 第48回日本学校保健学会, 宇都宮. 2001. 11 ; 328-329

学術報告書等

田中哲郎. 小児救急医療のあり方に関する総合研究分担報告書. 厚生科学研究「少子化時代における小児救急医療のあり方に関する研究」平成12年度報告書, 2001

田中哲郎, 他. 医学部学生の小児科に対する考え方. 厚生科学研究「少子化時代における小児救急医療のあり方に関する研究」平成12年度報告書, 2001

田中哲郎, 他. 母親の医学的な育児能力. 厚生科学研究「少子化時代における小児救急医療のあり方に関する研究」平成12年度報告書, 2001

田中哲郎, 他. 北米における小児救急医療体制の現状調査. 厚生科学研究「少子化時代における小児救急医療のあり方に関する研究」平成12年度報告書, 2001

田中哲郎, 他. 小児の遠隔医療に関する研究. 厚生科学研究「少子化時代における小児救急医療のあり方に関する研究」平成12年度報告書, 2001

田中哲郎, 他. 安全チェックリストの回答状況に関する検討. 厚生科学研究「小児の事故とその防止に関する研究」平成12年度研究報告書, 2001 ; 368-371

田中哲郎, 他. 保育園・幼稚園を情報発信とする事故防止プログラム. 厚生科学研究「小児の事故とその防止に関する研究」平成12年度研究報告書, 2001 ; 372-374

田中哲郎, 他. 保育園より保護者への事故防止指導に関する保育士の考え方. 厚生科学研究「小児の事故とその防止に関する研究」平成12年度研究報告書, 2001 ; 375-377

田中哲郎, 他. 家庭内の安全環境点検プログラム—Home safety 100—. 厚生科学研究「小児の事故とその防止に関する研究」平成12年度研究報告書, 2001 ; 378-381

田中哲郎, 他. パンフレットによる応急手当法の普及啓

発効果. 厚生科学研究「小児の事故とその防止に関する研究」平成12年度研究報告書, 2001 ; 382-388

田中哲郎, 他. クラス別安全チェックリストを利用しての保育園・幼稚園の事故防止. 厚生科学研究「小児の事故とその防止に関する研究」平成12年度研究報告書, 2001 ; 389-394

加藤則子, 田中哲郎, 小林正子, 他. 全国的な発育調査を今後も続ける意義. 乳幼児身体発育基準のあり方に関する研究 (主任研究者: 加藤則子). 平成12年度厚生科学研究補助金 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (第1/7), 2001 ; 123-127

加藤則子, 田中哲郎, 小林正子, 他. 発育曲線の平滑化に関する検討—補助的に併用する方法の検討—. 乳幼児身体発育基準のあり方に関する研究 (主任研究者: 加藤則子). 平成12年度厚生科学研究補助金 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (第1/7), 2001 ; 128-134

加藤則子, 他. 乳幼児の身体発育の地域格差に関する検討. 乳幼児身体発育基準のあり方に関する研究 (主任研究者: 加藤則子). 平成12年度厚生科学研究補助金 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (第1/7), 2001 ; 135-139

加藤則子. Social-skills Training プログラムの実際—文献紹介. 思春期の暴力行為の原因究明と対策に関する研究 (主任研究者: 小林秀資). 平成12年度厚生科学研究補助金 (厚生科学特別研究事業) 報告書, 2001 ; 215-216

小林正子. 学校健康教育における健康情報としての身体計測値の活用に関する研究 (研究代表者: 小林正子). 平成9~12年度文部科学省研究補助金研究成果報告書, 全98頁

小林正子, 他. 身体計測値から心身の異常を早期発見する方法の検討. p. 4-11

小林正子, 他. 大地震の衝撃が身体発育に与えた影響と健康情報としての身体計測値の活用—被災児童の追跡調査から—. p. 12-14

小林正子, 他. 生活環境と発育—休日・イベント・発熱等に影響される発育の実態—. p. 15-17

小林正子, 他. 通学方法の違いが児童の身体発育や活動量に及ぼす影響について—岩手県内小学校の調査より—. p. 18-24

小林正子, 他. 子どもはいつ発育するか—季節・曜日・昼夜の検討—. p. 26-34

小林正子. 発育の波動解析から得られる自己回帰過程 (AR) の意味. p. 35-42

小林正子. 子どもの肥満とやせに関する近年の動向とその背景. p. 44-53

小林正子, 他. 1970~90年代学童の肥満・やせの動向と体重の季節変動. p. 54-58

小林正子, 他. ローレル指数による戦後50年間の子どもの発育評価と体形指数に関する一考察. p. 59-63

小林正子, 他. 身体計測値を用いた児童生徒の健康管理の可能性—その2. 小学校児童の身体発育と心の健康の関連から—. p. 89-98

小林正子, 他. 保育所児童の3歳から5歳までの3年間継続測定した身体発育値の解析—札幌から沖縄まで5地域を対象に—. (主任研究者: 高野陽). 平成12年度厚生科学研究「保育所における保健・衛生面の対応に関する調査研究」研究報告書, 639-641

小林正子, 加藤則子, 池田耕一, 佐々木昭彦, 佐藤加代子, 梶本雅俊. 思春期の暴力行為に関する事例収集のための調査用紙の作成. (主任研究者: 小林秀資). 平成12年度厚生科学研究「思春期における暴力行為の原因究明と対策に関する研究」研究報告書, 197-202

佐藤加代子. ニューサウス・ウェールズ大学の遠隔教育の概要について: 食糧と栄養に関する政策学習. (研究代表者: 上畑鉄之丞). 平成12年度厚生労働省地域保健総合推進事業, 公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究報告書, 2001; 75-123

佐藤加代子. ワーキングママの健康づくりを目指して (厚木保健福祉事務所地域食生活対策推進協議会). 平成11~13年度ワーキングママの食生活を中心とした健康づくり支援対策事業報告書, 2002; 1-43

Originals

Mukaida N, Kobayashi M, Tanaka T. **A study on school health education for physical mechanism and diseases(I)—from viewpoint of Yougo-teachers—**. *Jpn. J. School Health*. 2001; 47: 120-122

Mukaida N, Kobayashi M, Tanaka T. **A study on school health education for physical mechanism and diseases(II)—from the viewpoint of health and physical education teachers in high schools—** *Jpn. J. School Health*. 2001; 47: 123-125

Tanaka T, Kato N. **Evaluation of child care practice factors that affect the occurrence of sudden infant death syndrome: Interview conducted by public health nurses**. *Environmental Health and Preventive Medicine* 2001; 6: 117-120

Kobayashi M, Saito K, Togo M. **A study on the application of physical growth data as health information for children**. *Acta Medica Auxologica*, 2001; 33(3): 199-204

Proceedings with abstracts

Ishii H, Tanaka T, Uchiyama Y, Kobayashi M, Osaka F. **Level of parents knowledge of childhood disease in Japan**. XVIIITH World Conference On Health Promotion and Health Education. 2001

Tanaka T. **Pediatricians view concerning general**

knowledge of childhood. XVIIITH World Conference On Health Promotion and Health Education. 2001

Kato N, Kobayashi M. **Birthweight references for supertwins**. 10th International Congress on Twin Studies. London. July 2001

Kato N, Kobayashi M. **Perinatal mortality of twins in recent Japan**. 10th International Congress on Twin Studies. London. July 2001

Reports

Saito K, Kobayashi M, Togo M. **Application of physical measurement for mental and physical health management — In the case of primary school children —**. Japanese J. of School Health Supplement. 2001; 42: 53-55

Mukaida N, Kobayashi M, Ishii H, Tanaka T. **A study on school health education for physical mechanism and diseases(I)—from the viewpoint of Yougo—teachers**. Japanese J. of School Health Supplement. 2001; 42: 120-122

Mukaida N, Kobayashi M, Ishii H, Tanaka T. **A study on school health education for physical mechanism and diseases(II)—from the viewpoint of health and physical education teachers in high schools—**. Japanese J. of School Health Supplement. 2001; 42: 123-125

労働衛生学部

Department of Industrial Health

原著

池田三郎, 兜真徳, 内山巖雄, 中西準子. リスクとそのガバナンスに向けたリスク分析の役割. 日本リスク研究学会誌. 2001; 13(1): 3-19

大森佐興子, 熊江隆, 荒川はつ子. 運動ストレスのスギ花粉症に及ぼす影響. *Biomedical Research on Trace Elements*. 2001; 12(4): 357-358

総説

内山巖雄. 自動車排ガスと大気汚染—その現状と対策

一. 予防医学. 2001; 43(12): 13-18

内山巖雄. 環境汚染のリスク評価 (4) リスク管理のあり方. 空気清浄. 2001; 38(5): 350-352

内山巖雄. 環境汚染のリスク評価 (5) リスクアセスメントの実例. 空気清浄. 2001; 38(6): 422-425

村山留美子. 公衆衛生からみたシックハウス症候群と化学物質過敏症. 日本胸部臨床. 2001; 60: 734-743

村山留美子. わが国における室内化学物質に関連した訴えと行政の取り組み. アレルギーの臨床. 2001; 21: 46-50

抄録のある学会報告

丹後俊郎, 藤田利治, 谷畑健生, 蓑輪眞澄, 土井由利子, 内山巖雄, 田中勝, 国包章一, 加藤則子, 池口孝, 上畑鉄之丞. **ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響-研究デザイン**. 第11回日本疫学会, つくば. 2001. 1; 52

丹後俊郎, 藤田利治, 谷畑健生, 蓑輪眞澄, 土井由利子, 内山巖雄, 田中勝, 国包章一, 加藤則子, 池口孝, 上畑鉄之丞. **ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響**. 日本疫学会, 東京. 2002. 1; 50

近藤雅雄, 市川勇, 網中雅仁, 田中利明, 中村磐男, 工藤吉郎. **希土類元素による赤血球細胞内酵素障害**. 第74回日本産業衛生学会, 高知. 2001. 4; 43: 673

近藤雅雄, 市川勇, 千葉百子. **砒素化合物連続経口投与マウスのポルフィリン代謝変動について**. 第71回日本衛生学会総会, 福島. 2001. 4; 56(1): 279

熊江隆. **一ヶ月間の走り込みがジョギング愛好家の抗酸化バランスに及ぼす影響**. 第56回日本体力医学会大会, 仙台. 2001. 9; 328L

倉掛重精, 梅田孝, 齊藤大輔, 檀上和真, 中路重之, 菅原和夫, 熊江隆. **マラソン合宿時の血液成分の変動**. 第56回日本体力医学会大会, 仙台. 2001. 9; 294R

倉掛重精, 梅田孝, 中路重之, 菅原和夫, 齊藤大輔, 熊江隆, 岡村典慶. **マラソンにおける血液濃縮と体温**. 第71回日本衛生学会総会, 福島. 2001. 4; 134

荒川はつ子, 熊江隆. **実験小動物におけるアレルギー性疾患発症メカニズムに関する研究**. 第11回体力・栄養・

免疫学会, 東京. 2001. 8; A56-57

村山留美子, 内山巖雄, 他. **大気中の有害化学物質に対する一般市民のリスク許容度調査1—調査結果の概要**. 日本リスク学会第14回研究発表会, 神戸. 2001. 11

土田昭司, 村山留美子, 内山巖雄, 他. **大気中の有害化学物質に対する一般市民のリスク許容度調査2—リンクージモデルの適用**. 日本リスク学会第14回研究発表会, 神戸. 2001. 11

石塚智一, 村山留美子, 内山巖雄, 他. **大気中の有害化学物質に対する一般市民のリスク許容度調査3—MTMM行列による分析**. 日本リスク学会第14回研究発表会, 神戸. 2001. 11

村山留美子, 渡辺征夫, 後藤純雄, 内山巖雄. **ダイナミックヘッドスペース法による生体試料中のベンゼン等の測定**. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 9

学術報告書等

内山巖雄他. **平成12年度大気汚染による健康影響に関する総合的研究成果集「粒子状物質による生体影響評価手法の開発に関する研究**」. 公健協会. 2001; 21-42

内山巖雄他. **地球温暖化の日本への影響2001「第7章健康への影響**」. 環境省地球温暖化問題検討委員会編. 2001; 335-369

内山巖雄, 荒川はつ子, 村山留美子他. **生体試料測定による地域住民の有害大気汚染物質曝露アセスメントに関する研究**. 環境保全研究成果報告書, 2001; 11-1-11-24

Originals

Kumae T. **Application of a new simple method for estimating the amount of protein, fat, and carbohydrate in cooked foods consumed in one day**. *Nutrition Research* 2001; 21: 517-529

Proceedings with abstracts

Kondo M, Ito M, Kurihara N, Ohta U, Ichikawa I, Miyamoto H, Chiba M. **Changes in porphyrin metabolism and trace elements in arsenic poisoning mice**. 10th International Symposium on Natural and Industrial Arsenic Japan, Tokyo. 2001. 11; 29-30 (Book of Abstracts p. 51-52)

衛生薬学部

Department of Pharmaceutical Sciences

総説

頭金正博. **LXRとFXRによる脂質代謝制御**. *Molecular Medicine*. 2002; 39: 294-300

著書

森川馨, 田崎武信, 秋元雅裕, 芦澤一英, 伊井義則, 石川茂行, 伊藤千鶴子, 大窪教道, 佐川智子, 只木晋一, 檜山行雄, 藤井立哉, 丸野真一, 森下さやか他. **医薬品の製剤開発と製造・品質管理におけるデータ評価研究報告**. 日本PDA (日本医薬品品質保証学会), 2001

抄録のある学会報告

森川馨, 長安武司, 椋田隆司, 池田一史, 古澤義和, 清水貞博, 土井仁司, 田原務他. **医薬品製造におけるプロセスバリデーションと科学的品質保証に関する研究—原薬製剤におけるプロセスバリデーション—** 研究成果報告シンポジウム (平成11年度創業等ヒューマンサイエンス総合研究推進事業 研究成果普及事業), 東京. 2001. 2

森川馨. **医薬品製造におけるバリデーションとデータ評価—開発過程とバリデーションにおけるデータ評価—**. 日本薬学会第121年会, 札幌. 2001. 3

池田一史, 岡野晃司, 林公明, 森川馨. **医薬品原料製造における遠心分離のケーキ洗浄に関する研究**. 日本薬学会

第121年会, 札幌. 2001. 3

古田恵二, 厚味忠伺, 小原洋史, 三友隆司, 富安正和, 森川馨. 原薬製造設備の洗浄バリデーションについて. 日本薬学会第121年会, 札幌. 2001. 3

古澤義和, 高橋嘉政, 市野富雄, 森川馨. 原薬骨格原料の製法変更に伴う新規不純物への対応. 日本薬学会第121年会, 札幌. 2001. 3

渡辺勝, 百永眞士, 椋田隆司, 川上良一, 伊吹リン太, 森川馨. 晶析工程における不純物除去及び多形制御のための条件設定. 日本薬学会第121年会, 札幌. 2001. 3

水野武, 山岸久美子, 柳憲一郎, 柳原雅樹, 王瑞生, 宮澤宏, 花岡文雄. 哺乳類細胞のDNA複製装置複合体の形成機構. 日本分子生物学会第1回春期シンポジウム, 盛岡. 2001. 5

頭金正博, C. Sinal, 宮田昌明, F. J. Gonzalez. 核内受容体FXR/BARによるCyp7aの発現誘導機構—FAR/BAR遺伝子欠損マウスを用いた解析. シトクロムP450シンポジウム, 2001. 6

頭金正博. 核内受容体による胆汁酸合成の制御. 第2回ホルモンと癌研究会, 2001. 7

岡知宏, 足立直樹, 林香織, 伊藤弓弦, 田代康介, 西村哲治, 佐久間慶子, 黒瀬光一. ビスフェノールAがツメガエル初期発生過程に及ぼす影響—マイクロアレイを用いた遺伝子発現解析—. 第74回日本生化学会大会, 京都. 2001. 10

檜山行雄, 森川馨. 医薬品製造における変更管理—開発過程からの考察—. 第38回全国衛生化学技術協議会年会, 千葉. 2001. 10

足立直樹, 岡知宏, 林香織, 伊藤弓弦, 田代康介, 西村哲治, 黒瀬光一. 発生期におけるエストラジオール処理によって発現量に影響を受けるレクチン様遺伝子などの同定. 第24回日本分子生物学会年会, 横浜. 2001. 12

水野武, 柳憲一郎, 柳原雅樹, 和田賢人, 尤志英, 泉雅子, 宮澤宏, 花岡文雄. 哺乳類細胞のDNA複製装置複合体の形成機構. 日本分子生物学会第24回年会, 横浜. 2001. 12

和田賢人, 宮澤宏, 王瑞生, 水野武, 佐藤朗, 浅島誠, 花岡文雄. DNAポリメラーゼ ϵ の第二サブユニットDPE2の機能解析. 日本分子生物学会第24回年会, 横浜. 2001. 12

森川馨, 芦原賢一, 碓井富佐雄, 大窪教道, 山村尚弘, 夏山晋, 福田勝利, 石津貴, 吉田達守他. 医薬品製造におけるプロセスバリデーションと科学的品質保証に関する研究. —固形製剤におけるプロセスバリデーション—研究成果報告シンポジウム (平成12年度創薬等ヒューマンサイエンス総合研究推進事業 研究成果普及事業), 東京. 2002. 2

森川馨. 医薬品製造におけるプロセスバリデーションと科学的品質保証について. シンポジウム“医薬品の安定性評価と品質保証—レギュレーションの展望と新しい分析技術”, 日本薬学会第122年会, 千葉. 2002. 3

檜山行雄, 森川馨. 医薬品製造における変更管理—研究開発データの再構築. 日本薬学会第122年会, 千葉. 2002. 3

小野寺理恵, 平山晃久, 森川馨, 檜山行雄. 医薬品適正使用に向けての国際比較. 日本薬学会第122年会, 千葉. 2002. 3

大窪教道, 作道昭彦, 坂田純一, 森川馨. 主薬含量が微量の固形製剤における予備混合に関する研究. 日本薬学会第122年会, 千葉. 2002. 3

福田勝利, 石川茂行, 森川馨. 固形製剤製造機器の洗浄バリデーションにおけるサンプリング場所設定に関する研究. 日本薬学会第122年会, 千葉. 2002. 3

西野邦宏, 船橋弘, 加藤義輝, 山田茂則, 森川馨. 多成分配合製剤の造粒均一化に関する研究. 日本薬学会第122年会, 千葉. 2002. 3

芦原賢一, 川上誠一郎, 沖本和人, 大池敦夫, 小山靖人, 徳永雄二, 伊吹リン太, 森川馨. 圧密合力法による高速攪拌造粒工程のスケールアップに関する研究. 日本薬学会第122年会, 千葉. 2002. 3

吉田達守, 谷野忠嗣, 平井淳一, 鷹見文隆, 森川馨. 徐放性製剤製造における変動要因の特定と最適化. 日本薬学会第122年会, 千葉. 2002. 3

小林一三, 稲津里香, 西山聖, 播磨武, 大窪教道, 石川茂行, 森川馨. 固形製剤の混合工程における各種サンプリング器具の性能比較. 日本薬学会第122年会, 千葉. 2002. 3

大野育正, 長谷川晋, 馬上雅春, 脇山尚樹, 碓井富佐雄, 草井章, 池田勝, 森川馨. 高速攪拌造粒における製造パラメーターが顆粒・錠剤物性に及ぼす影響と顆粒の圧密化の評価に関する研究. 日本薬学会第122年会, 千葉. 2002. 3

宮澤宏, 山下房恵, 郡司渉, 森屋恭爾, 田村悦臣, 村上康文, 森川馨. シメチジン過剰投与ラットの末梢血の遺伝子発現解析. 日本薬学会第122年会, 千葉. 2002. 3

宮澤宏, 山下房恵, 郡司渉, 栗原渉, 森屋恭爾, 田村悦臣, 村上康文, 森川馨. シメチジン過剰投与ラットの末梢血の遺伝子発現解析. 日本薬学会第122年会, 幕張. 2002. 3

学術報告書等

森川馨, 他. 医薬品製造におけるプロセスバリデーションと科学的品質保証に関する研究. (主任研究者: 森川馨) 平成12年度創薬等ヒューマンサイエンス研究重点研究報告書, 第6分野医用材料及び製剤設計技術の開発に関する研究, 2001; 16-39

森川馨, 他. 無菌製剤製造におけるろ過滅菌フィルターの除菌性能評価およびプロセスバリデーションに関する研究. (主任研究者: 森川馨) 平成12年度創薬等ヒューマンサイエンス研究国際共同研究事業研究報告書, 2001; 117-122

森川馨他. 医薬品製造におけるプロセスバリデーションと科学的品質保証に関する研究. (主任研究者: 森川馨) 平成10~12年度創薬等ヒューマンサイエンス研究総合研

究報告書, 第6分野医用材料及び製剤設計技術の開発に関

する研究, 2001; 11-15

Originals

Tian H, Madhusree B, Fukuhara M, Tohkin M, Miyazawa H, Goto S. **Analysis of DNA adducts after exposure to 1,4-dichlorobenzene by 32P-postlabeling technique.** *Journal of Health Science* 2001; 47: 68-71

Tian H, Madhusree B, Fukuhara M, Miyazawa H, Goto S, Yoshida T. **Detection of DNA-reactive metabolites in human serum after 1,4-dichlorobenzene inhalation: Role of human biomonitoring.** *Journal of Health Science* 2001; 47: 72-74

Nishikawa N S, Izumi M, Yokoi M, Miyazawa H, Hanaoka F. **E2F regulates growth-dependent transcription of genes encoding both catalytic and regulatory subunits of mouse primase.** *Genes Cells* 2001; 6: 57-70

Wada M, Miyazawa H, Wang R S, Mizuno T, Sato A, Asashima M, Hanaoka F. **The second largest subunit of mouse DNA polymerase ϵ , DPE2, interacts with SAP18 and recruits the Sin3 co-repressor protein to**

DNA. *J. Biochem.* 2001; 131: 307-311

Proceedings with abstracts

Adati N, Nishimura T, Kurose K. **Effects of estradiol treatment on gene expression in early development of *Xenopus laevis*.** 14th International Congress of Developmental Biology, Kyoto, July 2001

Mizuno T, Yamagishi K, Yanagi K, Yanagihara M, You Z, Wada M, Wang R S, Miyazawa H, Hanaoka F. **Assembly of the replication apparatus on the pre-replicative chromatin in mammalian cells.** Eukaryotic DNA Replication, Cold Spring Harbor Laboratory Meeting, Cold Spring Harbor, NY, Sep. 2001

Mizuno T, Yamagishi K, Yanagi K, Yanagihara M, Izumi M, You Z, Wada M, Wang R S, Yatagai F, Miyazawa H, Hanaoka F. **Assembly of the replication apparatus on the pre-replicative chromatin in mammalian cells.** Third congress of 3R symposium, Green Pia Miki, Nov. 2001

衛生獣医学部

Department of Veterinary Public Health

原 著

稲田知佳, 工藤たか子, 芳住邦雄, 高鳥浩介, Alan Hedge. **光照射による *Penicillium* 不活化の波長依存性.** 防菌防黴. 2001; 29(12): 757-762

李憲俊, 長峰英之, 武井康裕, 宮島千鶴, 高鳥浩介. **CO₂測定による抗カビ試験の評価.** 防菌防黴. 2001; 29: 367-370

池戸正成, 小松理, 工藤由起子, 山本茂貴, 熊谷進. **発色酵素基質を用いた腸管出血性大腸菌 O26 の選択分離培地に関する検討.** 感染症学雑誌. 2001; 291-299

山本茂貴. **毒素型食中毒事件と食品の衛生管理.** 獣医学雑誌. 2001; 5: 41-44

山本茂貴. **リスクアセスメントの実際と将来; モンテカルロシミュレーションを用いた微生物学的リスクアセスメント** David Vose. 獣医学雑誌. 2001; 5: 65-68

総 説

山崎省二. **環境微生物の概要.** 空気清浄. 2001; 39(2): 112-116

山崎省二, 藤原真一郎. **HACCP システムとその動向.** 公衆衛生研究. 2001; 50(2): 60-65

藤原真一郎. **HACCP 適用の現状と課題.** 公衆衛生研究. 2001; 50(2): 66-69

藤原真一郎. **食肉流通と HACCP の基本的考え方.** 肉牛ジャーナル. 2002; 15(1): 29-33

高鳥浩介. **かび抵抗性試験方法 JIS Z 2911:2000 改正.**

防菌防黴. 2001; 29(1): 31-37

高鳥浩介, 相原真紀, 村松芳多子. **食品の真菌試験と培地評価.** NISSUI TECHNOMEDIA. 2001, 4: 15-21

高鳥浩介. **真菌アレルギー 住環境にみる真菌とその生態.** 真菌誌. 2001; 42: 113-117

高鳥浩介, 相原真紀, 太田利子. **環境微生物概論・測定と評価 環境の真菌.** 空気清浄. 2001; 39(3): 178-181

著 書

山崎省二. **微生物を測る. 環境科学フォーラム編. クリーンルームのおはなし.** 日本規格協会, 東京, 2001; 183-194

山崎省二編. **環境微生物の測定と評価.** オーム社, 東京, 2001

抄録のある学会報告

山崎省二, 池田耕一, 朴俊錫, 高鳥浩介, 細淵和成, 明星敏彦, 小竿真一郎, 竹内黎明, 大廻和彦, 仲田幸博, 三上壯介, 高柳保. **空調用ダクト内微生物汚染と室内微生物汚染の関連.** 第19回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 2001; 291-293

松田恵美子, 大廻和彦, 清水晋, 山崎省二, 高鳥浩介. **吹き出し風速と吹き出し空気中の微生物量の関係.** 第19回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 2001; 288-290

佐藤吾郎, 山崎省二, 鹿島啓正, 保田井美智子, 藤原邦

夫, 武田収功. ポリビニルピロリドン-ポリヨウ素コンプレックスをグラフトしたポリエチレン不織布の抗菌作用. 第19回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 2001; 300-302

佐藤吾郎, 山崎省二, 安藤磐, 牧野誠二. 超音波加湿器の微生物学的安全対策とその評価. 第19回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 2001; 312-314

井田達也, 相原孝, 五箇野幹子, 磯前和郎, 佐藤吾郎, 山崎省二. HEPAフィルタ上における微生物二次汚染の検証とその対策(第2報). 第19回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 2001; 303-305

春日文子, 温泉川肇彦, 和田正道, 広田雅光, 豊福肇, 柴辻正喜, 道野英司, 桑崎俊昭, 熊谷進, 山本茂貴. サルモネラによる食中毒の Hazard Characterization. 第131回日本獣医学会学術集会. 2001

岡田由美子, 牧野壮一, 戸辺亨, 岡田信彦, 山崎省二. リステリアの食塩耐性関連遺伝子のクローニングおよび構造解析. 第74回日本細菌学会総会, 岡山. 2001. 4; 184

岡田由美子, 牧野壮一, 山本茂貴, 山崎省二. *Listeria monocytogenes* の各種遺伝子の高食塩濃度下における発現について. 第132回日本獣医学会学術集会, 盛岡. 2001. 10; 253

春日文子, 温泉川肇彦, 和田正道, 広田雅光, 豊福肇, 柴辻正喜, 道野英司, 桑崎利昭, 熊谷進, 山本茂貴. サルモネラによる食中毒の Hazard Characterization. 第131回日本獣医学会学術集会, 東京. 2001. 4

山本茂貴, 春日文子, 熊谷進. 鶏卵の生食に伴う *Salmonella Enteritidis* の Exposure Assessment. 第8回獣医疫学会学術集会, 東京. 2001. 4

五十君静信, 佐藤英一, 山崎学, 天野富美夫, 山本茂貴.

Listeriolysin O 関連遺伝子を発現した組換え乳酸菌のマウスへの免疫効果. 第74回日本細菌学会総会, 岡山. 2001. 4

五十君静信, 佐藤英一, 村上和雄, 山崎学, 井上智, 山本茂貴. *Lactobacillus casei* ATCC 393 that expresses *Listeriolysin O* related proteins and its immune response in mice. (リステリオリジンO関連遺伝子を組込み発現した *Lactobacillus casei* のマウスへの免疫). 日本乳酸菌学会, 名古屋. 2001. 7

山本茂貴. 食品の危機管理と HACCP. 第22回ウォーター研究会セミナー, 東京. 2001. 7

山本茂貴. 食品の微生物学的リスクアセスメント. 2001年電気化学会秋季大会, 東京. 2001. 9

五十君静信, 佐藤英一, 浅井美里, 近藤美佳, 佐藤美弥子, 村上和雄, 山崎学, 井上智, 天野富美夫, 山本茂貴. *Listeriolysin O* 関連遺伝子を発現した組換え乳酸菌のマウスへの免疫効果. 第132回日本獣医学会, 盛岡. 2001. 10

山本茂貴. 食品の高度衛生管理 HACCP 一生産から消費まで. 第132回日本獣医学会, 盛岡. 2001. 10

小松恵美, 葉袋裕二, 芳賀実, 山本茂貴, 小西良子. トリブチルスズの次世代への免疫毒性について. 2002年度日本農芸化学会, 仙台. 2002. 3

浅井美里, 近藤美佳, 村上和雄, 山本茂貴, 五十君静信. *Listeriolysin O* 関連遺伝子を発現させた組換え乳酸菌によるマウスへの免疫. 第75回日本細菌学会総会, 横浜. 2002. 3

学術報告書等

藤原真一郎. HACCPの検証の重要性とその手法. 月刊フードケミカル. 2001; 17(6): 35-38

Originals

Okada Y, Makino S, Tobe T, Okada N, Yamazaki S. Cloning of *rel* from *Listeria monocytogenes* as an Osmotolerance Involvement Gene. *Applied and Environmental Microbiology*, 2002; 68(4): 1541-1547

Aihara M, Tanaka T, Takatori K. Cladosporium, as the main fungal contaminant of locations in dwelling environments. *Biocontrol Science* 2001; 6: 49-52

ChulPark J, Han D-W, Park B-J, Lee D-H, Takatori K, Hwal S. Effective screening medium for the biodegradation of oleic acid by *Aspergillus niger*. *Biocontrol Science* 2001; 6: 37-41

Makimura K, Hanazawa R, Takatori K, Tamura Y, Fujisaki R, Nishiyama Y, Abe S, Uchida K, Kawamura Y, Ezaki T, Yamaguchi H. Fungal flora on board Mir-space station, identification by morphological features and ribosomal DNA sequences. *Microbiology and Immunology*. 2001; 45(5): 357-363

Takatori K, Saito A, Yasueda H, Akiyama K. The effect

of house design and environment on fungal movement in homes of bronchial asthma patients'. *Mycopathologia*. 2001; 152(1): 41-49

Sugimoto N, Fukuda J, Takatori K, Yamada T, Maitani T. Identification of principal constituents in enzymatically hydrolyzed coix extract. *J. Food Hyg. Soc. Jpn.* 2001; 42(5): 309-315

Abe K, Yamamoto S, Shinagawa K. 2002. Economic Impact of an *Escherichia coli* 157 : H7 outbreak in Japan. *J. Food Protection*. 2002; 65: 66-72

Review

Ishibashi N, Yamazaki S. Probiotics and safety. *Am J Clin Nutr*. 2001; 73(2): 465-470

Proceedings with abstracts

Yunokawa T, Sato G. An outbreak of Staphylococcal enterotoxin type A associated with the consumption of low fat milk. 4th International Meeting Noordwijk Food

Safety & HACCP Forum. Noordwijk aan Zee, the Netherlands. Mar. 2001; 57

放射線衛生学部 Department of Radiological Health

原著

杉山英男, 出雲義朗. 輸入食品の放射能検査. 食品衛生研究. 2001; **51**(12): 53-62

緒方裕光, 大崎進. 自然放射線のリスク評価におけるメタアナリシスの応用. 日本リスク研究学会講演論文集. 2001; **14**: 194-197

大崎進, 緒方裕光. 自然放射線の安全性とリスクコミュニケーション. 日本リスク研究学会講演論文集. 2001; **14**: 188-193

山口一郎, 大久保誠, 緒方裕光, 出雲義朗. 橈骨骨密度測定における被ばく線量測定. 保健物理. 2001; **36**(4): 339-343

総説

山口一郎. 医療放射線監視. 公衆衛生. 2001; **65**(8): 614-615

山口一郎. 新法令に対応した放射線管理にあり方. 日本放射線技術学会. 2001; **57**(12): 1429-1437

山口一郎. 医療被ばくの防護に期待すること. 日本放射線技師会雑誌. 2001; **48**(6): 782-786

著書

緒方裕光. 基本医学統計学. EBM・医学研究・SASへの応用3版. 縣俊彦編著. 中外医学社, 2002; 57-61

山口一郎. 医療領域の放射線管理マニュアル. 医療領域の放射線管理マニュアル編集委員会編. 一部執筆, 医療放射線防護連絡協議会, 2001

抄録のある学会報告

杉山英男, 前田陽子, 桑原千雅子, 寺田宙, 加藤文男. 放射性Cs高濃縮食品におけるCsの存在. 日本薬学会第121年会, 札幌. 2001. 3

杉山英男, 出雲義朗, 樋口英雄, 河村日佐男, 平井保夫, 松浦賢一, 村山三徳, 高橋知之. 原子力緊急時における食品の放射能測定と安全性評価. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10

加藤文男, 桑原千雅子, 中村美穂, 古家信敬, 田中佑美, 柴田尚, 杉山英男. キノコ生息土壌より分離された細菌のセシウム取込みにおよぼすpHの影響. 日本薬学会第121年会, 札幌. 2001. 3

桑原千雅子, 中村美穂, 古家信敬, 柴田尚, 前田陽子, 松下和弘, 仁科正実, 杉山英男, 加藤文男. キノコ生息土壌より分離された放線菌のセシウム取込みと細胞内分布. 日本薬学会第121年会, 札幌. 2001. 3

桑原千雅子, 鶴見玲子, 福本敦, 柴田尚, 杉山英男, 加藤文男. キノコ生息土壌より分離された微生物のセシウム

取込. 日本薬学会第122年会, 千葉. 2002. 3

米谷民雄, 佐藤兼章, 磯村公郎, 渡辺均, 手島玲子, 杉山英男, 池淵秀治, 佐治英男郎. 放射性物質試験法 ICP/質量分析法によるウランの定量. 日本薬学会第122年会, 千葉. 2002. 3

緒方裕光, 山口一郎. 低線量放射線のリスク推定におけるメタアナリシスの応用について. 日本保健物理学会第35回研究発表会, 仙台. 2001. 5

緒方裕光, 川上泰, 馬替純二. ガンマ線照射後の細胞増殖阻害における線量率効果に関する数量的解析. 日本放射線影響学会題44回大会, 大阪. 2001. 10

山口一郎, 緒方裕光. 食品中放射性核種による被ばく線量評価に関する研究—マウスにおける⁵⁷Co代謝実験に基づく線量評価—. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10

寺田宙. キノコ(ヒラタケ)菌糸の短時間でのセシウム取り込みの特性に関する研究. 日本放射線影響学会第45回大会, 大阪. 2001. 10

学術報告書等

杉山英男, 寺田宙, 出雲義朗. 輸入食品の放射能調査研究. (研究代表者: 杉山英男). 第43回環境放射能調査研究成果論文抄録集(平成12年度), 2002; 118-119

杉山英男, 出雲義朗. 原子力施設の事故等緊急時における食品中の放射能の測定と安全性確保に関する研究. (研究代表者: 出雲義朗). 平成12年度厚生科学研究費補助金特別研究事業報告書, 2001; 1-71

緒方裕光, 山口一郎, 出雲義朗. 無機金属元素による放射線障害回復機構に関する研究. (研究代表者: 緒方裕光). 平成12年度国立機関原子力試験研究成果報告書, 2001; **41**: 51-1~51-4

緒方裕光, 山口一郎, 出雲義朗. 食品中放射性核種による被ばく線量評価に関する研究—マウスにおける⁵⁷Co代謝実験に基づく線量評価—. 第43回環境放射能調査研究成果論文抄録集, 2001

緒方裕光. EBMにおけるメタアナリシスとデータベースについて. (研究代表者: 丹後俊郎). 平成12年度厚生科学研究事業総括・分担研究報告書「日本におけるEBMのためのデータベース構築および提供利用に関する調査研究」, 2001; 100-102

緒方裕光, 泉峰子, 石井秀夫. 米国におけるEBMの現状. (研究代表者: 丹後俊郎). 平成12年度厚生科学研究事業総括・分担研究報告書「EBMを指向した「情報科学センター」機能の設置効果に関する調査研究」, 2001; 3-8.

Originals

Sugiyama H, Terada H, Kuwahara C, Shibata H, Maeda Y, Kato F. **Characteristics of radiocesium concentration by mushrooms and microorganisms.** *Proceedings of the International Workshop on Distribution and Speciation of Radionuclides in the Environment.* 2001 ; 250-256

Chikazawa K, Ishii T, Sugiyama H. **Terrestrial gamma radiation in Kochi prefecture, Japan.** *J. Health Sci.* 2001 ; 47(4) : 362-372

Kuwahara C, Sugiyama H, Kato F. **Cesium uptake by**

edible mushrooms and microorganisms isolated from mushroom substrata. *Radioprotection-Colloques.* 2002 ; 37 : C1-347-357

Proceedings with abstracts

Kuwahara C, Sugiyama H, Kato F. **Cesium uptake by edible mushrooms and microorganisms isolated from mushroom substrata.** The ECORAD 2001 International Conference. Aix En Provence. Sep. 2001

地域環境衛生学部

Department of Community Environmental Science

原著

渡辺征夫, 中西元晴, 泉克幸, 石井忠浩. **ドライアイスの試料保冷剤としての特質と利用事例およびそのための各種断熱容器の性能試験.** *環境化学.* 2001 ; 11 : 283-293

前田淳, 板東博, 渡辺征夫, 駒崎雄一, 村野健太郎, 畠山史郎. **冬季の東シナ海上空大気中の peroxyacetyl nitrate (PAN) および全窒素酸化物濃度.** *大気環境学会誌.* 2001 ; 36 : 22-28

遠藤治, 後藤純雄, 松本寛, 麻野間正晴, 渡辺徹志, 世良暢之, 若林敬二. **都市大気浮遊粒子から抽出された共通試料の変異原性～5機関・3年間の共同研究から～.** *環境化学.* 2001 ; 11 : 567-574

後藤純雄, 峯木茂, 遠藤治, 河合昭宏, 白石不二雄, 松下秀鶴. **ガス状クロロエーテル類の変異原性とその検出能に及ぼす試験菌株の影響.** *環境化学.* 2001 ; 11 : 835-839

総説

渡辺征夫. **埋立地から放出されるメタン.** 新政策 (特集, 次世代型廃棄物最終処分場). 2001 ; 16 (5) 82-86

マドシリ バティニ, 渡辺征夫. **インドにおける民生用燃料の利用実態と今後の課題.** *環境技術.* 2001 ; 30 : 64-70

著書

遠藤治. **ロープレッシャーインパクト付アンダーセンエアサンプラーを用いた空气中浮遊粒子の粒径別捕集法.** 生活環境中の汚染物質の存在状況の把握に関する研究検討委員会編. *生活環境中の汚染物質測定マニュアル.* 公害健康被害補償予防協会, 東京. 2001 ; 26-34

後藤純雄, 遠藤治. **microsuspension法を用いた空気浮遊粒子の変異原性試験法.** 生活環境中の汚染物質の存在状況の把握に関する研究検討委員会編. *生活環境中の汚染物質測定マニュアル.* 公害健康被害補償予防協会, 東京. 2001 ; 126-154

抄録のある学会報告

渡辺征夫, 池口孝, 後藤純雄, 工藤雅子, 山崎一彦, 寺

島千晶, 前田恒昭, 小野寺佑夫. **焼却炉排ガス中のダイオキシン類前駆物質の2段階連続モニタリング手法の開発と応用.** 第22回全国都市清掃研究発表会, 2001. 2 : 267-269

原宏, 木村義明. **鳥取における降水pHの低下.** 第14回公衆衛生情報研究協議会研究会, 大津. 2001. 2

久松由東, 斉藤哲宏, 李恩淑, 稲津晃司, 秋鹿研一. **大気浮遊粒子の変異原性の日内変動と変異原物質の生成の解明に関する研究.** 日本化学会第81春季年会, 東京. 2001. 3

久松由東, 石田朋之, 岩橋楯夫. **フェナレノンと窒素酸化物の大気反応による変異原物質の生成.** 日本化学会第81春季年会, 東京. 2001. 3

柴田俊裕, 稲津晃司, 秋鹿研一, 久松由東. **1-メチルピレンの二酸化窒素-空気雰囲気下での気-固不均一反応による変異原物質の生成.** 日本化学会第81春季年会, 東京. 2001. 3

遠藤晃洋, 稲津晃司, 秋鹿研一, 久松由東. **生活関連ポリマー材料の熱分解, 燃焼による変異原物質の生成: 反応条件の影響.** 日本化学会第81春季年会, 東京. 2001. 3

松村徹, 後藤純雄, 佐才秀平, 杜本博司, 大久保豊, 伊藤安紀, 遠藤治, 渡辺征夫, 田辺潔, 松下秀鶴. **大気浮遊粉じん中のダイオキシン類濃度の経年変化について.** 第10回環境化学討論会, 松山. 2001. 5 ; 102-103

高木敬彦, 小池啓友, 加藤行男, 遠藤治, 杉田和俊, 後藤純雄, 峯木茂, 光崎研一. **児童公園内砂場の表層砂の変異原性について.** 第10回環境化学討論会, 松山. 2001.5 ; 562-563

渡辺征夫, 工藤雅子, 池口孝, 山崎一彦, 寺島千晶. **焼却炉排ガス中のクロロフェノール類のLC型連続測定装置の開発.** 第5回分析化学東京シンポジウム・2001機器分析東京討論会, 千葉市. 2001. 9 ; 53

渡辺征夫, 池口孝, 後藤純雄, 小野寺佑夫, 泉克幸, 工藤雅子. **廃棄物焼却炉の排ガス中のダイオキシン類制御のためのクロロフェノール類およびガス状総有機ハロゲン化合物の連続監視手法および排出抑制システムの開発.** 第1回廃棄物処理科学研究シンポジウム, 東京. 2001. 9 ; 133-136

寺島千晶, Tata N. Rao, 山崎一彦, 渡辺征夫, 藤嶋昭. 導電性ダイヤモンド電極を用いたクロロフェノールのカラムスイッチングHPLC—電気化学分析. 日本化学会秋期年会, 千葉市. 2001. 9; 122

中村晃, 野口泉, 原宏. **Kriging**を用いた降水成分の空間分布—北日本の積雪成分—. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

中村晃, 木本光則, 満藤弘, 原宏, 野口泉, 瀬戸信也, 大泉毅, 林和彦, 福崎紀夫, 遠山修二, 前田正人. 湿性沈着モニタリング網評価の試み その6. 長期平均沈着量の空間分布. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

福崎紀夫, 原宏, T. Khodzher. 酸性雨モニタリングにおける分析精度管理—重炭酸イオン分析によるイオンバランスの向上—. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

原宏, 秋元肇, 遠山修二, 門井守夫. 輪島局と沖縄国頭局における硝酸イオンと硝酸イオン濃度についての流跡線解析. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

泉克幸, 勝亦徹, 久米博, 内山政弘, 福山力, 鈴木晴子, 堀江勝年, 青木正敏, 原宏, 谷晃, 大喜多敏一, 坂本和彦. 蛍光X線を用いた森林大気エアロゾル中の硫黄の分析. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

泉克幸, 久米博, 内山政弘, 福山力, 鈴木晴子, 堀江勝年, 青木正敏, 原宏, 谷晃, 大喜多敏一, 坂本和彦. アカマツ群落内における水溶性エアロゾル成分の粒径分布(2). 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

青木正敏, 高野賢一, 鈴木晴子, 張尚勲, C. Sarit, 堀江勝年, 福山力, 内山政弘, 畠山史郎, 原宏, 泉克幸, 松田和秀. 数種の植生間におけるSO₂, O₃およびNO₂の沈着速度比較. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

野口泉, 原宏. 重炭酸イオンのイオンバランスに対する影響. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

横山新紀, 押尾敏夫, 原宏. 千葉県における酸性雨原因物質の排出量の把握(3). 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

内山政弘, 福山力, 丸尾容子, 市野敏弘, 泉克幸, 原宏, 高野賢一, 鈴木晴子, 青木正敏. 松林内でのオゾン生成と葉層でのオゾンの破壊. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

張尚勲, 鈴木晴子, C. Sarit, 堀江勝年, 青木正敏, 泉克幸, 原宏, 福山力, 内山政弘, 畠山史郎, 松田和秀. 数種の植生間におけるSO₂, O₃およびNO₂の沈着速度比較. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

原宏, 鈴木晴子, 高野賢一, 白鳥奈美, 堀江勝年, 青木正敏, 福山力, 内山政弘, 畠山史郎, 泉克幸, 谷晃, 大喜多敏一. アカマツ林における硫酸エアロゾルの動態. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

瀬戸信也, 中村晃, 野口泉, 大泉毅, 林和彦, 福崎紀夫, 遠山修二, 前田正人, 原宏. 日本における降水中の主要イオン成分濃度の長期トレンド. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

原宏, 中村晃, 福崎紀夫, 遠山修二, 前田正人, 瀬戸信也, 野口泉, 大泉毅, 林和彦. 酸性雨モニタリングのための濃度と降水量を考慮した管理図. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10

張捷, 久松由東, 稲津晃司, 秋鹿研一. ピレンの光酸化反応生成物の二酸化窒素下での反応生成物の変異原性と変異原物質の同定. 第42回大気環境学会, 北九州. 2001. 10

岩佐恭子, 久松由東, 稲津晃司, 秋鹿研一. インデノ[1, 2, 3-cd]ピレンのNO₂-空気雰囲気下での気-固不均一反応による変異原物質の生成. 第42回大気環境学会, 北九州. 2001. 10

遠藤晃洋, 稲津晃司, 秋鹿研一, 久松由東. 生活関連ポリマー材料の熱分解, 燃焼による変異原物質の生成: ポリマー組成の影響. 第42回大気環境学会, 北九州. 2001. 10

安達修一, 川村堅, 久松由東. ディーゼル排気および都市大気粒子に含まれる強変異原3-nitrobenzanthroneの発がん性—2. 第42回大気環境学会, 北九州. 2001. 10

渡辺征夫, 内山巖雄, 矢島慎也, 内山真由美, 泉克幸. GC/PID/FIDおよびGC/MSを用いた自動連続測定システムによる都市大気中の揮発性有機化合物のモニタリング. 第42回大気環境学会, 北九州. 2001. 10; 260

渡辺征夫, 池口孝, 工藤雅子, 山崎一彦, 寺島千晶, 泉克幸. 排ガス中クロロフェノール類の連続モニタリングシステムによる小型焼却炉の排出実態調査. 第42回大気環境学会, 北九州. 2001. 10; 263

村山留美子, 渡辺征夫, 後藤純雄, 内山巖雄. ダイナミックヘッドスペース法による生体試料中のベンゼン等の測定. 第42回大気環境学会, 北九州. 2001. 10; 304

後藤純雄, 前田恒昭, 江副優香, 小野寺佑夫, 渡辺征夫. ダイオキシン前駆体としての全揮発性有機化合物モニタリングシステムの廃棄物焼却場への適用. 第42回大気環境学会, 北九州. 2001. 10; 421

中島大輔, 江副優香, 後藤純雄, 遠藤治, 四宮貴久, 池北雅彦. アポトーシス誘導能の測定によるタバコ煙中の有害成分の解析. 第42回大気環境学会年会, 北九州. 2001. 10; 441

マドシリ バティニ, 渡辺征夫. インドにおける民生用燃料の利用実態と今後の課題. 第42回大気環境学会, 北九州. 2001. 10; 452

高橋健, 孫成均, 小谷野道子, 遠藤治, 後藤純雄, 矢島博文, 石井忠浩. 成都市における一般家庭室内空気中の多環芳香族炭化水素類濃度. 平成13年度室内環境学会総会, 東京. 2001. 12; 98

学術報告書等

久松由東. ディーゼル排気微粒子リスク評価検討会(総合座長: 横山榮二). 平成13年度報告, ディーゼル排気微粒子リスク評価検討会, 2002; 91-102

久松由東, 他. 新たな強環境変異原物質, 芳香族ニトロ化合物の環境動態, 環境分布と生物学的評価に関する研究. (研究代表者: 久松由東). 平成12年度環境保全研究成果

集, 2001; 15-1~15-21

久松由東, 他. プラスチック類の熱分解, 燃焼反応による有害化学物質生成の抑制に関する研究. (研究代表者: 久松由東). 平成12年度総括研究報告書, 2001; 1~33

渡辺征夫. 試験所間比較試験方法. (社)日本環境測定分析協会大気技術委員会編. 固定発生源排ガス測定の基本問題に関する検討, 2001; 15-20

渡辺征夫 (共同執筆). 環境庁温室効果ガス排出量算定に関する検討結果 (第2部). 温室効果ガス排出量算定方法検討会, 2001

渡辺征夫, 池口孝, 後藤純雄, 他. 廃棄物焼却炉の排ガス中のダイオキシン類制御のためのクロロフェノール類およびガス状総有機ハロゲン化合物の連続監視手法および排出抑制システムの開発 (研究代表者: 渡辺征夫). 平成12年度厚生科学研究費補助金研究報告書, 2001

内山巖雄, 荒川はつ子, 村山留美子, 渡辺征夫, 後藤純雄. 生体試料測定による地域住民の有害大気汚染物質暴露アセスメントに関する研究. (研究代表者: 内山巖雄). 平成12年度環境省総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集, 環境省発行. 2001; 11-1~11-24

遠藤治. ロープレッシャーインパクターを用いた東京都大気中の浮遊粒子及び粒子状多環芳香族炭化水素の粒径分布. 生活環境中の粒子状物質等による個人暴露測定手法の開発に関する研究 (研究代表者: 松下秀鶴). 平成12年度公害健康被害補償予防協会委託業務報告書. 2001; 29-67

遠藤治. 粒径別に採取した室内及び室外の空気浮遊粒子のPAH濃度及び変異原性の測定. 生活環境中の粒子状物質等による個人暴露測定手法の開発に関する研究 (研究代

表者: 松下秀鶴). 平成12年度公害健康被害補償予防協会委託業務報告書, 2001; 155-167

遠藤治. 加熱食品中のダイオキシン類の定量法の開発. (主任研究者: 若林敬二). 平成12年度厚生科学研究費補助金 (生活安全総合研究事業) 「タバコ煙及び加熱食品中のダイオキシン類の定量及びその評価」, 2001; 1-9

後藤純雄, 渡辺征夫, 遠藤治. 生物評価試験による浮遊粒子状物質の長期曝露モニタリングに関する研究. (研究代表者: 後藤純雄). 平成12年度環境保全成果集, 2001; 12-1~12-15

池口孝, 山田正人, 渡辺征夫, 後藤純雄, 遠藤治. 廃棄物の熱処理に伴う未規制有害物質の制御・管理に関する研究. (研究代表者: 池口孝). 平成12年度環境保全成果集, 2001; 9-1~9-34

遠藤治. ロープレッシャーインパクターを用いた東京都大気中の浮遊粒子及び粒子状多環芳香族炭化水素の粒径分布. 生活環境中の粒子状物質等による個人暴露測定手法の開発に関する研究. (研究代表者: 松下秀鶴). 平成13年度公害健康被害補償予防協会委託業務報告書, 2002; 37-128

遠藤治. 室内及び室外の粒径別採取空気浮遊粒子の変異原性. 生活環境中の粒子状物質等による個人暴露測定手法の開発に関する研究. (研究代表者: 松下秀鶴). 平成13年度公害健康被害補償予防協会委託業務報告書, 2002; 193-205

遠藤治. 環境中の変異原性物質に関する調査研究. (研究代表者: 若林敬二). 平成13年度環境省委託業務結果報告書, 財団法人日本公衆衛生協会. 2002; 1-65

Originals

Seto S, Sato M, Hara H. **Source Identification of Rural Precipitation Chemistry in Japan.** *Water, Air and Soil Pollution* 2001; **124**: 493-498

Suzuki H, Hara H, Aoki M, Takano K, Izumi K, Fukuyama T, Utiyama M, Okita T. **Sulfate Aerosol Concentration in and above a Pine Canopy.** *Water, Air and Soil Pollution* 2001; **124**: 595-600

Uchiyama M, Fukuyama T, Izumi K, Sakamoto K, Sekiguchi K, Kim W, Koyama A, Aoki M, Hara H. **Fine particle dry deposition onto a cropland—A trial to estimate deposition velocity.** *Water, Air, and Soil Pollution* 2001; **124**: 547-552

Ishii S, Hisamatsu Y, Inazu K, Aika K. **Environmental occurrence of nitrotriphenylene observed in airborne particulate matter.** *Chemosphere* 2001; **44**: 681-690

Furuya K, Kudo Y, Okinaga K, Takahashi S, Hisamatsu Y. **Seasonal variation and their characterization of suspended particulate matter in the air of subway stations.** *J. Trace and Microprobe Techniques* 2001; **19**(4): 469-485

Mineki S, Goto S, Endo O, Sun C, Takagi Y, Kohzaki K,

Onodera S. **Mutagenicity and PAH concentration of soil collected from urban area of Tokyo.** *Archives of Complex Environmental Studies* 2001; **13**: 31-42

Goto S, Ohkubo T, Endo O, Hayashi T, Bathini M, Mori Y, Fushiwaki Y, Onodera S. **Mutagenicity of reaction products of sodium hypochlorite and soybean paste (Miso).** *Archives of Complex Environmental Studies* 2001; **13**: 70-76

Koyano M, Mineki S, Tsunoda Y, Endo O, Goto S, Ishii T. **Effects of fish (Mackerel Pike) broiling on polycyclic aromatic hydrocarbon contamination of suspended particulate matter in indoor air.** *Journal of Health Science* 2001; **47**: 452-459

Proceedings with abstracts

Watanabe I, Ikeguchi T, Nishimura R, Terashima C, Yamasaki K, Furuno M. **Sequential automated analytical system for chlorophenols in drain water of flue gas from waste incinerators by using HPLC/ECD.** Book of Abstracts at PITTCOON 2001, New Orleans. March 2001; 2287

Maeda T, Watanabe I, Goto S, Onodera S. **Automated**

stack gas monitoring system for total volatile organic halogen as a dioxin precursor. Book of Abstracts at PITTCON 2001, New Orleans. March 2001 ; 2229

E. S. Lee, Hisamatsu Y, Y. S. Yoo, Shibata T, Inazu K, Aika K, **Seasonal and diurnal variations in In-direct-acting mutagenicity of airborne particulate matters.** 12th World Clean Air & Environment Congress and Exhibition, Seoul. Aug. 2001

Hisamatsu Y, Inazu K, Aika K, Hidaka H, **Mutagenicity of thermal decomposition and combustion products of polyvinylchloride and polyethylene and mutagen formation by them.** 8th International conference on Environmental Mutagens. Shizuoka. Oct. 2001

Endo O, Goto S, Matsumoto Y, Sakai S, Akutagawa T, Asanoma M, Hirayama T, Watanabe T, Sera N, Tsukatani H, Tada A, Wakabayashi K. **Mutagenicity survey of airborne particle, river water and soil in Japan in 1996-2000.** 8th International Conference on

Environmental Mutagens, Shizuoka, Japan. Oct. 2001 ; 79

Hara H. **Acid abstracts of symposium on atmospheric composition.** Change, Yokohama. Nov. 2001

Watanabe I, Kudo M, Ikeguchi T, Goto S, Kurata Y, Terashima C, Yamasaki K. **Improved sequential automated-analytical system (HPLC/ECD) for chlorophenols in flue gas from waste incinerators.** Book of 2002 Pittsburgh Conference ; A Global Technical Conference & Exposition, New Orleans. March 2002 ; 662-663

Reports

Watanabe I, Nakanishi M, Tomita J, Suzuki M, Sugita K, Komala N. **Observation of peroxyacyl nitrates in the torrid to temperate zone by BIBLE-A aircraft survey.** EORC Bulletin Technical Report No.7 (published from NASDA EORC (Tokyo)). March 2001 ; 61-69

建築衛生学部

Department of Architectural Hygiene Engineering and Housing

原著

熊谷一清, 坊垣和明, 池田耕一, 堀雅宏, 松村年朗, 飯倉一雄, 吉澤晋. **実大実験住宅施工中及び直後における室内化学物質濃度に関する研究.** 日本建築学会計画系論文集. 2001 ; **542** : 77-84

輿水ヒカル, 栃原裕, 池田耕一. **加湿器導入による冬期の工場勤務者の温熱快適性および主観的評価の変化に関する調査研究.** 日本建築学会計画系論文集. 2002 ; **552** : 9-14

朴俊錫, 川尻第貴, 池田耕一, 藤井修二. **真菌由来揮発性有機化合物による空気調和機汚染に関する研究.** 日本建築学会計画系論文集. 2002 ; **552** : 43-48

池田耕一, 朴俊錫, 塩津弥佳. **化学物質による室内空気汚染データベースシステムの設計に関する研究.** 日本建築学会計画系論文集. 2002 ; **552** : 49-54

総説

鈴木晃. **介護保険制度の前提としての居住政策.** 建築とまちづくり. 2001 ; **285** : 20-23

鈴木晃. **介護保険における住宅改修—その意義と課題.** GPnet. 2001 ; **48(1)** : 18-23

鈴木晃. **生活主体の形成に関する居住問題の意味.** 建設政策. 2001 ; **78** : 2-6

阪東美智子. **生活保護受給者の生活課題とその展望.** 大阪保険医雑誌. 2001 ; No.412 : 34-37

阪東美智子, 寺川政司. **地域通貨によるまちづくり.** 都市計画. 2001 ; 第231号 : 37-40

阪東美智子. **現代都市におけるホームレスの人々の実態と居住支援—釜ヶ崎における野宿生活者問題と居住支援**

一. 都市住宅学. 2001 ; 第34号 : 51-54

著書

池田耕一, 栃原裕, 大中忠勝. **健康住宅実践ガイド** (Ray Ranson 著) (訳), 弘学出版, 2001, 全頁

池田耕一. **シックハウス症候群.** 建築環境工学教科書 (建築設備学教科書研究会編). 2002 ; 254-255

池田耕一. **集合住宅と空気環境.** 集合住宅の機能・性能事典 (産業調査会編), 2002 ; 338-345

若松弘之, 鈴木晃, 朴俊錫, 松本恭治, 高橋美加. **都市部における膠原病患者の居住改善に関する実態調査 ; アンケートと訪問面接調査から.** 人間と生活環境. 2001 ; **8(1)** : 41-46

シックハウス事典. 共同執筆, 技報堂出版, 2001. 9 ISBN 4-7655-2456-6 COO52

岩田宏之, 岡野生也, 興津亜希子, 永松隆, 定形真弓, 阪東美智子, 米田郁夫, 武田一男, 篠原けい子. **住宅改善のポイント・建築技術者の視点, 生活環境の整備の課題・建築技術者の視点.** 松浦剛, 大西孝. **障害をもつ人の住まいと福祉用具の事例集.** 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団, 兵庫県立総合リハビリテーションセンター, 家庭介護・リハビリ研修センターリハビリ研修課. 明石市. 2001 ; 75-76, 83

抄録のある学会報告

光田恵, 吉野博, 池田耕一. **高齢者施設の臭気に対する空気清浄器の脱臭効果に関する研究.** 日本建築学会東海支部研究報告集, 2001 ; 553-556

池田耕一, 塩津弥佳. **住宅建設技術者のいわゆるシック**

ハウス問題に関するニーズについて. 第51回日本木材学会大会, 2001; 170

川尻第貴, 鍵直樹, 藤井修二, 朴俊錫, 池田耕一. 微生物由来の揮発性有機化合物 (VOC) による室内空気汚染 (その1) 微生物由来の揮発性有機化合物とHVACシステム汚染. 第19回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 2001; 127-129

朴俊錫, 池田耕一, 川尻第貴, 藤井修二. 微生物由来の揮発性有機化合物 (VOC) による室内空気汚染 (その2) 微生物由来のVOCの発生構造. 第19回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 2001; 130-131

野崎淳夫, 飯倉一雄, 池田耕一, 吉澤晋. オゾン発生源による室内空気汚染に関する研究 (第2報). 第19回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 2001; 273-274

池田耕一, 朴俊錫. 住宅室内における室内化学物質汚染の実態と化学物質汚染に関するデータベース. 第19回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 2001; 281-283

池田耕一, 朴俊錫. 居住空間における化学物質汚染負荷特性に関する研究. 第18回エアロゾル科学・技術検討会, 2001; 166-167

池田耕一. 化学物質による室内空気汚染の現状と対策. 環境科学会2001会シンポジウム, 2001; 126-127

池田耕一, 塩津弥佳. 日本人の『いい空気』のイメージに関する調査. 日本生理人類学会誌, 2001; 6: 52-53

鈴木晃. 介護保険制度と住宅政策. 日本住宅協会平成12年度住宅政策セミナー, 東京, 2001; 2: 73-81

児玉桂子, 鈴木晃. 住宅改造の効果に関する研究 (1) —早期に行う住宅改造が高齢者・介護者に及ぼす多面的効果. 日本老年社会学会第43回大会, 大阪, 2001. 6; 214

後藤隆, 鈴木晃. 住宅改造の効果に関する研究 (2) —システムダイナミクスによる住宅改造効果の要因関連の検討. 日本老年社会学会第43回大会, 大阪, 2001. 6; 215

神田秀幸, 鈴木晃, 山田和子, 秋葉道宏. 介護保険制度における住宅改修の現状と課題 (1); 東京都中野区におけるケアマネジャーの関わり. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松, 2001. 10; 493

杉浦裕子, 鈴木晃, 山田和子, 秋葉道宏. 介護保険制度における住宅改修の現状と課題 (2); 東京都中野区における住宅改修の実体. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松, 2001. 10; 493

林恭一, 鈴木晃. 診療所のバリアフリー化の試み; ロービジョン対応を中心として. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松, 2001. 10; 494

鈴木晃, 金子由美子. 住宅改善支援の技術移転プログラムの開発. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松, 2001. 10; 494

荒木美津子, 鈴木晃. 斜面地に住む高齢者の外出実態調査; 長崎市における外出支援のあり方. 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松, 2001. 10; 668

池田耕一, 朴俊錫. 住宅における室内化学物質空気汚染の実態と化学物質汚染に関するデータベース. 第19回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 2001; 281-284

川尻第貴, 鍵直樹, 藤井修二, 朴俊錫, 池田耕一. 微生物由来の揮発性有機化合物 (VOC) による室内空気汚染に関する研究, その1 微生物由来の揮発性有機化合物とHVACシステム汚染. 第19回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 2001; 127-129

朴俊錫, 他. 空調ダクト内微生物汚染と室内微生物汚染の関係. 第19回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 2001; 291-294

池田耕一, 朴俊錫. 居住空間における化学物質汚染負荷特性に関する研究, アエロゾル科学・技術研究討論会 (The 18th Symposium on AEROSOL SCIENCE & TECHNOLOGY), 2001; 166-167

池田耕一, 朴俊錫. 住宅における化学物質汚染に関する実測調査, その3 居住空間における化学物質汚染負荷特性. 日本建築学会大会学術講演梗概集D-2, 2001; 909-910

川尻第貴, 鍵直樹, 藤井修二, 朴俊錫, 池田耕一. 真菌由来の揮発性有機化合物による空気調和機汚染に関する研究, その1 空調システムの微生物汚染と真菌由来の揮発性有機化合物. 日本建築学会大会学術講演梗概集D-2, 2001; 953-954.

朴俊錫, 池田耕一, 川尻第貴, 藤井修二. 真菌由来の揮発性有機化合物による空気調和機汚染に関する研究, その2 複合真菌からの化学物質と空気調和機汚染の関係. 日本建築学会大会学術講演梗概集D-2, 2001; 955-956

村上知之, 朴俊錫, 池田耕一. 光触媒担持シートによるホルムアルデヒドの除去性能, 空気調和衛生工学会学術講演会, 2001; 1201-1204

朴俊錫, 池田耕一, 藤井修二. 空調機内における真菌由来化学物質に関する研究. 空気調和衛生工学会学術講演会, 2001; 1273-1276

朴俊錫, 池田耕一. 居住空間における有機化合物の同時確率分布に関する研究. 室内環境学会総会, 2001; 160-163

朴俊錫, 池田耕一, 市原信和, 新納啓順, 高鳥活介. 微生物由来の揮発性有機化合物 (VOC) による室内空気汚染に関する研究, その3 生殖場所による微生物のMVOC特性について. 第20回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 2002; 106-108

山崎省二, 池田耕一, 朴俊錫, 他. 空調用ダクト内微生物汚染と室内微生物汚染の関連 (その2). 第20回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 2002; 93-95

阪東美智子, 三田和良, 塩崎賢明. 身体障害者の居住実態と住要求に関する研究. 2001年度日本建築学会近畿支部研究発表会, 大阪, 2001. 6; 741-744

阪東美智子, 米田郁夫, 西岡基夫, 多淵敏樹. 車椅子使用者の身体負荷と床形質・材料に関する基礎的研究—計測

用車いすによる定量的評価— 第4回福祉のまちづくり研究会全国大会, 東京, 2001. 8 ; 79-82

藤井嘉彦, 米田郁夫, 阪東美智子. 横断歩道等における歩車道境界部の段差構造に関する調査研究. 第4回福祉のまちづくり研究会全国大会, 東京, 2001. 8 ; 101-104

米田郁夫, 阪東美智子, 西岡基夫, 宇根正美, 多淵敏樹, 奥英久, 橋詰努, 鍋島益弘. 環境要因が車いす操作に及ぼす影響—巡回走行の定量的評価手法に関する一考察—. 第16回ハ工学カンファレンス, 岡山, 2001. 8 ; 469-472

阪東美智子, 米田郁夫, 西岡基夫, 多淵敏樹. 環境要因が車いす操作に及ぼす影響—床材の違いによる巡回走行負荷の定量的評価—. 第16回ハ工学カンファレンス, 岡山, 2001. 8 ; 21-24

米田郁夫, 阪東美智子, 西岡基夫, 多淵敏樹, 奥英久. 手動車いすの走行特性に関する研究—路面条件による巡回特性の違いの定量的評価. 日本機械学会福祉工学シンポジウム, 東京, 2001. 8

阪東美智子. 車いすの使用に適した床に関する研究. 2001年度日本建築学会大会学術講演会, 東京, 2001. 9 ; 833-834

学術報告書等

池田耕一. シックハウスと換気システム. 社団法人空気調和・衛生工学会市民向け公開シンポジウム資料, 2001 ; 5-10

池田耕一. 室内空気環境, シックハウス問題を中心として. 健康住宅セミナー2001資料集, 2001 ; 31-61

池田耕一, 塩津弥佳. シックハウス問題・公衆衛生の立場から. 2001年度日本建築学会(関東)環境工学部門(1)シックハウス問題の解明とヘルシーな居住検鏡の開発特別研究委員会研究協議会資料, 2001 ; 29-32

池田耕一, 他. シックハウスにおける室内化学物質汚染の実態調査. 日本建築学会技術報告集13 ; 2001 ; 131-134

池田耕一, 他. シックハウス症候群に関する疫学的研究: 厚生科学研究費補助金生活安全総合研究事業, 平成12年度報告書, 2001 ; 60-64

池田耕一, 他. ウェルフェアテクノシステム研究開発(調布). 平成12年度成果報告書, 2001, 全頁

池田耕一. 室内濃度予測に関する揮発性有機化合物の吸着及びその防除に関する研究. 平成10~12年度科学技術研究補助金(基礎研究(C)(2))研究成果報告書, 2001 ; 1-172

池田耕一, 他. 建築物における汚染物質発生量の評価手法に関する研究. 建設省官民連帯共同研究「健康的な居住環境形成技術の開発」委員会最終報告書, B課題, 2001 ; B1-B88

池田耕一, 他. 光触媒より発生する活性酸素の測定と生体影響に関する検討. 科学研究費補助金基盤研究B(1)「調湿・脱臭・吸着作用を持つゼオライトの各種建築用途への適用方法に関する研究」平成12年度研究報告書, 2001 ; 3・21-3・27

池田耕一, 他. 快適な生活空間創造のための動的温熱環境の標準化. 平成12年度新エネルギー・産業技術開発機構研究受託成果報告書, 2001, 全頁

池田耕一, 他. 換気性能評価小委員会平成12年度活動報告書, 社団法人空気調和衛生工学会, 換気性能評価小委員会報告書, 2001

池田耕一. 国民の一日平均の水使用量について. 国民線量推定のための基礎調査(XXIV), 2001 ; 29-30

池田耕一, 塩津弥佳. 呼吸量について. 国民線量推定のための基礎調査(XXIII), 2001 ; 33-42

池田耕一. シックハウスはなぜ起こり得たか. 建築雑誌3月号, 2001 ; 116(1469) : 63

池田耕一. ビル室内環境の現状と管理の問題点. 設備と管理, 2001 ; 35(4) : 80-88

池田耕一, 塩津弥佳. 住宅におけるラドン. 公衆衛生, 2001 ; 65(6) : 417-420

池田耕一. 住まいと健康・建築衛生学. 公衆衛生, 2001 ; 65(9) : 679-682

池田耕一. 空調機及び関連設備の洗浄, 清浄化と室内環境. 建築設備と配管工事, 2001 ; 19-34

池田耕一, 鈴木晃. 特別課程, 住まいと健康. 公衆衛生, 2001 ; 65(9) : 528-529

池田耕一. ビル室内環境の現状と管理の問題点. 設備と管理, 2001 ; 35(4) : 80-881

池田耕一. 家庭内の化学物質と健康影響. 日本胸部臨床, 2001 ; 60(8) : 681-697

鈴木晃, 山田和子, 秋葉道宏. 介護保険制度下の住宅改修の現状と課題. 住宅会議, 2001 ; 51 : 26-29

鈴木晃. 「住まいと健康」問題に関する研究動向. ビルと環境, 2001 ; 92 : 64-66

池田耕一, 鈴木晃. 特別課程 住まいと健康・建築物衛生. 公衆衛生, 2001 ; 65(7) : 528-529

鈴木晃. 高齢者世帯の生活の質とライフステージに合わせた住環境整備に関する調査研究報告書. (研究代表者: 児玉桂子) 長寿社会開発センター, 2002

鈴木晃. 障害者の住宅改善支援に関する技術移転プログラムの開発. (研究代表者: 鈴木晃). 平成12~13年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書, 2002

池田耕一, 朴俊錫. 化学物質室内空気汚染に関するデータベース(AFoDAS/AVODAS). 空気清浄, 日本空気清浄協会, 2001 ; 39(2) : 32-36

朴俊錫. 微生物由来化学物質による室内空気汚染. 空気清浄, 日本空気清浄協会, 2002 ; 39(6) : 40-43

阪東美智子, 他. 横断歩道等における歩車道境界部段差構造に関する調査研究. 土木学会第56回年次学術講演会, 熊本, 2001.10

阪東美智子, 他. 人にやさしい道路環境に関する研究—横断歩道等における歩車道境界部の段差構造に関する調査研究. (研究代表者: 藤井嘉彦). 平成12年度福祉のまちづくり工学研究所報告書, 2001 ; 82-97

阪東美智子, 他. 高齢社会対応型住宅のあり方に関する

研究(その1)一車いすの使用に適した床に関する研究一。(研究代表者:阪東美智子)。平成12年度福祉のまちづくり工学研究所報告書, 2001; 124-129

阪東美智子, 他。高齢社会対応型住宅のあり方に関する研究(その2)一身体障害者向け住宅の供給手法に関する研究一。(研究代表者:阪東美智子)。平成12年度福祉のまちづくり工学研究所報告書, 2001; 130-140

阪東美智子, 他。野宿脱出後の生活保護受給者(単身高齢者)の支援のあり方に関する調査。(研究代表者:森口芳樹)。野宿脱出後の生活保護受給者(単身高齢者)の支援のあり方に関する調査報告書, 2001; 1-28, 36-57

阪東美智子。釜ヶ崎における住まい・まちづくりの取り組み。2001年度日本建築学会大会学術講演会建築経済部門研究協議会資料, 2001; 97-100

阪東美智子, 他。動作に着目した住宅空間設計のガイド

ラインに関する研究(その1)一車いす使用者の操作能力を考慮した住宅整備指針の構築一。(研究代表者:阪東美智子)。平成13年度福祉のまちづくり工学研究所報告書, 2002; 124-128

阪東美智子, 他。動作に着目した住宅空間設計のガイドラインに関する研究(その2)一ADL, QOL向上のための住宅整備指針の構築一。(研究代表者:糟谷佐紀)。平成13年度福祉のまちづくり工学研究所報告書, 2002; 129-136

視聴覚資料やデジタル媒体などによる研究成果

阪東美智子。ホームレス問題の捉え方と日本の社会保障。CUGIジャーナル http://i-cis.com/cugi_journal/index4.htm, 2002

Proceedings with abstracts

Ikeda K. **Governmental measures for so-called "Sick House Syndrome" in Japan.** Proceedings for Symposium on Current Status of Indoor Air Pollution by Organic Compounds and Countermeasures for Healthy Housing, 2001; 67-71

J.S. Park, Ikeda K. **Design of a database system,**

AFoDAS/AVODAS, on chemical pollutants of indoor air. International Symposium on Building and Urban Environmental Engineering, July. 2001; 63-68

J.S. Park, Ikeda K. **MVOC emissions from fungi in HVAC system.** The 9th International Conference on Indoor Air Quality & Climate, Indoor Air 2002, 2002; 335-340

水道工学部

Department of Water Supply Engineering

原著

佐野進, 国包章一。給水システム全体における鉛溶出試験の検討。きゅうすい工事。2001; 2(4): 26-30

田中卓実, 相澤貴子, 浅見真理。紫外線一光触媒処理による水中細菌の不活化。水環境学会誌。2001; 24(4): 233-239

濱谷幸子, 富森聡子, 橋詰清, 相澤貴子, 浅見真理。地下水中のヒ素に関連する水質特性~三重県北部の地層との関連~。水環境学会誌。2001; 24(11): 739-744

丸山章代, 富岡淳, 伊藤安紀, 浅見真理, 相澤貴子。群馬県の下水処理場と河川における非イオン界面活性剤及びその分解生成物の挙動について。水環境学会誌。2001; 24(11): 778-784

相澤貴子, 浅見真理。給水過程における酸化処理の安全性評価に関する研究。きゅうすい工事。2001; 2(4): 23-25

総説

森一見, 国包章一。給水装置に関する技術課題と調査研究の動向。建築設備と配管工事。2001; 39(7): 11-14

森一見。給水装置分野における技術的課題について。環境衛生工学研究。2001; 15: 22-24

森一見。規制緩和と国際的調和一給水装置を例として一。水道公論。2002; 38(1): 32-35

森一見。WSSCCとその活動一安全な水の供給と衛生を

すべての人に一。水道公論。2002; 38: 36-43

相澤貴子。新たな汚染物質による水道水源の汚染。環境技術。2001; 30(8): 592-597

相澤貴子, 野嶋義教。ヒ素汚染を解明する, 水道からのアプローチ, 日本における水道水源のヒ素汚染の実態。資源環境対策。2001; 37(14): 8-13

相澤貴子。内分泌攪乱化学物質の塩素処理副生成物とそのエストロゲン様活性。水と廃水。2002. 1

著書

国包章一。水道膜ろ過法入門。国包章一監修/ (財) 水道技術研究センター編。日本水道新聞社。2002

国包章一。1.4 人間活動, 1.5 水質の基準と測定方法。茅陽一監修/ オーム社編。2002/2003環境年表。オーム社。2002; 120-136

抄録のある学会報告

辻清美, 森康明, 近藤文雄, 中澤裕之, 秋葉道宏, 国包章一。オゾンおよび二酸化塩素処理によるマイクロシスチンの分解。日本薬学会第121年会講演, 2001

国包章一。21世紀における水処理技術一水道における浄水処理をめぐる一。東京大学COEシンポジウム講演, 2001

丹後俊郎, 藤田利治, 箕輪真澄, 土井由利子, 内山巖雄,

田中勝, 国包章一, 加藤則子, 池口 孝, 上畑鉄乃丞. ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響—研究デザイン—. 第11回日本疫学会, 2001

北田利行, 谷中正直, 国包章一. 福増浄水場における高効率浄水技術開発研究 (I) —ポリ塩化アルミニウム及び塩化第二鉄の凝集沈澱処理効果の比較—. 第52回全国水道研究発表会, 2001 ; 114-115

汐崎孝信, 谷中正直, 国包章一. 福増浄水場における高効率浄水技術開発研究 (II) —凝集剤に塩化第二鉄を用いた凝集沈澱処理水による高速ろ過実験—. 第52回全国水道研究発表会, 2001 ; 116-117

古市光春, 谷中正直, 国包章一. 福増浄水場における高効率浄水技術開発研究 (III) —凝集剤の種類が藻類数と微粒子数に与える影響—. 第52回全国水道研究発表会, 2001 ; 118-119

長谷川孝雄, 江原康浩, 王建中, 橋本克紘, 西嶋渉, 岡田光正, 国包章一, 鈴木基之. 鉄—シリカ無機高分子凝集剤による藻類の除去. 第52回全国水道研究発表会, 2001 ; 124-125

小林康宏, 金漢承, 秋葉道宏, 国包章一. クリプトスポリジウムオーシスト除去指標に関する研究. 第52回全国水道研究発表会, 2001 ; 166-167

近藤善紀, 伊藤雅喜, 国包章一. LC-ICP/MSを用いたアンチモンの形態別分析法—還元剤を用いた形態別分析—. 第52回全国水道研究発表会, 2001 ; 574-575

国包章一. 水道水の窒素汚染の現状と対策. 第3回水環境制御研究センターシンポジウム—地下水・土壤汚染の現状と対策—. 東京大学大学院工学系研究科附属水環境制御研究センター, 2001

丹後俊郎, 藤田利治, 谷畑健生, 箕輪眞澄, 土井由利子, 内山巖雄, 田中勝, 国包章一, 加藤則子, 池口孝, 上畑鉄乃丞. ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響. 第12回日本疫学会, 2002

浅見真理, 岩本卓治, 相澤貴子. 親水性酸化処理副生成物からのOHラジカルの検出. 日本水環境学会年会, 岐阜. 2001. 3 ; 106

胡建英, 謝国紅, 相澤貴子. ノニルフェノールの塩素処理による内分泌攪乱作用の活性変化とその評価. 日本水環境学会年会, 岐阜. 2001. 3 ; 102

楊敏, 胡建英, 召兵, 相澤貴子. 山峡ダム流域におけるノニルフェノールポリエトキシレ-とノニルフェノールに関する実態調査. 日本水環境学会年会, 岐阜. 2001. 3 ; 108

守田康彦, 伊藤安紀, 浅見真理, 相澤貴子. 環境中及び生分解実験におけるNPEの分解と分解物. 日本水環境学会年会, 岐阜2001. 3 ; 276

伊藤安紀, 高橋桃恵, 浅見真理, 相澤貴子. LC/MSを用いた非イオン界面活性剤及び分解物の測定と水源汚染の特徴. 第52回全国水道研究発表会, 2001. 5 ; 538-539

川地利明, 相澤貴子, 大澤英治, 石井重光. ELISA法を用いた水道水源における非イオン界面活性剤の実態調

査. 第52回全国水道研究発表会, 2001. 5 ; 540-541

関口益男, 浅見真理, 相澤貴子. イオンクロマトグラフ—質量分析法による親水性消毒副生成物及び無機イオン類の一斉分析. 第52回全国水道研究発表会, 2001. 5 ; 602-603

伊藤安紀, 高橋桃恵, 浅見真理, 相澤貴子. LC/MS法による環境水中のNPE, NPEC, NPの定量分析に関する検討. 日本水環境学会年会, 岡山. 2002. 3

胡建英, 謝国紅, 鄭水傑, 相澤貴子. フェノール類の塩素消毒副生成物の内分泌攪乱化学作用モード. 日本水環境学会年会, 岡山. 2002. 3

斉藤茂雄, 金主鉉, 相澤貴子. 埼玉県内河川における非イオン界面活性剤 (NPE, C12AE) 及びノニルフェノール (NP) の季節変動. 日本水環境学会年会, 岡山. 2002. 3

大久保慎二, 相澤貴子, 国包章一. ビスフェノールA塩素処理副生成物のエストロゲンレセプター結合活性及び浄水処理性. 第53回全国水道研究発表会, 2002. 5 ; 568-569

相澤貴子. 洗剤測定への適用. 免疫化学測定法研究会. 第6回学術集会, 東京. 2001. 6 ; 25-31

相澤貴子. 非イオン界面活性剤の一斉分析法と水道における問題点. 非イオン界面活性剤に関する最近の動向シンポジウム, 日本水環境学会関東支部, 東京. 2001. 6 ; 24-32

伊藤雅喜. 水道における膜ろ過技術. ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2000, 2000 ; 71-1 - 71-7 (シンポジウム)

近藤善紀, 伊藤雅喜, 国包章一. LC-ICP/MSを用いた環境水中のアンチモンの形態別分析法—還元剤を用いた形態別分析—. 第52回全国水道研究発表会, 盛岡. 2001. 5 ; 574-575

学術報告書等

国包章一, 伊藤雅喜, 他. 有害元素等規制項目による地下水高濃度汚染実態解明と修復技術に関する研究. 環境庁環境保全成果集, 2001. 3

国包章一, 伊藤雅喜, 秋葉道宏, 他. 湖沼・貯水池におけるかび臭の発生予測と制御に関する研究. 環境庁環境保全成果集, 2001. 3

国包章一, 相澤貴子, 他. 「平成12年度厚生科学研究費補助金 (生活安全総合研究事業) 内分泌かく乱化学物質の水道水中の挙動と対策等に関する研究」報告書 (主任研究者: 国包章一). 2001. 3

国包章一, 他. 「平成12年度厚生科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究事業) 水道水を介して感染するクリプトスポリジウム及び類似の原虫性疾患の監視と制御に関する研究」報告書 (主任研究者: 国包章一). 2001. 3

相澤貴子, 浅見真理. 酸化・消毒剤注入量の低減化に関する研究報告書. (委員長: 真柄泰基). 日本水道協会, 2001. 3

相澤貴子, 浅見真理. 界面活性剤の水道水源水域の利水

過程における挙動と適正管理に関する検討. 環境庁環境保全成果集, 2001. 3

国包章一, 相澤貴子. 平成12年度厚生科学研究費「水道における化学物質の毒性, 挙動及び低減化に関する研究」報告書. (主任研究者: 真柄泰基). 2001. 3

相澤貴子他. 「平成12年度環境庁委託業務結果報告書, 水質基準検討調査. (界面活性剤の水環境に及ぼす影響に関する調査)」(委員長: 須藤隆一). 日本水環境学会

相澤貴子, 他. 「平成11年度環境庁請負業務結果報告書, 化学物質の人に対する暴露評価に関する調査検討報告書」(座長: 中杉修身). 財団法人日本環境衛生センター, 2001. 3

国包章一, 相澤貴子, 他. 平成12年度厚生科学研究費補助金(生活安全総合研究事業)「水道におけるダイオキシン類の実態調査の解明に関する研究」(委員長: 真柄泰基). 2001. 3

秋葉道宏. 飲み水の高度処理—処理技術とコストの両面から—. 土木学会誌, 2001; 86(7): 13-14

国包章一, 森一晃, 赤井寿充. 平成12年度給水用具の試買試験結果報告書. 2001. 3

国包章一, 森一晃, 赤井寿充. 平成13年度給水用具の試買試験結果報告書. 2002. 3

国包章一, 秋葉道宏, 他. 水環境におけるクリプトスポリジウム等の存在状況の把握及び代替指標の確立. 2002. 3

Originals

Hashimoto A, Hirata T, Kunikane S. **Occurrence of Cryptosporidium oocysts and Giardia cysts in a conventional water purification plant.** *Water Science and Technology*, 2001; 43(12): 89-92

Akiba M, Kunikane S, Kim H-S and Kitazawa H. **Algae as surrogate indices for the removal of Cryptosporidium oocysts by direct filtration.** 2nd IWA World Water Congress. Berlin. Oct. 2001

Itoh M, Kunikane S and Magara Y. **Evaluation of nanofiltration for disinfection by-products control in drinking water treatment.** *Water Science and Technology: Water Supply*, 2001; 1(5/6): 233-243

Hu J, Aizawa T, Ookubo S. **Products of aqueous chlorination of bisphenol A and their estrogenic activity.** *Environmental Science and Technology*, 2002; 36: 1980-1987 (in press: *Water Science and Technology: Water Supply*)

Matsumoto N, Aizawa T, Ohgaki S, Hirata T, Itoh M, Kanbayashi T, Tsutsumi Y, Hasegawa T. **Application of chlorine dioxide in Japanese water supply.** IWA 2nd

World Water Congress. Efficient Water Management. Berlin. Oct. 2001, (in press: *Water Science and Technology: Water Supply*)

Matsumoto N, Aizawa T, Ohgaki S, Hirata T, Toyooka K, Kanbayashi T, Tsutsumi Y, Hasegawa T. **Removal methods of nematoda contained in the effluent of activated carbon.** IWA 2nd World Water Congress. Efficient Water Management. Berlin. Oct. 2001, (in press: *Water Science and Technology: Water Supply*)

Proceedings with abstracts

Kunikane S, Ando M, Aizawa T, Kanegaki Y. **A nationwide survey of endocrine disrupting chemicals in source and drinking waters in Japan.** ASIAN WATERQUAL 2001, First IWA Asia-Pacific Regional Conference. Proceeding II. Fukuoka. Sept. 2001; 435-440

Iwamoto T, Amemiya J, Asami M, Aizawa T. **The determination of hydroxyl radical and characterization of photocatalytic water treatment.** ASIAN WATERQUAL 2001, First IWA Asia-Pacific Regional Conference, Prpceeding II. Fukuoka. Sept. 2001, 663-667

附属図書館 Library

原著

高橋美保子, 丹後俊郎. **インフルエンザによる超過死亡の新しい定義とその推定方法の提案.** 日本公衛誌. 2001; 48: 402-408

高橋美保子, 丹後俊郎. **過去23年間の死亡統計を用いたインフルエンザによる超過死亡の新しい推定法と従来の方法との比較研究.** 日本公衛誌. 2001; 48: 816-826

総説

丹後俊郎. **統計手法の知識.** EBMジャーナル, 2001; 2: 462-466

丹後俊郎. **統計学の基礎.** EBMジャーナル, 2002; 3: 208-213

抄録のある学会報告

丹後俊郎, 藤田利治, 谷畑健生, 蓑輪眞澄, 土井由利子, 内山巖雄, 田中勝, 国包章一, 加藤則子, 池口孝, 上畑鉄之丞. **ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響-研究デザイン.** 日本疫学会, つくば. 2001. 1; 52

丹後俊郎. **Meta-analysis.** シンポジウム, 東京. 2001. 2

丹後俊郎. **欠損値, 観測時点のずれなどを含む自然な反応プロファイルに基づく介入効果の評価について.** 応用統計学会・日本計量生物学会合同年次大会, 東京. 2001. 5

渡辺満利子, 横塚昌子, 山岡和枝, 丹後俊郎, 他. **糖尿病予防のための栄養教育評価の介入研究.** 第60回日本公衆衛生学会総会, 高松. 2001. 10; 855

西川正子, 丹後俊郎. **On counter-intuitive properties of the Kaplan-Meier estimator.** 第69回日本統計学会, 福岡. 2001. 9

丹後俊郎. チュートリアルセミナー講師: ロジスティック回帰分析の理論と応用, 日本行動計量学会第29回大会, 宝塚. 2001. 9

丹後俊郎, 藤田利治, 谷畑健生, 蓑輪真澄, 土井由利子, 内山巖雄, 田中勝, 国包章一, 加藤則子, 池口孝, 上畑鉄之丞. **ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響.** 日本疫学会, 東京. 2002. 1; 50

丹後俊郎. **ベイズ統計学の基礎と応用事例.** 統計情報高度利用総合研究, 講演会「21世紀の保健統計」, 東京. 2002. 1; 20-28

丹後俊郎. **医学研究における統計学.** 第10回日本総合診療医学会, 教育研究講演, 高松. 2002. 2; 31-32

学術報告書等

丹後俊郎 (主任研究者). **人口動態統計指標のベイズ推定と地域集積性の評価に関する研究.** 平成12年度厚生科学研究費補助金統計情報高度利用総合研究事業報告書,

2001. 3

丹後俊郎 (主任研究者). **日本におけるEBMのためのデータベース構築および提供利用に関する調査研究.** 平成12年度厚生科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業報告書, 2001. 3

丹後俊郎 (分担研究者). **ごみ焼却施設周辺におけるダイオキシン汚染に起因する周産期の健康影響に関する疫学研究 (主任研究者: 上畑鉄之丞).** 平成12年度厚生科学研究費補助金生活安全総合研究事業報告書, 2001. 3

磯野威, 他. **EBMを指向した保健医学情報の流通における課題と可能性.** (主任研究者: 丹後俊郎) 平成12年度厚生科学研究報告書, 2001. 3; 108-116

磯野威, 他. **日本および米国における医療情報資源, 情報機関, マンパワーの比較研究: 臨床家編.** (主任研究者: 丹後俊郎) 平成13年度厚生労働科学研究報告書, 2002. 3

丹後俊郎, 磯野威, 他. **EBMのためのデータベース・モデルの試み.** (主任研究者: 丹後俊郎) 平成13年度厚生労働科学研究報告書, 2002. 3

Originals

Iino S, Tango T, Matsushima T, Toda G, Miyake K, Hino K, Kumada H, Yasuda K, Kuroki T, Hirayama C, Suzuki, H. **Therapeutic effects of stronger neominophagen C at different doses on chronic hepatitis and liver cirrhosis.** *Hepatology Research*, 2001; **19**: 31-40

Mitani S, Kamata H, Fujiwara M, Aoki N, Tango T, Fukuchi K, Oka T. **Analysis of c-myc DNA amplification in non-small cell lung carcinoma in comparison with small cell lung carcinoma using polymerase chain reaction.** *Clin Exp Med*. 2001; **2**: 105-111

Proceedings with abstracts

Tango T. **Spatio-temporal model for excess environmental risks around putative sources based on small area data with many zero counts.** The Royal Statistical Society Theme Conference, Glasgow, UK, July. 2001; 92

Nishikawa M and Tango T. **Counter-intuitive behaviour of the Kaplan-Meier estimator: a new theorem and examples.** The Joint Statistical Meeting, Atlanta, GA, USA. August 2001; 147

Tango, T. **A simple spatio-temporal model for excess environmental risks around putative sources based on small area data with many zero counts (Invited paper).** International Conference on Statistical Challenges in Environmental Health Problems, Fukuoka, Japan. September 2001; 162

Watanabe M, Yamaoka K, Tango T, Yokotsuka M. et al. **Study for the evaluation of nutrition education for the diabetes mellitus prevention.** International Congress of Nutrition, Vienna, Australia. August 2001; 604

Tango, T. **Clinical trials in Japan: Oriental mystery?** (Invited paper). der 46. Jahrestagung der GMDS, Koln, Germany, September 2001; 315